

人権問題に関する意識調査

報告書

平成26年3月

和歌山市

はじめに

人権とは、人間が人間として当然持っている権利です。私たちは、多くの人たちと関わり合いをもって生きています。その中で、一人ひとりが自分らしく生き、誰もが幸せに生きていくためには、お互いの個性を尊重し、認め合うことが必要です。しかし、私たちの周囲には、依然としてさまざまな形の差別が存在し、自由・平等で幸せに生きたいという願いや権利を阻んでいる現実があります。

本市では、「第4次和歌山市長期総合計画」の基本構想の中で、まちづくりの目標の一つとして「個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち」を掲げ、市民一人ひとりの多様性を認め合い、互いの個性を尊重し、共に支え合う社会の実現のため、地域、企業、民間団体、行政などが協働して人権尊重社会の実現に取り組むこととしています。

また、平成12年11月に、今後の人権施策の理念と、それを実現するための方向性を示した「和歌山市人権施策推進指針」を策定し、この指針により具現化するとともに、計画的かつ効果的に施策を推進することを目的として、平成15年3月に、「和歌山市人権施策推進行動計画」を策定し、平成23年3月に一部改正いたしました。

今後も、誰もが人権を尊重し、尊重されて生きる社会の実現を目指して、これまで以上に市民の人権意識の高揚を図るための施策をより効果的に推進するために、この度、「人権問題に関する意識調査」を実施し、その結果を報告書として取りまとめました。

今回の調査結果を、新しい人権施策推進行動計画に反映していくとともに、人権課題の解決に向けて、幅広い取組みを推進してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、この調査の実施にあたり、ご協力いただきました市民の皆様に心から厚くお礼申し上げます。

平成26年3月

和歌山市長 大 橋 建 一

目 次

I 調査の概要	1
II 調査回答者の基本的な属性	2
III 調査の結果	3
1. 人権全般について	4
問1 人権についての関心度	4
問2 関心のある人権問題	6
問3 自分が受けた人権侵害の有無	10
問3-2 自分が受けた人権侵害の内容	12
問3-3 人権侵害を受けたときの対応	15
問4 講演会や研修会への参加の有無	18
問4-2 参加した講演会や研修会の主催	20
問4-3 講演会や研修会に参加しない理由	22
2. 同和問題について	24
問5 差別に関する意識	24
問6 結婚に対する姿勢	26
問7 居住地としての意識	30
問8 同和問題に対する人権上の問題点	33
3. 女性の人権について	35
問9 女性に関する人権上の問題点	35
問10 男女の役割分担に対する意識	39
問11 男女の地位の平等感	41
4. 子どもの人権について	45
問12 子どもに関する人権上の問題点	45
問13 子どもの人権を守るために必要なこと	48
問14 虐待を受けていることを知ったときの対応	51
5. 高齢者の人権について	53
問15 高齢者に関する人権上の問題点	53
問16 高齢者の人権を守るために必要なこと	56
6. 障害者の人権について	59
問17 障害者に関する人権上の問題点	59
問18 障害者の人権を守るために必要なこと	62
7. 外国人の人権について	65
問19 外国人に関する人権上の問題点	65
問20 外国人の人権を守るために必要なこと	68
8. HIV感染者等難病患者の人権について	71
問21 HIV感染者等難病患者に関する人権上の問題点	71
問22 HIV感染者等難病患者の人権を守るために必要なこと	74

9. 刑を終えた人の人権について	77
問23 刑を終えて出所した人であることを知ったときの対応	77
10. 犯罪被害者及びその家族の人権について	79
問24 犯罪被害者とその家族に関する人権上の問題点	79
11. 情報と人権について	82
問25 情報化社会における人権上の問題点	82
問26 インターネット上の掲示板等への書き込みの有無	85
12. 市民相互の人権について	87
問27 近隣の人との人間関係に対する満足感	87
問28 近隣の人と今以上に親しくしたいかどうか	89
問29 より良い人間関係を築くために必要なこと	91
13. 人権教育・啓発の取組について	94
問30 人権に関する効果的な啓発活動	94
問31 人権が尊重される社会を実現するための方策	100
参考資料 意識調査票	103

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民のさまざまな人権問題に関する意識の現状を把握し、今後の人権教育及び人権啓発に関する取り組みをはじめ、今後の人権施策を推進していく上での基礎資料を得るために実施した。

2. 調査項目

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| (1) 人権全般について | (2) 同和問題について |
| (3) 女性の人権について | (4) 子どもの人権について |
| (5) 高齢者の人権について | (6) 障害者の人権について |
| (7) 外国人の人権について | (8) HIV感染者等難病患者の人権について |
| (9) 刑を終えた人の人権について | (10) 犯罪被害者及びその家族の人権について |
| (11) 情報と人権について | (12) 市民相互の人権について |
| (13) 人権教育・啓発の取組について | |

3. 調査の実施方法

- | | |
|----------------|----------------------------------|
| (1) 調査の対象者 | 20 歳以上の和歌山市民 |
| (2) 調査の対象者数 | 5,000 人 |
| (3) 調査対象者の抽出方法 | 住民基本台帳より無作為抽出 |
| (4) 調査票の配布方法 | 宅配メール便による送付 |
| (5) 調査票の回収方法 | 郵送（調査票及び返信用封筒は無記名） |
| (6) 調査期間 | 平成 25 年 12 月 9 日から同年 12 月 20 日まで |

4. 調査票の回収結果

- | | |
|--------|-------------------------------|
| 調査票発送数 | 5,000 人 |
| 回収数 | 1,778 人（平成 20 年度実施時は 1,968 人） |
| 回収率 | 35.5%（平成 20 年度実施時は 39.4%） |

5. 集計結果についての留意点

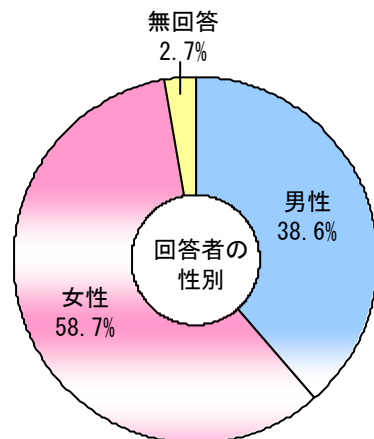
- (1) 本文や図表中で比率を表す数値（単位：％）については、小数点第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までを記載している。
- (2) 各選択肢の回答者の割合として示している数値は、回答総数に対する比率ではなく、回答者数に対する比率である。従って、複数回答（一人の回答者が複数の選択肢を回答する）形式の設問においては、各選択肢の回答率の合計は、原則として 100%を超える。
- (3) 上記（1）の処理がなされているために、単一回答（複数選択肢から 1 つだけ選んで回答する）形式において、図表中に示された各種選択肢の回答率を合計しても 100%にならないことがある。
- (4) 本文グラフ内の N の値は、回答者数を表している。

Ⅱ 調査回答者の基本的な属性

1. 回答者の性別

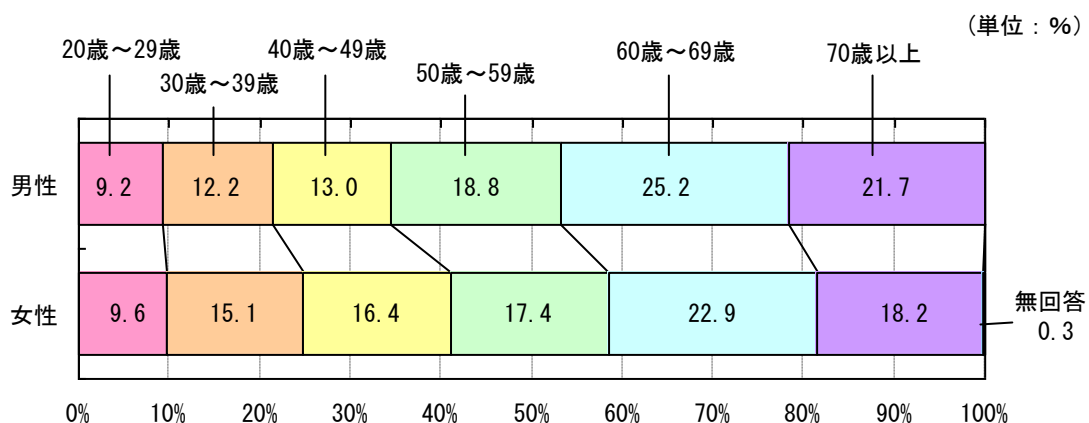
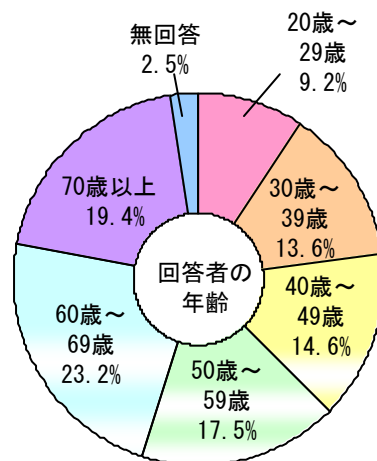
		回収数	割合 (%)
男	性	687	38.6
女	性	1,043	58.7
無	回	48	2.7
全	体	1,778	100.0

回答総数は1,778人で、男性が38.6%、女性が58.7%となり、女性の割合が20.1%高くなっている。前回の調査は、男性が39.6%、女性が55.8%であった。



2. 回答者の年齢

	回収数	割合 (%)
20 歳 ～ 29 歳	163	9.2
30 歳 ～ 39 歳	242	13.6
40 歳 ～ 49 歳	260	14.6
50 歳 ～ 59 歳	311	17.5
60 歳 ～ 69 歳	412	23.2
70 歳 以 上	345	19.4
無 回 答	45	2.5
全 体	1,778	100.0



回答者の年齢は、60歳代が23.2%と最も多く、反対に20歳代は9.2%と最も少なかった。今回の結果は、前回の調査よりも30歳代と40歳代は回答の割合がやや低く、20歳代と50歳代以上はやや高くなっている。

回答者の年齢を性別にみると、50歳代以上は女性(58.5%)より男性(65.7%)が7.2ポイント高く、40歳代以下では男性(34.4%)より女性(41.1%)が6.7ポイント高くなっている。

Ⅲ 調査の結果

1. 人権全般について

問1 人権についての関心度

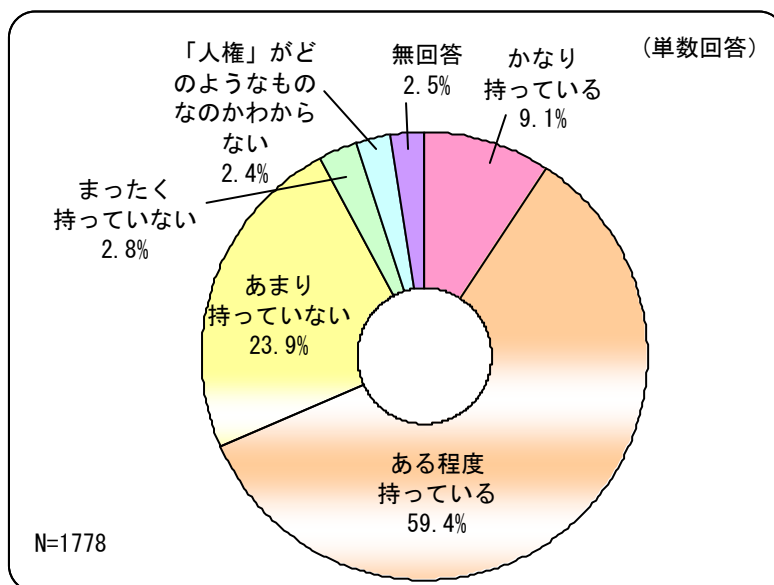
あなたは、「人権」に関心を持っていますか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

1. かなり持っている
2. ある程度持っている
3. あまり持っていない
4. まったく持っていない
5. 「人権」がどのようなものかわからない

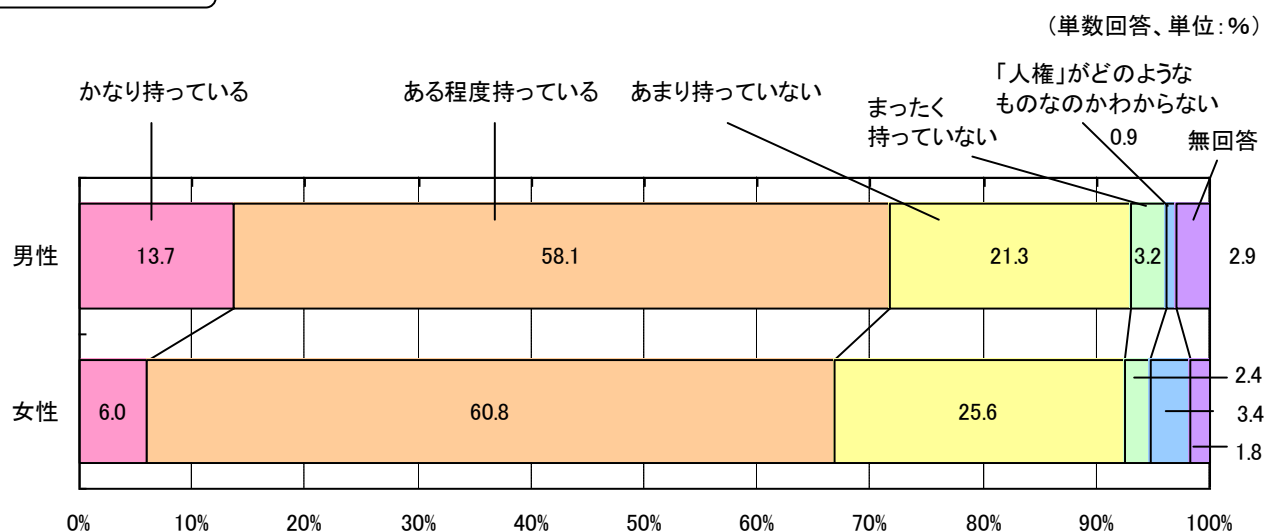
全体集計

人権に関心を「ある程度持っている」が 59.4%と最も高く、「かなり持っている」の 9.1%と合わせると 68.5%が人権に関心があるとしている。

一方、「あまり持っていない」の 23.9%、「まったく持っていない」の 2.8%を合わせた 26.7%が人権に関心がないとしている。

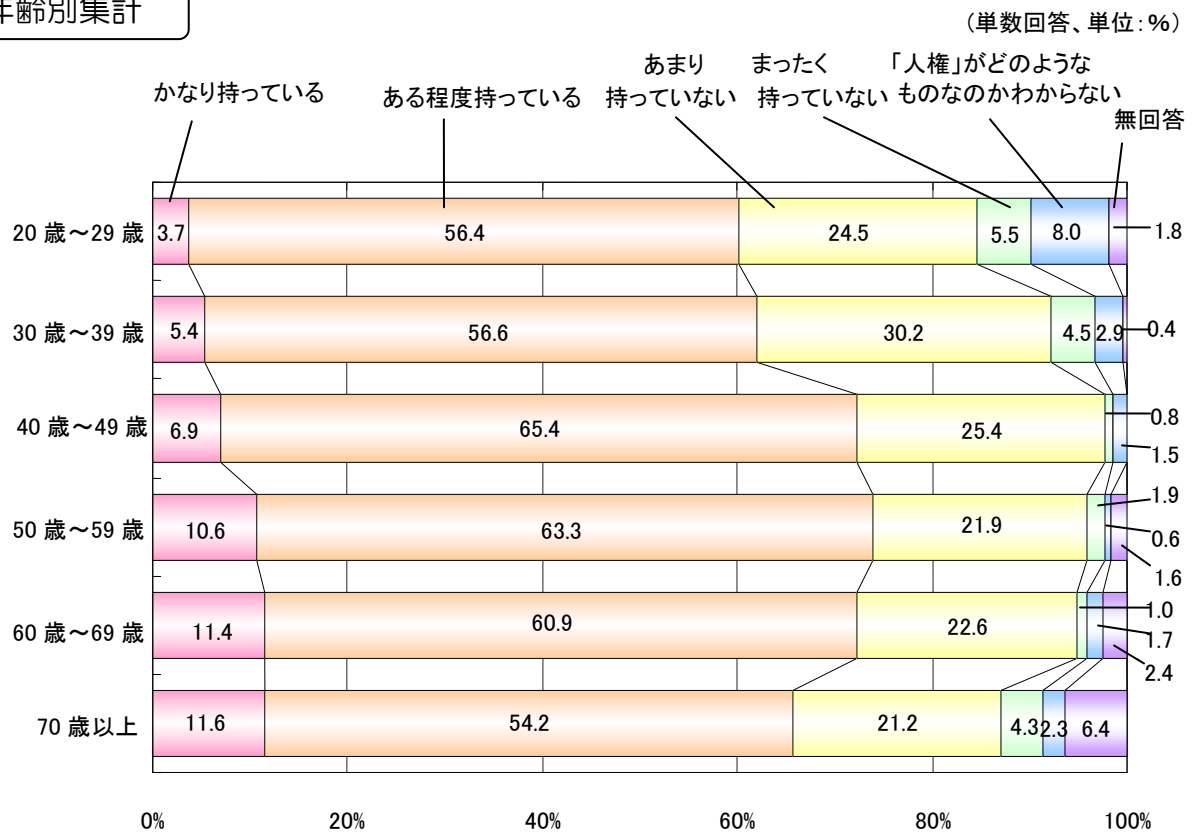


性別集計



性別にみると、「人権に関心がある」割合（「かなり持っている」と「ある程度持っている」の計）は、女性(66.8%)より男性(71.8%)の方が 5.0 ポイント高い。

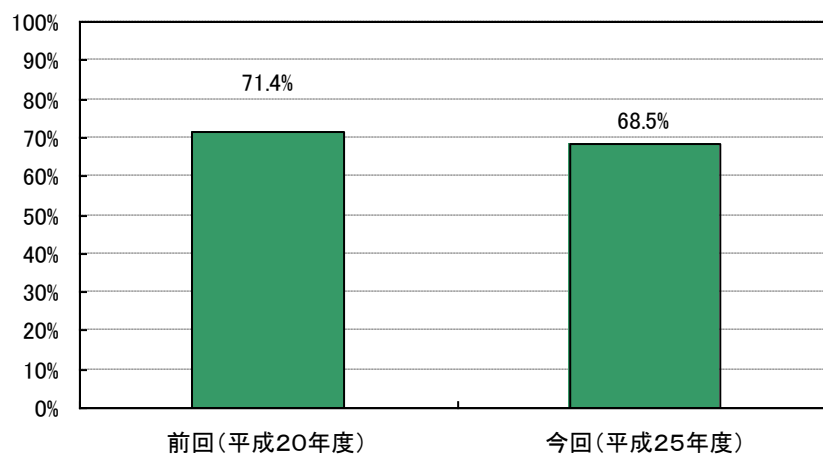
年齢別集計



年齢別にみると、「人権に関心がある」割合で、最も高かったのは50歳代で73.9%である。また、最も低かったのは20歳代で60.1%となっている。

過去の調査との比較

「人権に関心がある」割合について、前回の調査と比較した。



前回の調査では「人権に関心がある」割合は71.4%であったが、今回の調査では68.5%と、2.9ポイント低下している。

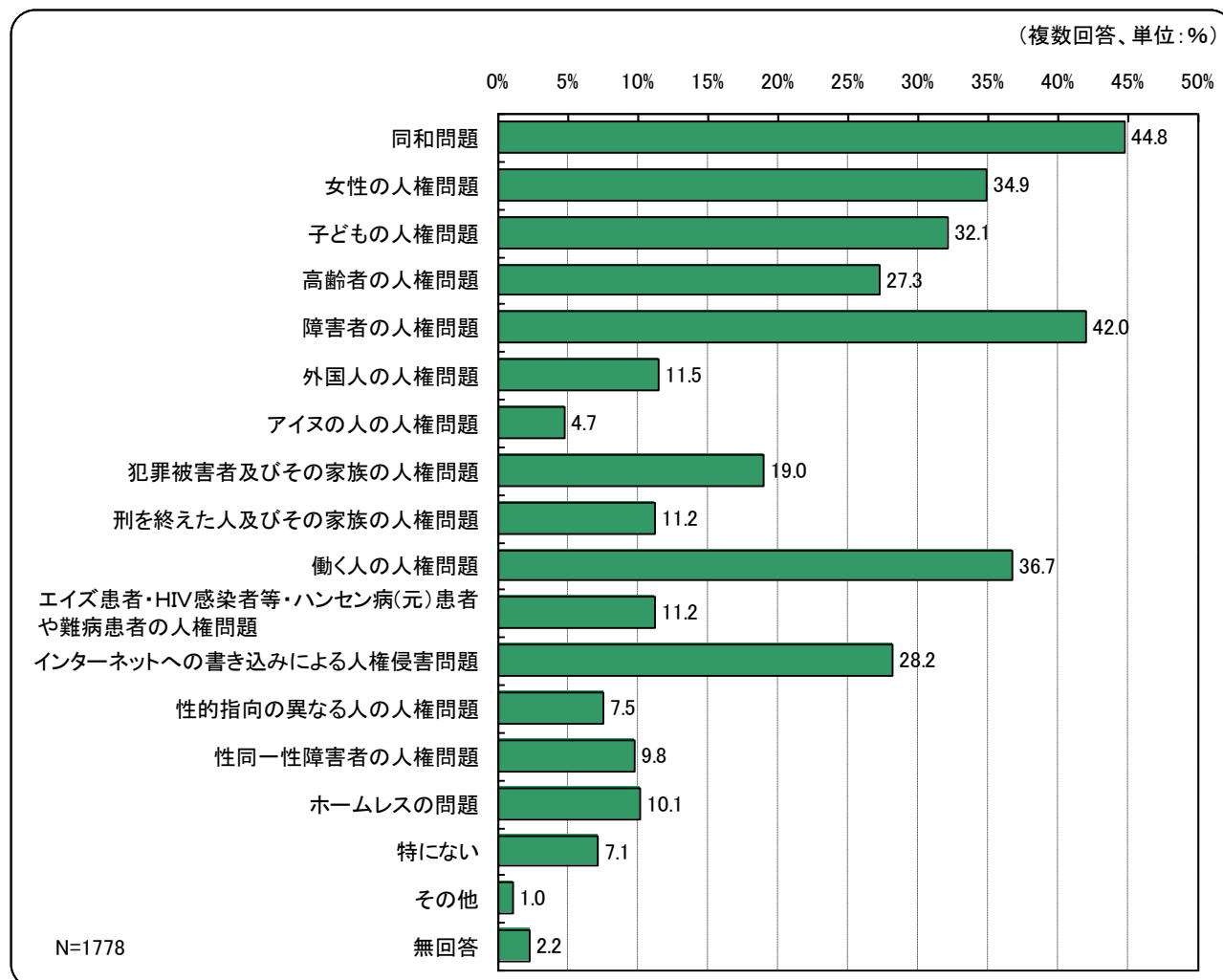
問2 関心のある人権問題

あなたは、「人権問題」というと、特にどのような問題に関心がありますか。

次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

1. 同和問題 2. 女性の人権問題 3. 子どもの人権問題 4. 高齢者の人権問題
5. 障害者の人権問題 6. 外国人の人権問題 7. アイヌの人の人権問題
8. 犯罪被害者及びその家族の人権問題 9. 刑を終えた人及びその家族の人権問題
10. 働く人の人権問題（職場におけるハラスメントの問題や長時間労働など）
11. エイズ患者・HIV感染者等・ハンセン病（元）患者や難病患者の人権問題
12. インターネットへの書き込みによる人権侵害問題
13. 性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）の異なる人の人権問題
14. 性同一性障害者（生物学的な性と性の自己意識（こころの性）が一致しない者）の人権問題
15. ホームレスの問題 16. 特にない 17. その他（ ）

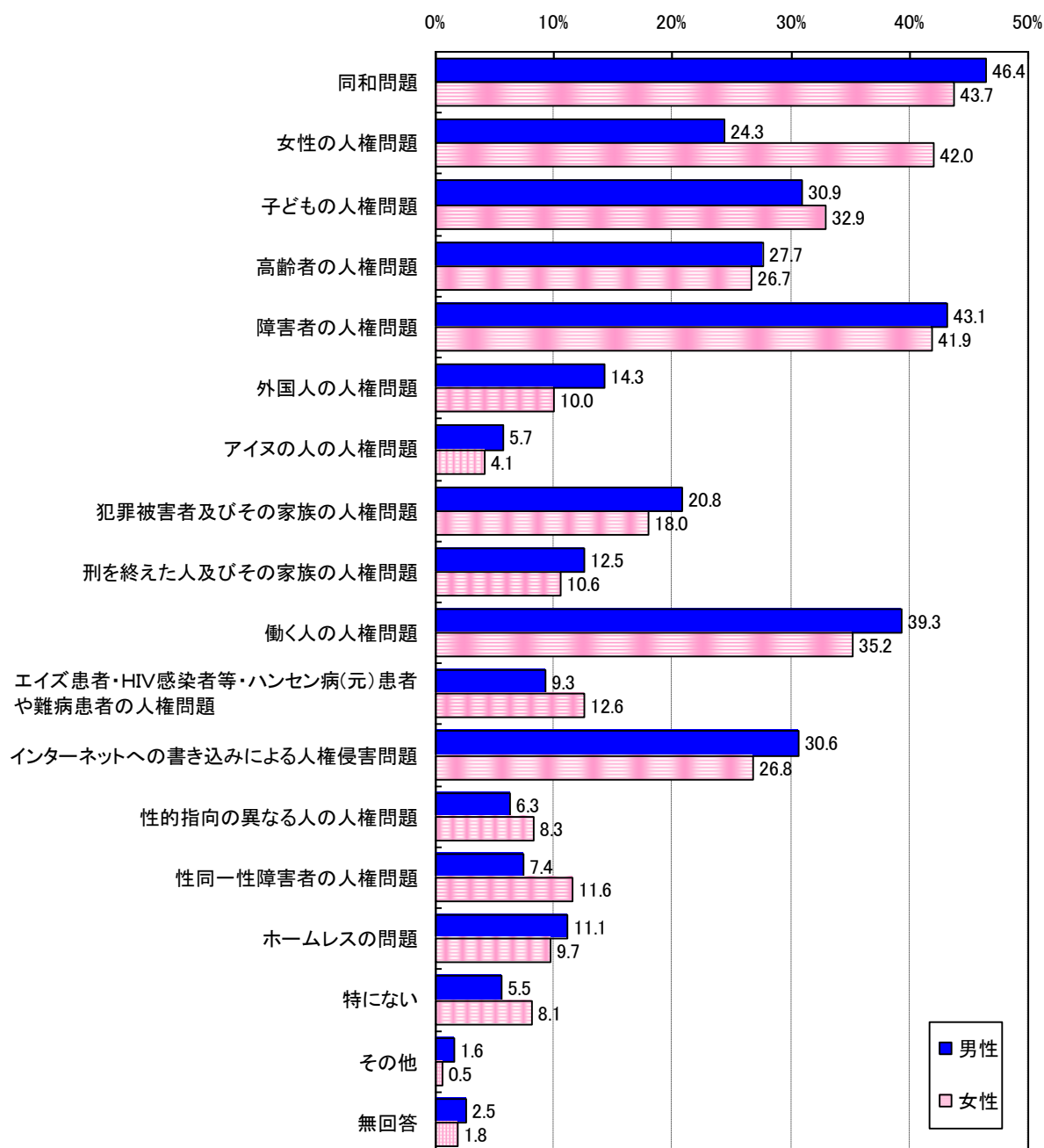
全体集計



特に関心のある人権問題としては「同和問題」が44.8%と最も高く、次いで「障害者の人権問題」が42.0%となっている。また、「働く人の人権問題」、「女性の人権問題」、「子どもの人権問題」は3割を超えている。

性別集計

(複数回答、単位: %)



性別の上位3項目にみると、男女ともに「同和問題」が最も高い。第2位は男性が「障害者の問題」(43.1%)、女性は「女性の人権問題」(42.0%)、第3位は男性が「働く人の人権問題」(39.3%)、女性は「障害者の人権問題」(41.9%)となっている。

性別による回答で大きく差がみられたのは、「女性の人権問題」が男性より女性が17.7ポイント上回っている。

年齢別集計

	同和問題	女性の人権問題	子どもの人権問題	高齢者の人権問題	障害者の人権問題	外国人の人権問題	アイヌの人権問題	犯罪被害者及びその家族の人権問題	刑を終えた人及びその家族の人権問題	働く人の人権問題	エイズ患者・HIV感染者等・ハンセン病(元)患者や難病患者の人権問題
20歳代	29.4	③ 36.2	26.4	17.2	① 42.3	22.1	3.7	16.0	9.8	② 39.3	13.5
30歳代	38.0	③ 40.9	36.4	19.8	② 41.7	13.6	2.5	20.7	12.4	① 45.9	14.0
40歳代	① 47.3	37.7	36.9	21.5	② 42.7	10.0	5.4	24.6	9.6	③ 39.2	12.3
50歳代	① 52.1	40.5	32.8	21.5	② 46.3	13.8	5.1	20.6	9.6	③ 45.7	11.3
60歳代	① 49.5	31.6	29.4	③ 32.8	② 45.1	10.9	4.9	18.9	10.9	32.0	9.5
70歳以上	① 42.0	26.7	30.7	② 39.4	③ 35.4	5.5	5.8	14.2	14.8	25.2	9.9
	インターネットへの書き込みによる人権侵害問題	性的指向の異なる人の人権問題	性同一性障害者の人権問題	ホームレスの問題	特にない	その他	無回答	※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。			
20歳代	33.1	13.5	20.9	8.0	7.4	0.6	1.8				
30歳代	35.5	10.7	15.3	9.9	6.6	0.8	1.2				
40歳代	35.0	8.8	12.3	10.4	4.6	0.8	0.8				
50歳代	30.9	6.8	9.3	8.4	5.1	1.0	1.6				
60歳代	24.0	5.6	5.8	12.4	6.3	1.2	2.4				
70歳以上	19.1	4.6	4.6	11.0	11.3	1.2	4.3				

年齢別にみると、40歳代以上は「同和問題」が最も高く、20歳代は「障害者の人権問題」、30歳代は「働く人の人権問題」が最も高くなっている。

年齢層により回答の割合に大きな差がみられた項目は、「同和問題」が20歳代と50歳代で22.7ポイント、「高齢者の人権問題」が20歳代と70歳以上で22.2ポイント、「働く人の人権問題」が30歳代と70歳以上で20.7ポイントとなっている。

「障害者の人権問題」はいずれの年齢層も上位3位までに位置し、共通して関心が高いとみられる。

過去の調査との比較

割合が高い順に比較

	前回(平成20年度)		今回(平成25年度)	
1	同和問題	47.5%	同和問題	44.8%
2	障害者の人権問題	45.6%	障害者の人権問題	42.0%
3	高齢者の人権問題	32.4%	働く人の人権問題	36.7%
4	子どもの人権問題	31.0%	女性の人権問題	34.9%
5	女性の人権問題	30.2%	子どもの人権問題	32.1%
6	インターネットへの書き込みによる人権侵害問題	27.4%	インターネットへの書き込みによる人権侵害問題	28.2%
7	犯罪被害者及びその家族の人権問題	25.7%	高齢者の人権問題	27.3%
8	エイズ患者・HIV感染者等・ハンセン病(元)患者や難病患者の人権問題	18.0%	犯罪被害者及びその家族の人権問題	19.0%
9	在日外国人の人権問題	16.8%	外国人の人権問題	11.5%
10	ホームレスの問題	9.9%	刑を終えた人及びその家族の人権問題	11.2%
11	刑を終えた人及びその家族の人権問題	9.8%	エイズ患者・HIV感染者等・ハンセン病(元)患者や難病患者の人権問題	11.2%
12	性同一性障害者の人権問題	9.2%	ホームレスの問題	10.1%
13	特にない	7.9%	性同一性障害者の人権問題	9.8%
14	性的指向の異なる人の人権問題	6.5%	性的指向の異なる人の人権問題	7.5%
15	アイヌの人の人権問題	4.0%	特にない	7.1%
16	無回答	1.3%	アイヌの人の人権問題	4.7%
17	その他	0.9%	無回答	2.2%
18			その他	1.0%

※表中のゴシック体で表現している項目は、今回の調査で新しく追加した選択肢を表しています。

前回の調査と比較して、上位2項目は変わらず、いずれの項目も4割を超え、依然として関心が高い項目となっている。今回の調査から新たに追加した「働く人の人権問題」が第3位となり関心が高くなっている。また、「女性の人権問題」と「子どもの人権問題」は前回と同様に3割を超えているが、「高齢者の人権問題」は前回よりもやや低い結果となっている。

問3 自分が受けた人権侵害の有無

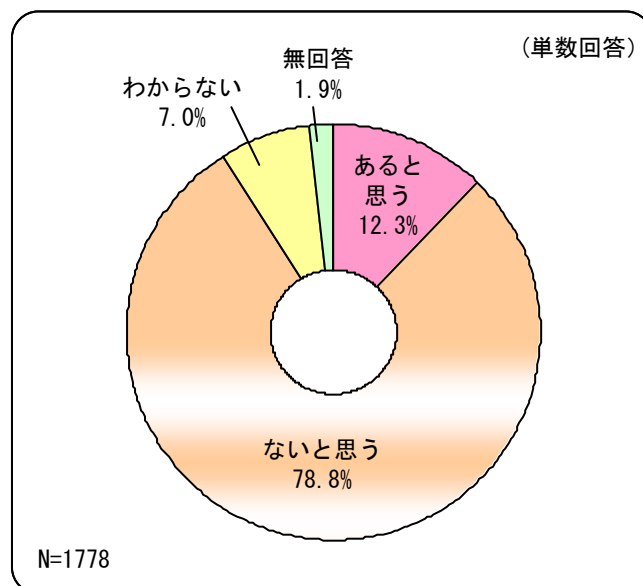
あなたは、過去約4年の間に、自分が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。

次の中から選んでください。(○は1つだけ)

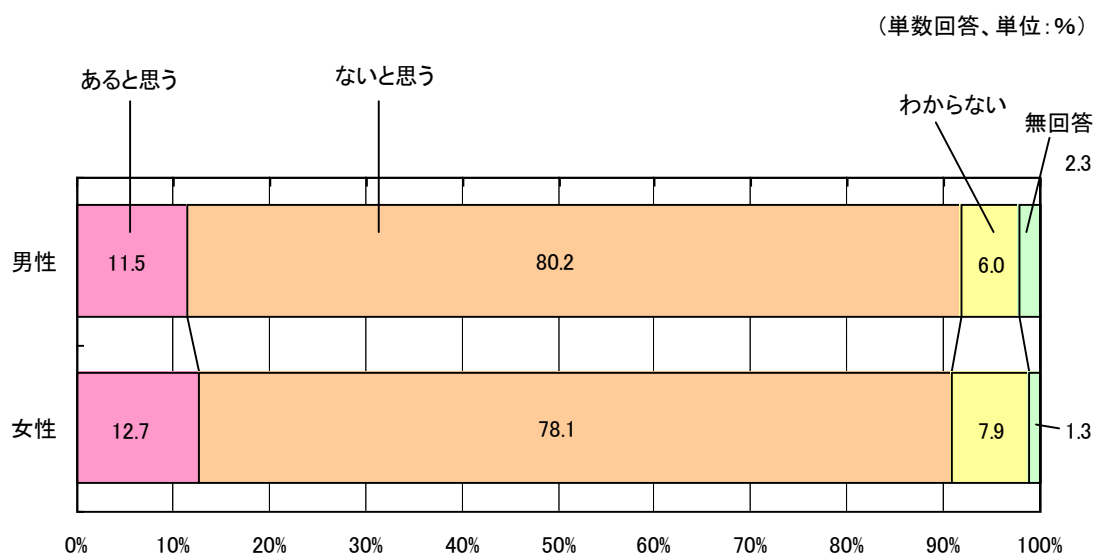
1. あると思う → 問3-2、問3-3をお答えください
2. ないと思う → 問4にお進みください
3. わからない →

全体集計

差別や人権侵害を受けたことが「ないと思う」の回答が78.8%と高くみられるものの、12.3%が「あると思う」と回答している。

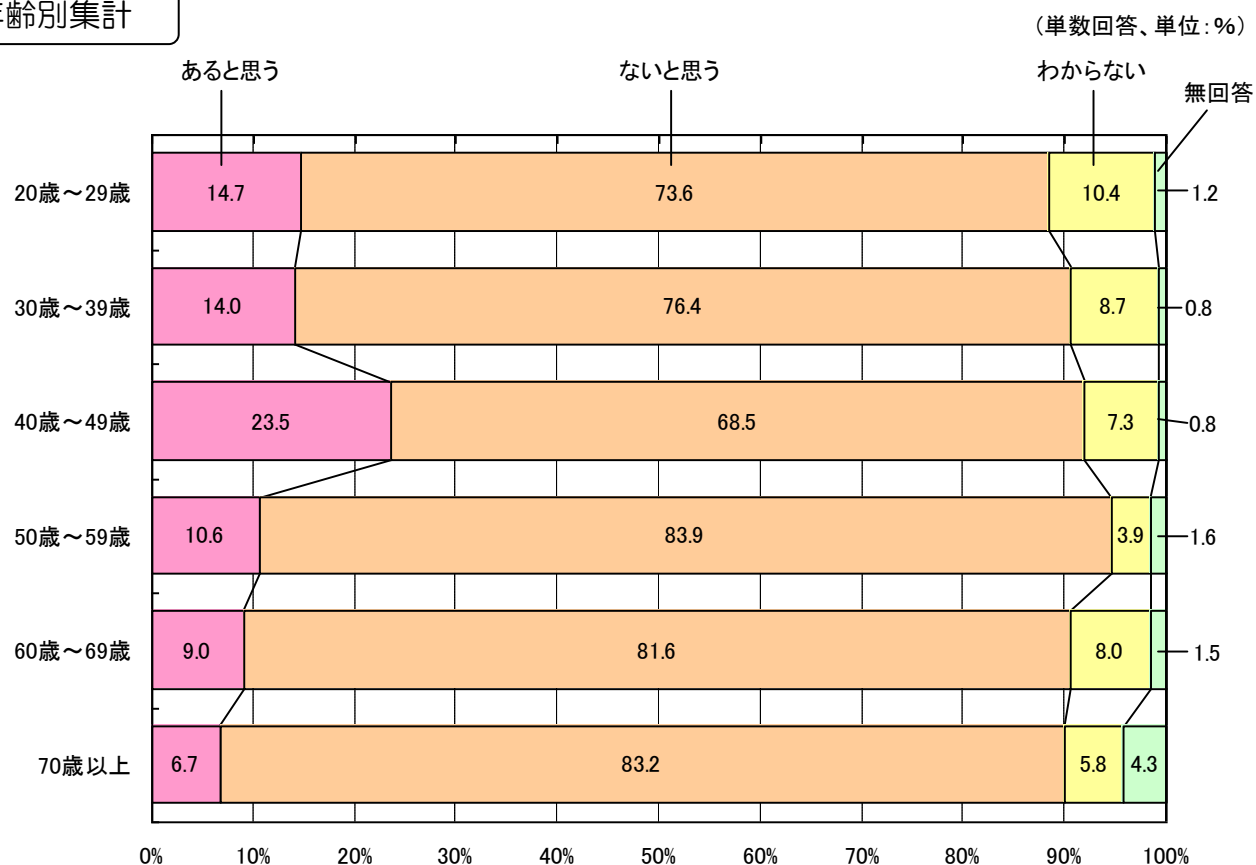


性別集計



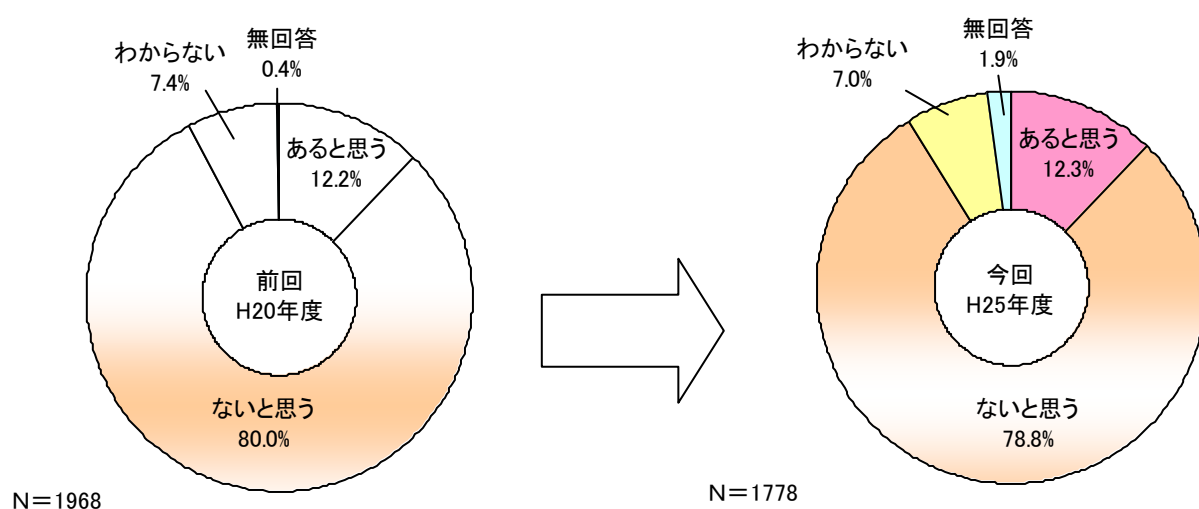
性別による差は大きな差はみられない。男女ともに「あると思う」の割合が10%をやや上回る回答となっている。

年齢別集計



年齢別にみると、「あると思う」の割合は40歳代が23.5%と最も高く、次いで20歳代が14.7%、30歳代が14.0%の順となり、40歳代以下の年齢層で高い傾向となっている。

過去の調査との比較



前回の調査と比較すると、回答の割合に大きな差はみられないものの、「あると思う」は0.1ポイント増加し、一方で「ないと思う」は1.2ポイント減少している。

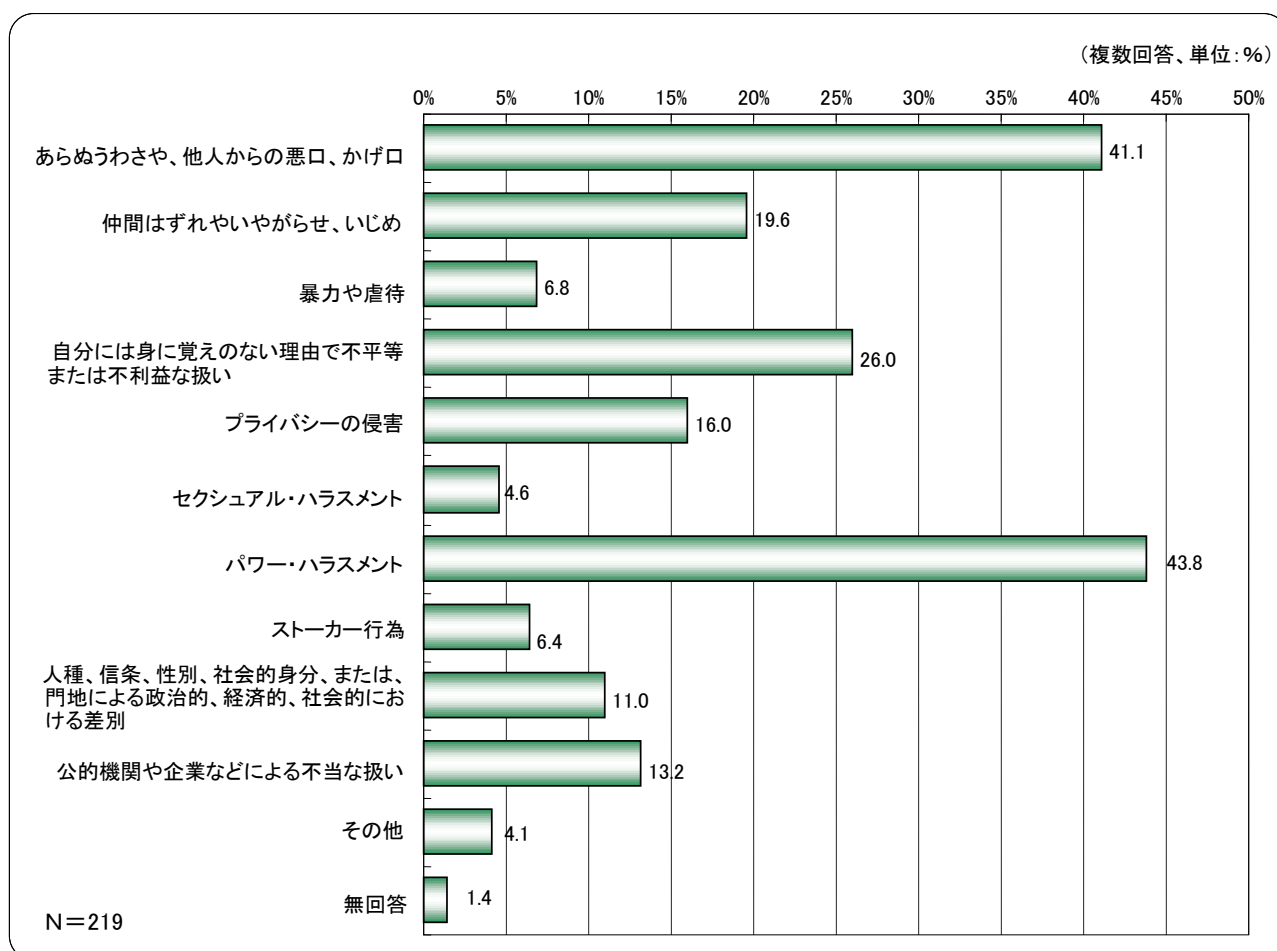
問3-2 自分が受けた人権侵害の内容

問3で「ある」と答えた方におたずねします。それはどのような場合ですか。

次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

1. あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口
2. 仲間はずれやいやがらせ、いじめ
3. 暴力や虐待
4. 自分には身に覚えのない理由で不平等または不利益な扱い
5. プライバシーの侵害（個人情報勝手に使われるなど）
6. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
7. パワー・ハラスメント（権力や地位を利用した職場における言葉による暴力や強要）
8. ストーカー（つきまとい）行為
9. 人種、信条、性別、社会的身分、または、門地による政治的、経済的、社会的における差別
10. 公的機関や企業などによる不当な扱い
11. その他（ ）

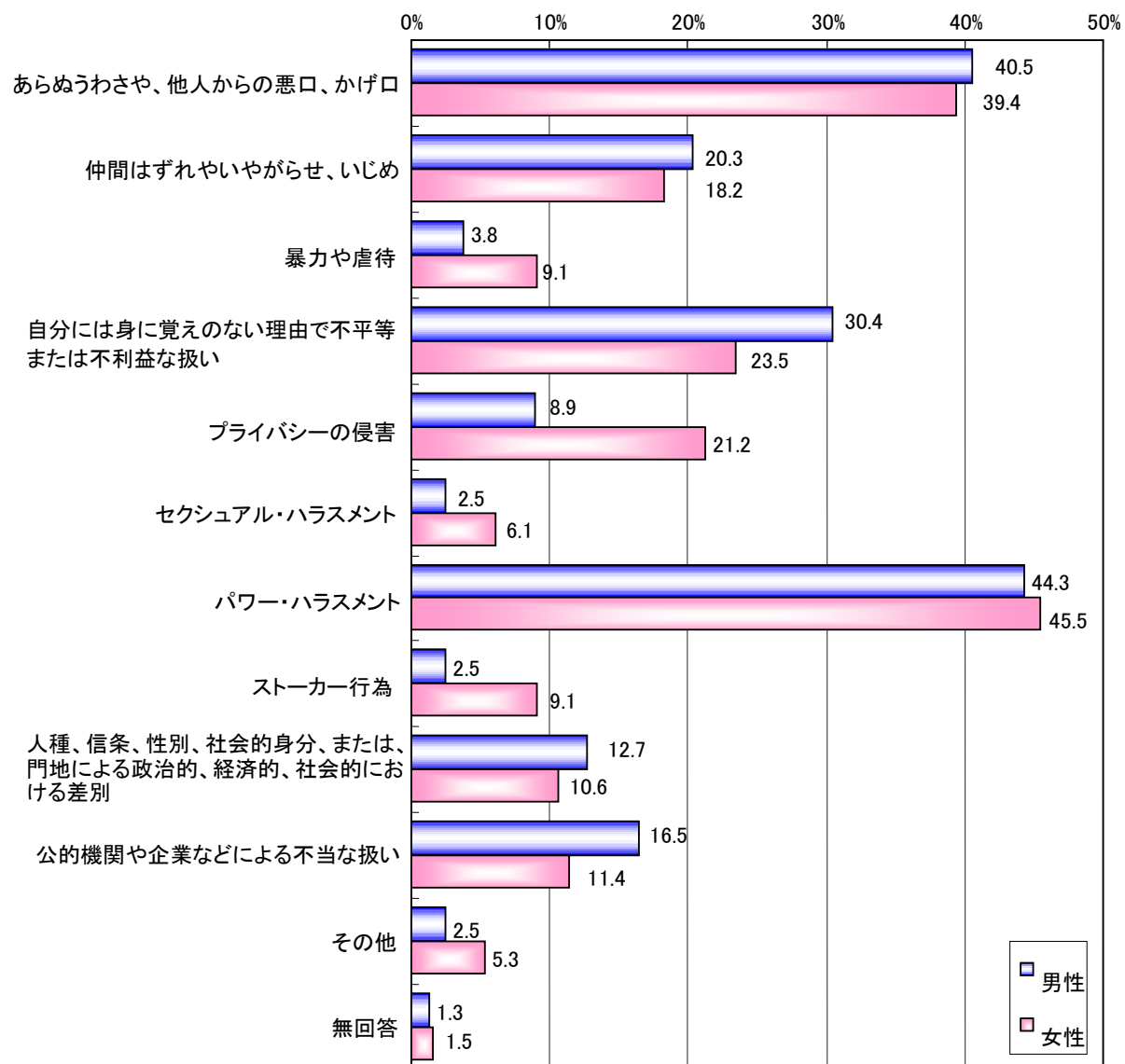
全体集計



問3で「差別や人権侵害を受けたことがある」と回答した219人について、その内容として「パワー・ハラスメント」が43.8%と最も高く、次いで「あらぬうわさや、他人からの悪口、かげ口」が41.1%と4割を超えている。

性別集計

(複数回答、単位：%)



性別にみると、男女ともに「パワー・ハラスメント」が最も高くなっている。

性別により大きな差がみられる項目は、「自分には身に覚えのない理由で不平等または不利益な扱い」が女性(23.5%)より男性(30.4%)が6.9ポイント上回っている。「プライバシーの侵害」は、男性(8.9%)より女性(21.2%)が12.3ポイント上回っている。

年齢別集計

	あらぬうわ さや、他人 からの悪口 、かげ口	仲間はずれ やいやがら せ、いじめ	暴力や虐待	自分には身 に覚えのな い理由で不 平等または 不利益な扱 い	プライバシ ーの侵害	セクシュア ル・ハラス メント	パワー・ハ ラスメント	ストーカー 行為
20歳代	② 41.7	③ 20.8	8.3	8.3	8.3	12.5	① 54.2	16.7
30歳代	② 38.2	14.7	5.9	③ 26.5	11.8	5.9	① 52.9	－
40歳代	② 42.6	19.7	8.2	③ 29.5	24.6	8.2	① 55.7	8.2
50歳代	① 45.5	③ 27.3	12.1	24.2	9.1	－	① 45.5	3.0
60歳代	③ 35.1	18.9	2.7	① 37.8	18.9	－	① 37.8	10.8
70歳以上	① 39.1	8.7	4.3	③ 17.4	13.0	－	4.3	－
	人種、信条 、性別、社 会的身分、 または、門 地による政 治的、経済 的、社会的 における差 別	公的機関や 企業などに よる不当な 扱い	その他	無回答	※表中の○数字は、各年 齢層で割合が高かった上 位3項目を示しています。			
20歳代	12.5	4.2	－	－				
30歳代	2.9	③ 26.5	2.9	－				
40歳代	13.1	9.8	4.9	－				
50歳代	15.2	6.1	3.0	－				
60歳代	13.5	13.5	10.8	－				
70歳以上	8.7	② 21.7	－	13.0				

年齢別にみると、60歳代以下の年齢層は「パワー・ハラスメント」が最も高く、40歳代以下では半数を超えているが、70歳以上は4.3%と、他の年齢層と大きく差がある。70歳以上は「あらぬうわさや他人からの悪口、かげ口」が最も高い。

「セクシュアル・ハラスメント」は40歳代以下の回答はみられるが、50歳代以上の年齢層にはみられない。

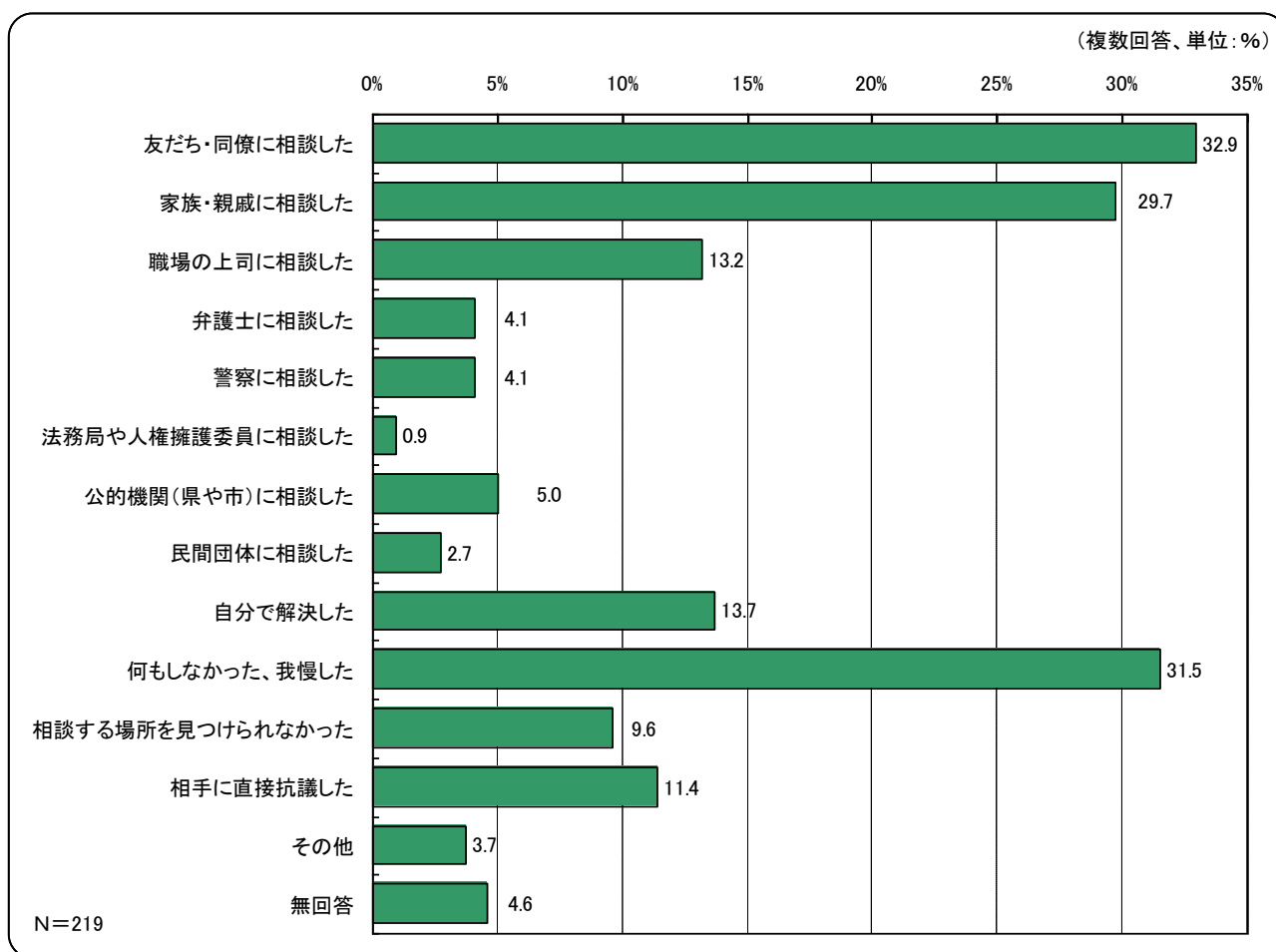
問3-3 人権侵害を受けたときの対応

問3で「ある」と答えた方におたずねします。その時どうされましたか。

次の中から選んでください。(〇はいくつでも)

1. 友だち・同僚に相談した
2. 家族・親戚に相談した
3. 職場の上司に相談した
4. 弁護士に相談した
5. 警察に相談した
6. 法務局や人権擁護委員に相談した
7. 公的機関（県や市）に相談した
8. 民間団体に相談した
9. 自分で解決した
10. 何もしなかった、我慢した
11. 相談する場所を見つけられなかった
12. 相手に直接抗議した
13. その他（ ）

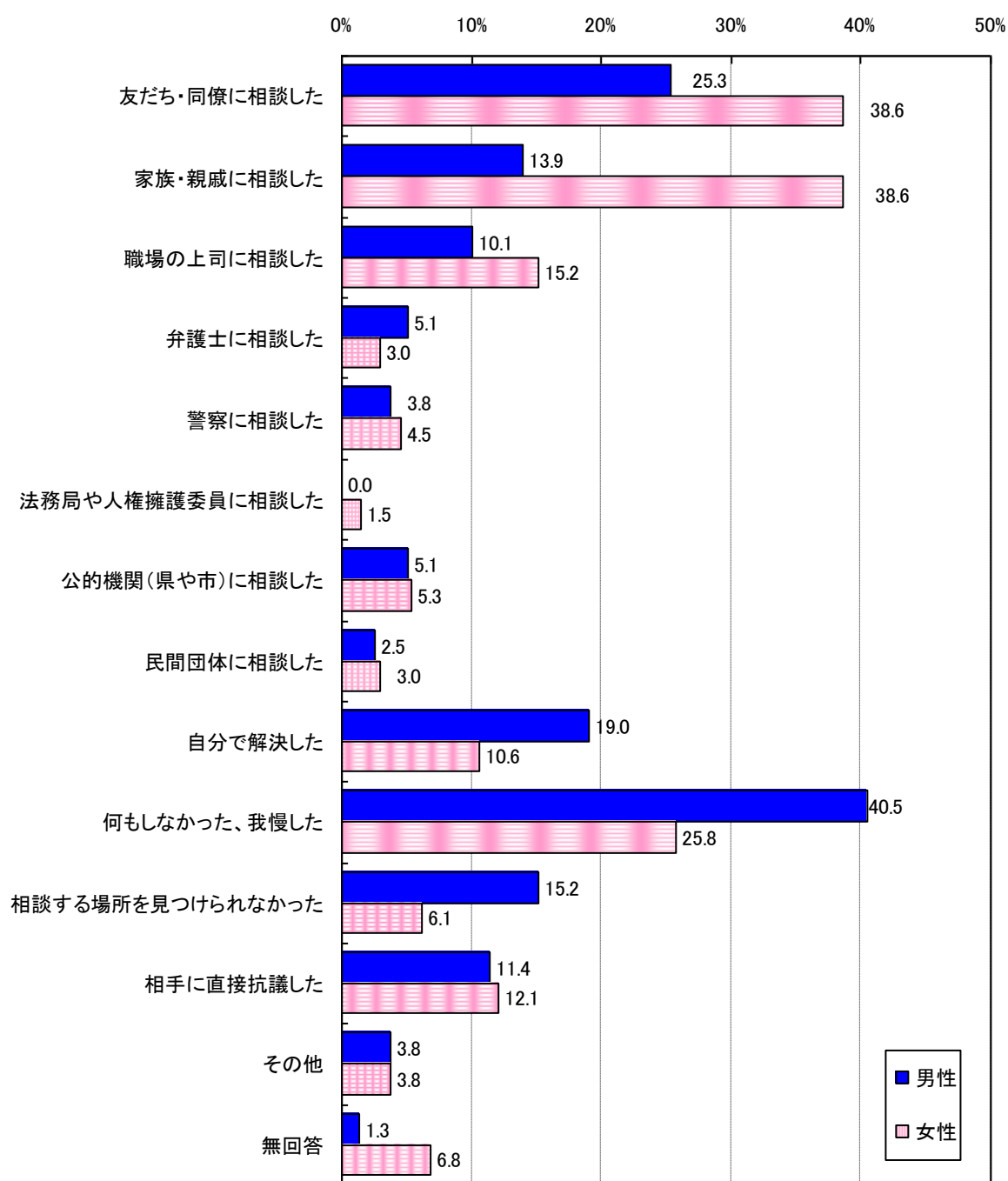
全体集計



差別や人権侵害を受けたと感じたときの対処方法について、「友達・同僚に相談した」が32.9%と最も高く、次いで「何もしなかった、我慢した」が31.5%、「家族・親戚に相談した」が29.7%の順となっている。また、「相談する場所をみつけられなかった」が9.6%の回答がみられた。

性別集計

(複数回答、単位：%)



性別にみると、男性は「何もしなかった、我慢した」が最も高く 40.5%となっている。女性は「友達・同僚に相談した」と「家族・親戚に相談した」がともに 38.6%と最も高くなっている。

対処方法の項目で、女性は第三者に相談している項目への回答が高く、男性は自己解決型の項目の割合が高い傾向となっている。

年齢別集計

	友だち・同僚に相談した	家族・親戚に相談した	職場の上司に相談した	弁護士に相談した	警察に相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	公的機関(県や市)に相談した	民間団体に相談した
20歳代	② 37.5	① 45.8	16.7	－	－	－	－	－
30歳代	② 32.4	② 32.4	17.6	－	－	－	－	2.9
40歳代	① 36.1	② 29.5	19.7	4.9	3.3	1.6	9.8	1.6
50歳代	② 36.4	③ 21.2	6.1	3.0	9.1	3.0	6.1	3.0
60歳代	② 24.3	③ 21.6	10.8	5.4	5.4	－	8.1	8.1
70歳以上	① 34.8	② 30.4	－	8.7	8.7	－	－	－
	自分で解決した	何もしなかった、我慢した	相談する場所を見つけれなかった	相手に直接抗議した	その他	無回答	※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。	
20歳代	12.5	③ 33.3	8.3	8.3	4.2	8.3		
30歳代	11.8	① 41.2	11.8	11.8	2.9	2.9		
40歳代	16.4	③ 24.6	11.5	14.8	4.9	1.6		
50歳代	12.1	① 39.4	6.1	18.2	－	3.0		
60歳代	5.4	① 29.7	8.1	5.4	5.4	8.1		
70歳以上	② 30.4	21.7	8.7	8.7	4.3	8.7		

年齢別にみると、60歳代以下は「友達・同僚に相談した」と「家族・親戚に相談した」、「何もしなかった、我慢した」が上位3位を占めているが、70歳以上は「自分で解決した」が3割を超え、第2位に位置している。30歳代以下の対処方法として、外部機関（弁護士、警察など）への相談の回答がみられない。

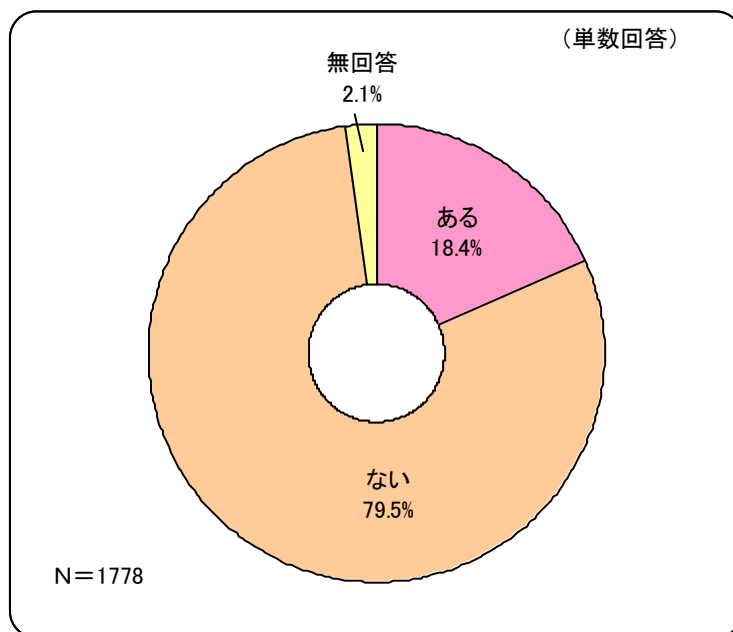
問4 講演会や研修会への参加の有無

あなたは、過去約4年の間に「人権問題」に関する講演会や研修会に参加したことがありますか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

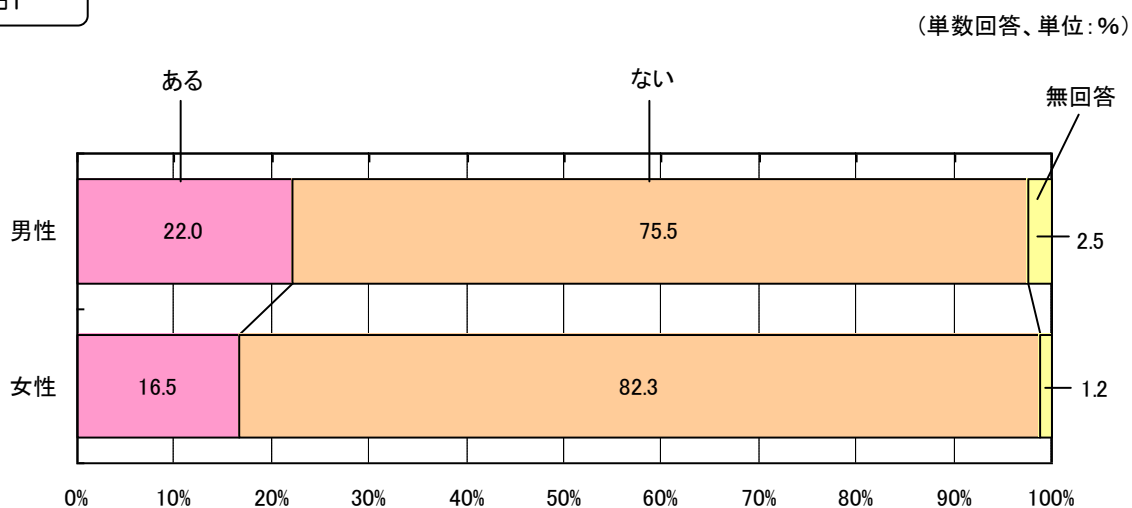
1. ある → 問4-2をお答えください
2. ない → 問4-3をお答えください

全体集計

「人権問題」に関する講演会や研修会への参加について、「ある」が18.4%、「ない」が79.5%となっている。



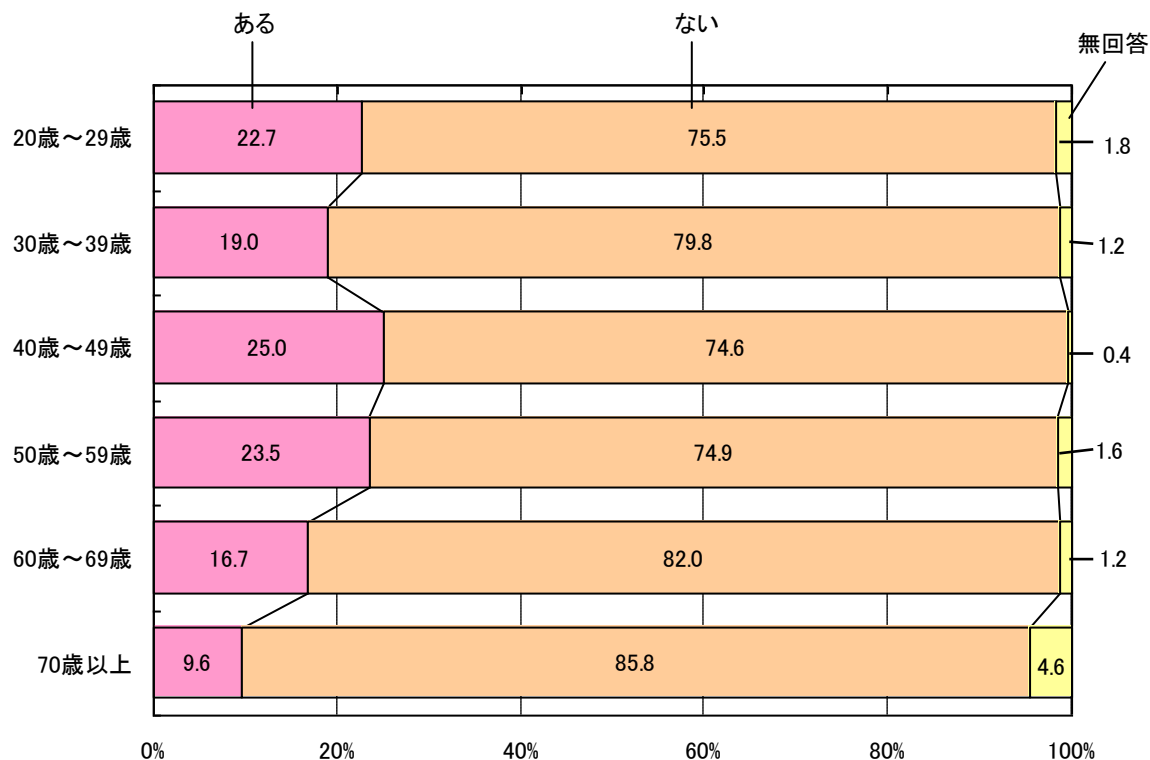
性別集計



性別にみると、参加したことが「ある」割合は、女性(16.5%)より男性(22.0%)が5.5ポイント上回っている。

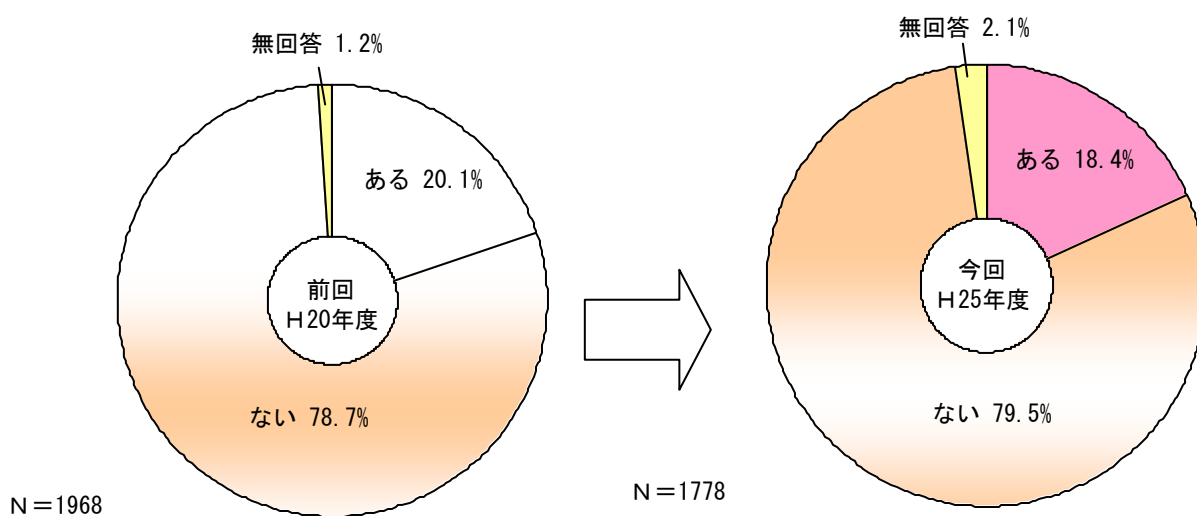
年齢別集計

(単数回答、単位：%)



年齢別にみると、参加したことが「ある」割合は、40歳代が25.0%と最も高く、次いで50歳代が23.5%、20歳代が22.7%の順となっている。

過去の調査との比較



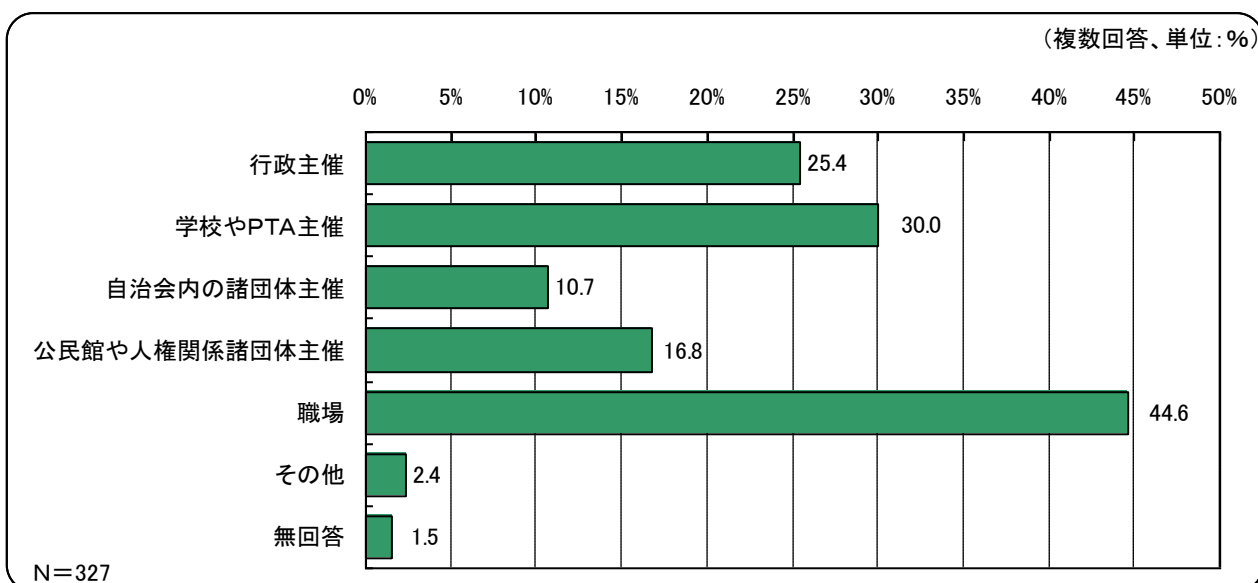
前回の調査と比較すると、参加したことが「ある」の割合は1.7ポイント下回っている。

問４－２ 参加した講演会や研修会の主催

問４で「ある」と答えた方におたずねします。参加された講演会や研修会は、どこが主催しましたか。次の中から選んでください。（○はいくつでも）

1. 行政主催 2. 学校やP T A主催 3. 自治会内の諸団体主催
4. 公民館や人権関係諸団体主催 5. 職場 6. その他（ ）

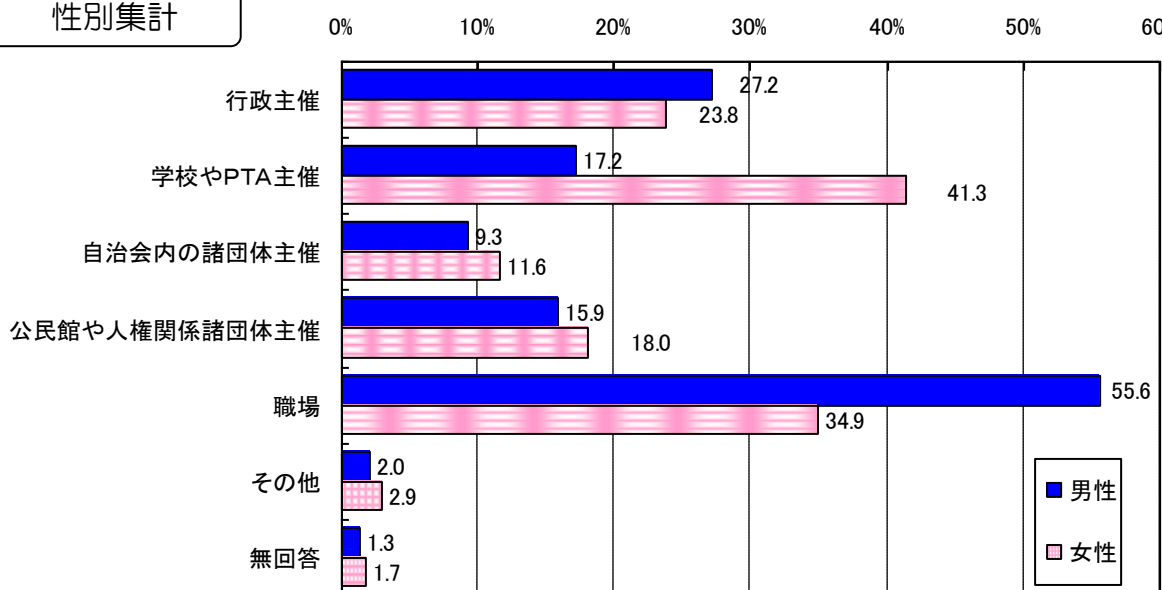
全体集計



「人権問題」に関する講習会や研修会に参加したことが「ある」の回答者において、どこが主催する講習会等に参加したかについては、「職場」が44.6%と最も高く、以下「学校やP T A主催」が30.0%、「行政主催」が25.4%と続いている。

(複数回答、単位：%)

性別集計



性別にみると、男性は「職場」が55.6%と最も高く、次いで「行政主催」が27.2%、「学校やP T A主催」が17.2%の順となり、女性は「学校やP T A主催」が41.3%と最も高く、次いで「職場」が34.9%、「行政主催」が23.8%の順となり、性別により主催者への参加の傾向が異なっている。

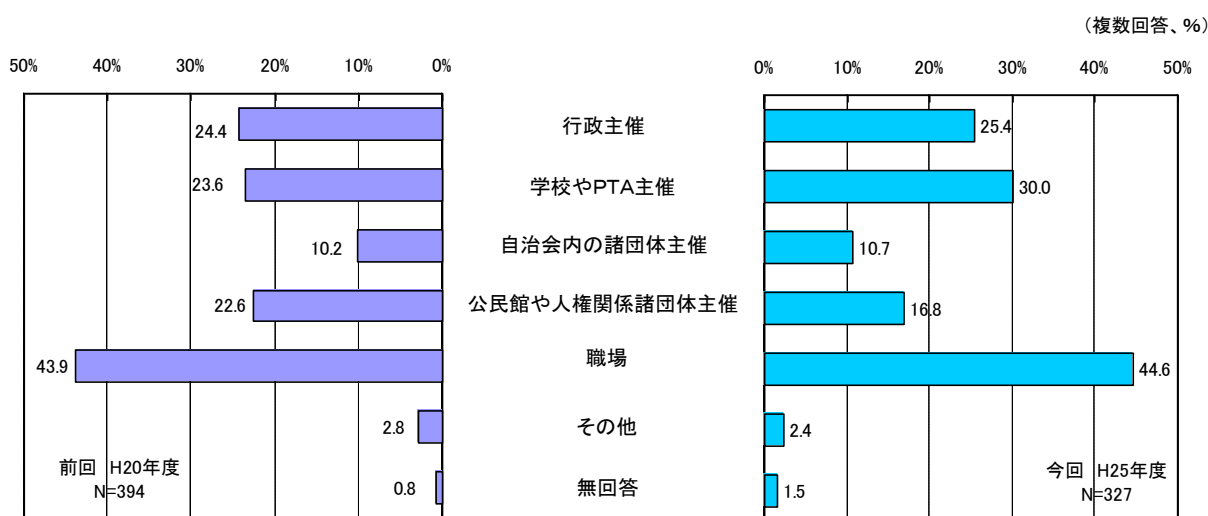
年齢別集計

	行政主催	学校やPTA主催	自治会内の諸団体主催	公民館や人権関係諸団体主催	職場	その他	無回答
20歳代	③ 13.5	② 40.5	—	5.4	① 64.9	5.4	2.7
30歳代	② 15.2	③ 17.4	4.3	10.9	① 60.9	4.3	2.2
40歳代	③ 12.3	① 53.8	6.2	6.2	② 43.1	1.5	—
50歳代	② 35.6	③ 23.3	9.6	13.7	① 57.5	4.1	1.4
60歳代	② 33.3	20.3	18.8	① 36.2	③ 27.5	—	2.9
70歳以上	① 39.4	③ 24.2	③ 24.2	② 27.3	9.1	—	—

※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。

年齢別にみると、20・30歳代、50歳代は「職場」が最も高く、半数を超える。一方、40歳代は「学校やPTA主催」、60歳代は「公民館や人権関係諸団体主催」、70歳以上は「行政主催」が最も高くなっている。

過去の調査との比較



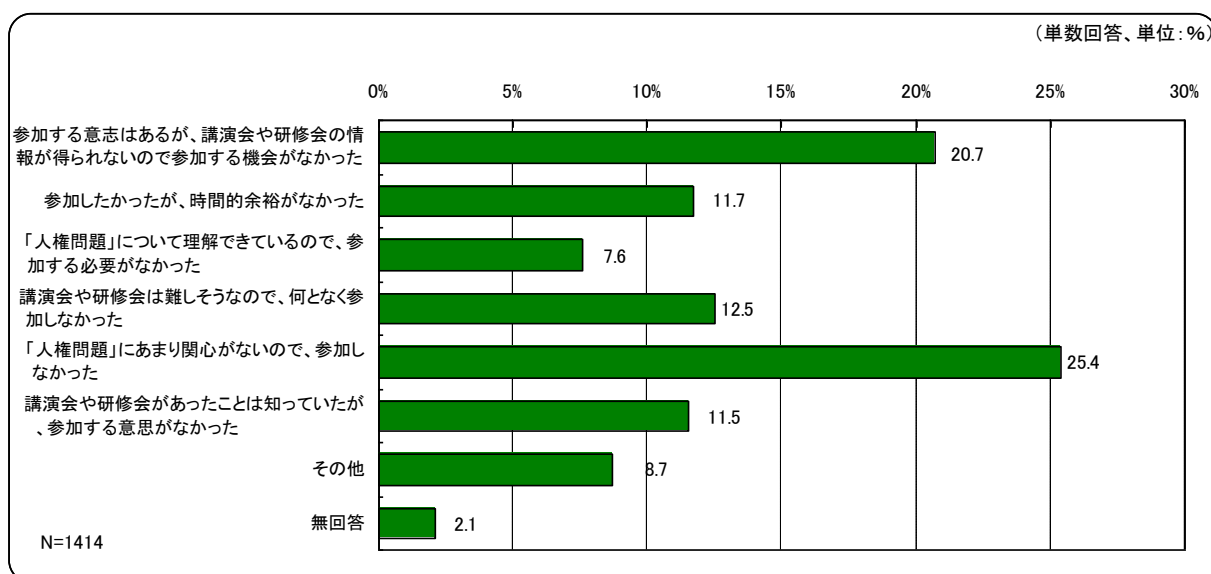
前回の調査と比較すると、傾向はほぼ同じであるが、「学校やPTA主催」が前回より6.4ポイント増加し、「公民館や人権関係諸団体主催」が5.8ポイント減少している。

問4-3 講演会や研修会に参加しない理由

問4で「ない」と答えた方におたずねします。あなたが講演会や研修会に参加しなかった理由を、次の中から選んでください。(〇は1つだけ)

1. 参加する意志はあるが、講演会や研修会の情報が得られないので参加する機会がなかった
2. 参加したかったが、時間的余裕がなかった
3. 「人権問題」について理解できているので、参加する必要がなかった
4. 講演会や研修会は難しそうなので、何となく参加しなかった
5. 「人権問題」にあまり関心がないので、参加しなかった
6. 講演会や研修会があったことは知っていたが、参加する意思がなかった
7. その他 ()

全体集計



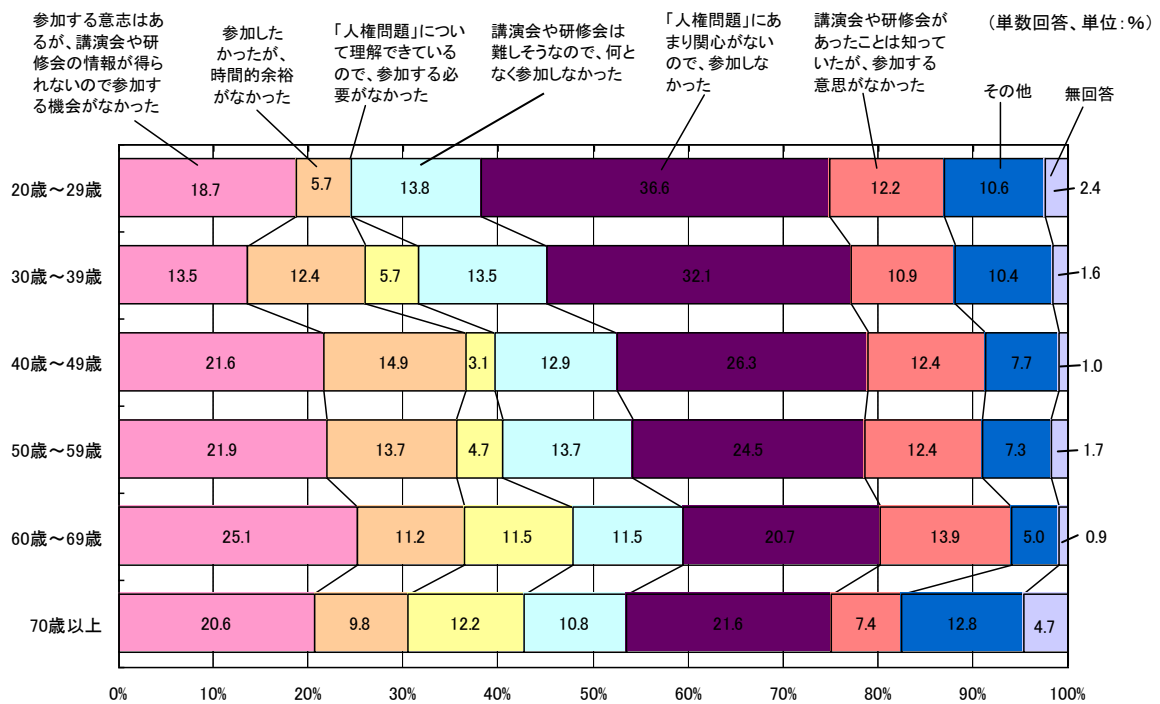
講演会等に参加しなかった理由については、『「人権問題」にあまり関心がないので、参加しなかった』が25.4%と最も高く、次いで「参加する意志はあるが、講演会や研修会の情報が得られないので参加する機会がなかった」が20.7%の順となっている。

性別集計



性別にみると、男女とも『「人権問題」にあまり関心がないので、参加しなかった』が最も高くなっている。

年齢別集計



年齢別にみると、20～50 歳代と 70 歳以上は「『人権問題』にあまり関心がないので、参加しなかった」、60 歳代は「参加する意志はあるが、講演会や研修会の情報が得られないので参加する機会がなかった」が最も高くなっている。

2. 同和問題について

問5 差別に関する意識

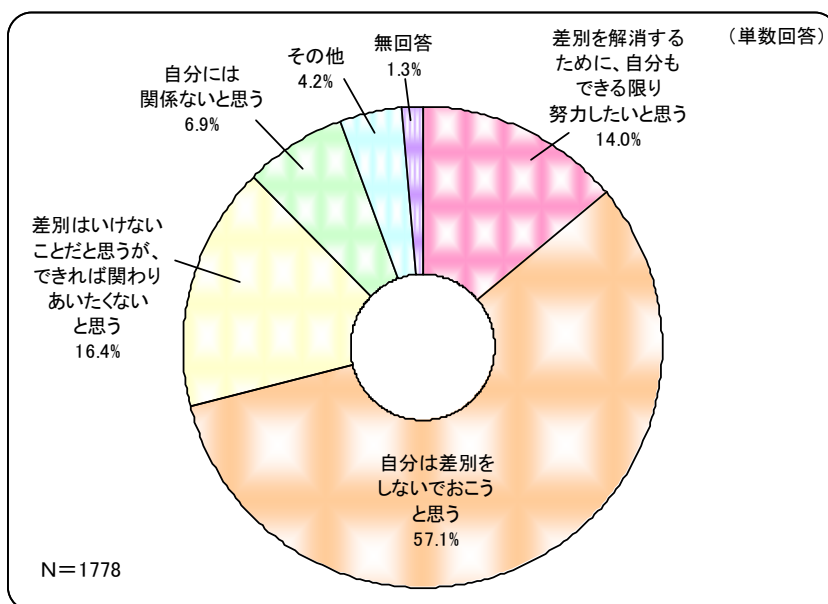
あなたは、同和問題と自分自身との関わりについてどのような意識を持っていますか。

次の中から選んでください。(○は1つだけ)

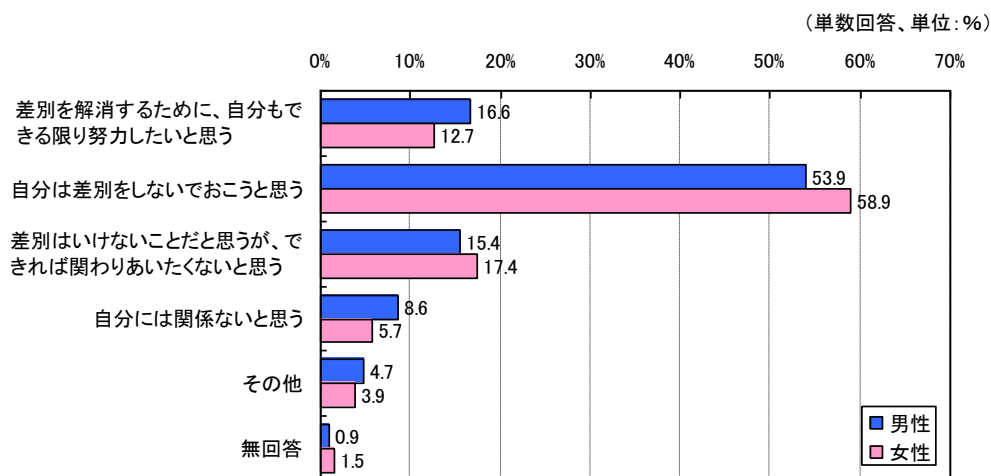
1. 差別を解消するために、自分もできる限り努力したいと思う
2. 自分は差別をしないでおこうと思う
3. 差別はいけないことだと思うが、できれば関わりあいたくないと思う
4. 自分には関係ないと思う
5. その他 ()

全体集計

最も割合が高いのは「自分は差別をしないでおこうと思う」が57.1%で、次いで「差別はいけないことだと思うが、できれば関わりあいたくないと思う」が16.4%、「差別を解消するために、自分もできる限り努力したいと思う」が14.0%の順となっている。

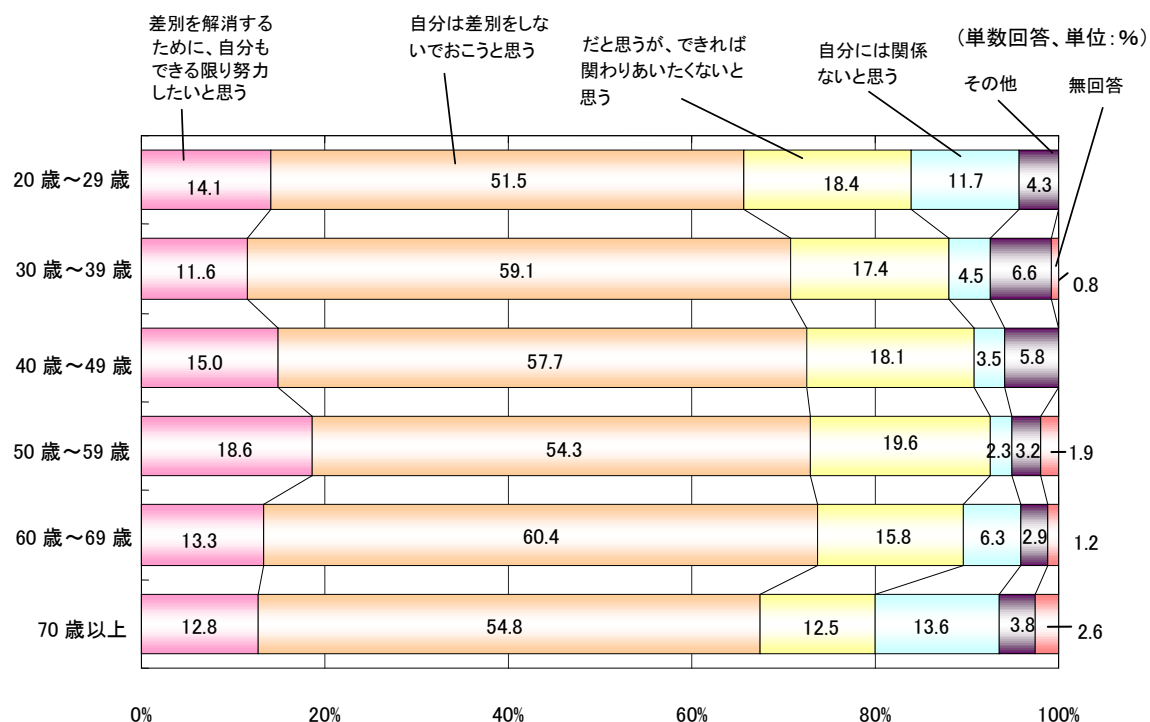


性別集計



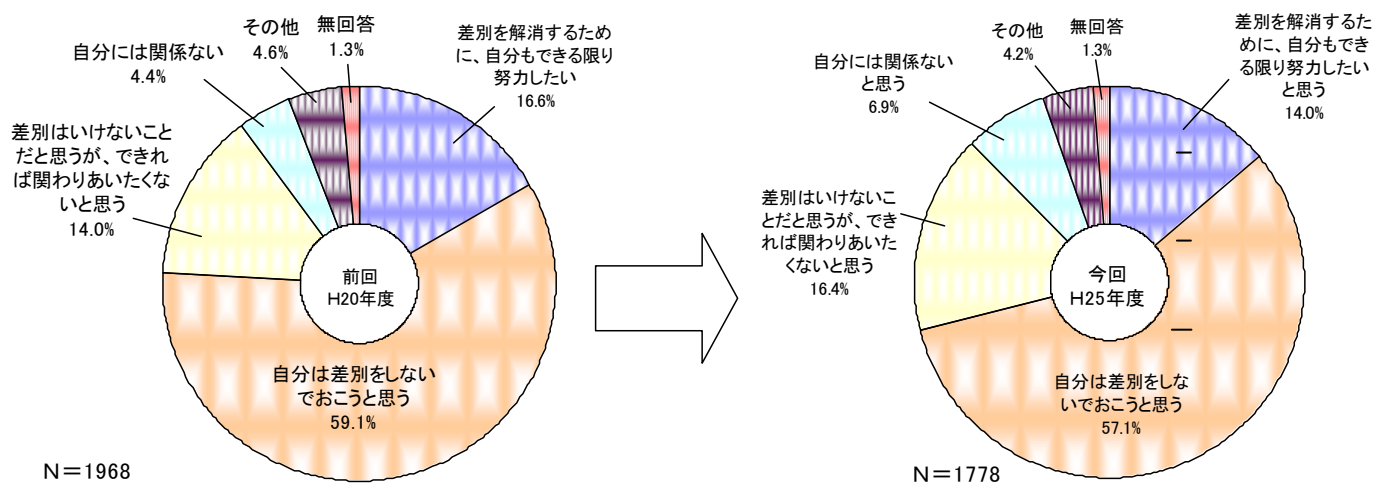
性別にみると、男女ともに「自分は差別をしないでおこうと思う」が最も高く、次に男性は「差別を解消するために、自分もできる限り努力したいと思う」、女性は「差別はいけないことだと思うが、できれば関わりあいたくないと思う」の順となっている。

年齢別集計



年齢別にみると、おおむね全体集計と同じ傾向となっているが、70 歳以上は「自分には関係ないと思う」が第 2 位となっている。

過去の調査との比較



前回の調査と比較すると、「自分には関係ないと思う」は 20 年度よりも 2.5 ポイント上がっているが、その他の項目は下がっている。

問6 結婚に対する姿勢

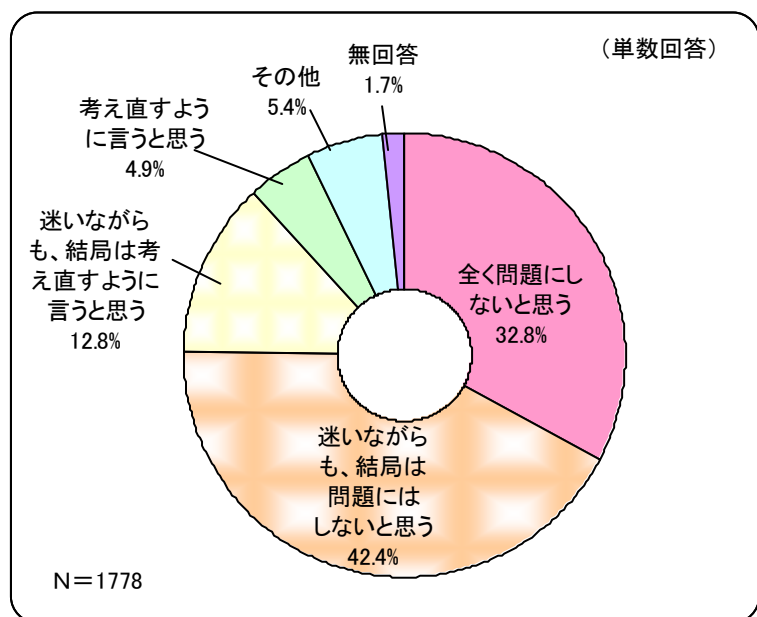
仮に、あなたのお子さんが恋愛をし、結婚したいといっている相手が同和地区の出身者だとわかった場合についてお答え下さい。※お子さんがいない場合はいると仮定してお答え下さい。

(1) あなたはどんな態度を取ると思いますか。(〇は1つだけ)

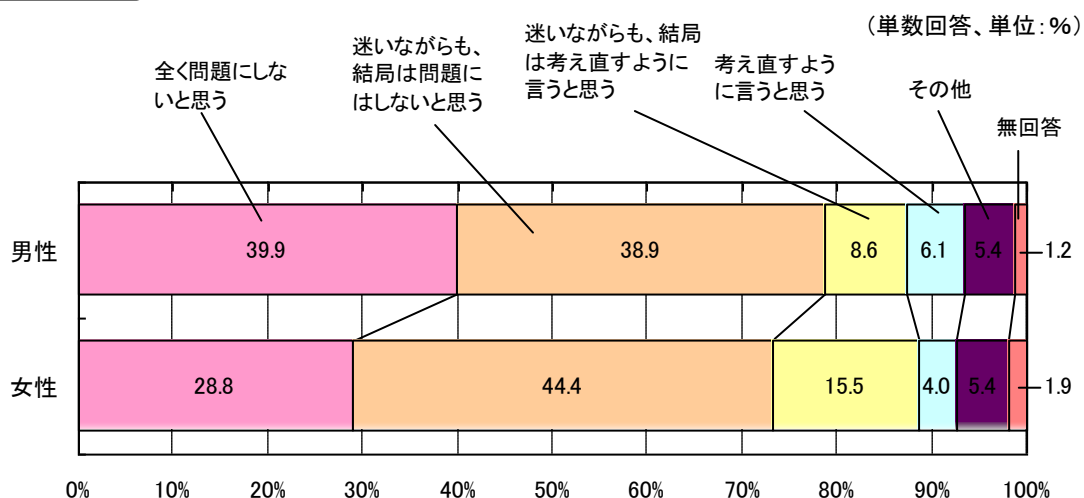
1. 全く問題にしないと思う
2. 迷いながらも、結局は問題にはしないと思う
3. 迷いながらも、結局は考え直すように言うと思う
4. 考え直すように言うと思う
5. その他具体的に ()

全体集計

「迷いながらも、結局は問題にはしないと思う」が42.4%と最も高く、次いで「全く問題にしないと思う」が32.8%となり、この項目を合わせた「問題にはしない」と思う割合は75.2%となっている。

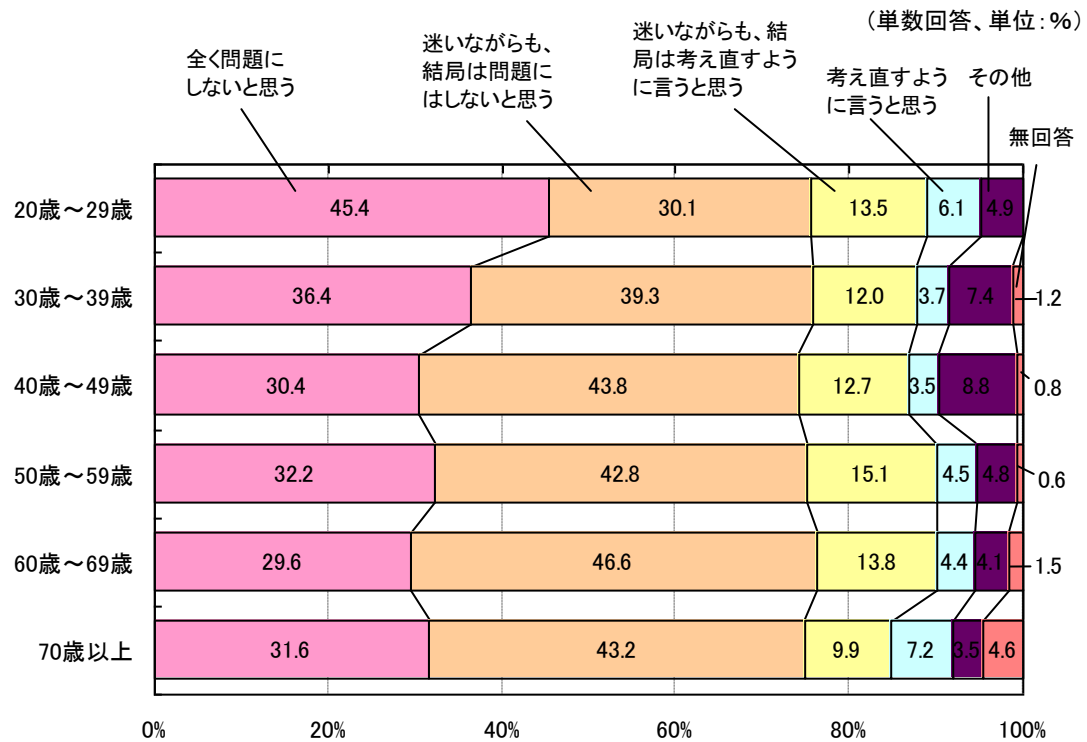


性別集計



性別にみると、「全く問題にしないと思う」は女性より男性が11.1ポイント高く、「迷いながらも、結局は考え直すように言うと思う」は男性より女性が6.9ポイント高くなっている。

年齢別集計



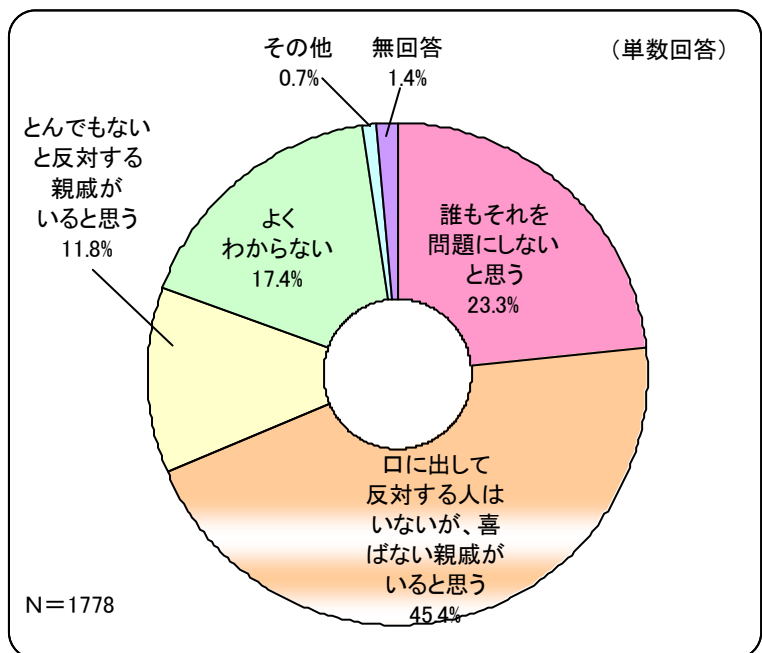
年齢別にみると、「全く問題にしないと思う」は20歳代が4割を超え、30歳代以上は「迷いながらも結局は問題にはしないと思う」がおおむね4割を超えている。

(2) あなたの親戚はどんな態度を取るといいますか。(○は1つだけ)

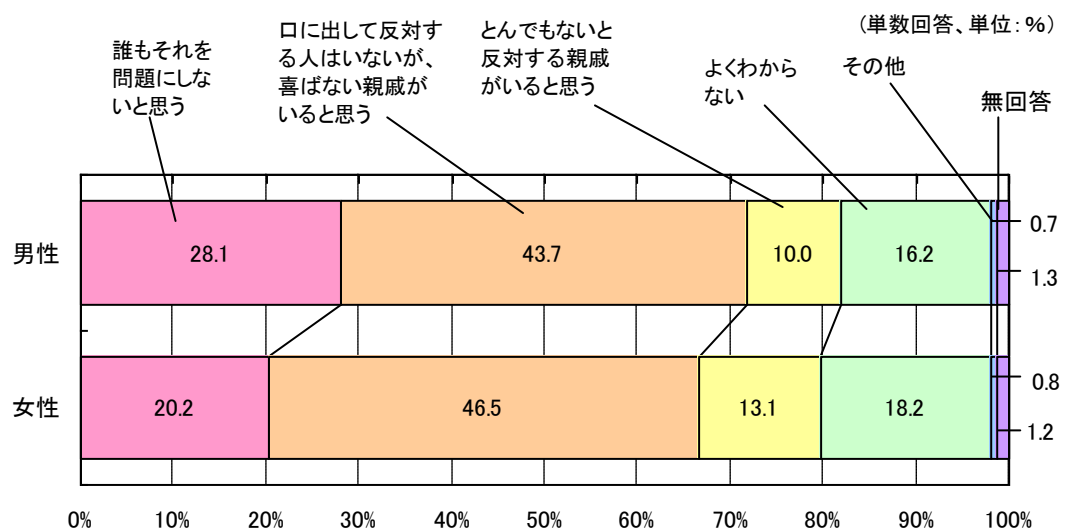
1. 誰もそれを問題にしないと思う
2. 口に出して反対する人はいないが、喜ばない親戚がいると思う
3. とんでもないと反対する親戚がいると思う
4. よくわからない
5. その他具体的に ()

全体集計

「口に出して反対する人はいないが、喜ばない親戚がいると思う」が45.4%と最も高く、次いで「誰もそれを問題にしないと思う」が23.3%、「とんでもないと反対する親戚がいると思う」が11.8%の順となっている。

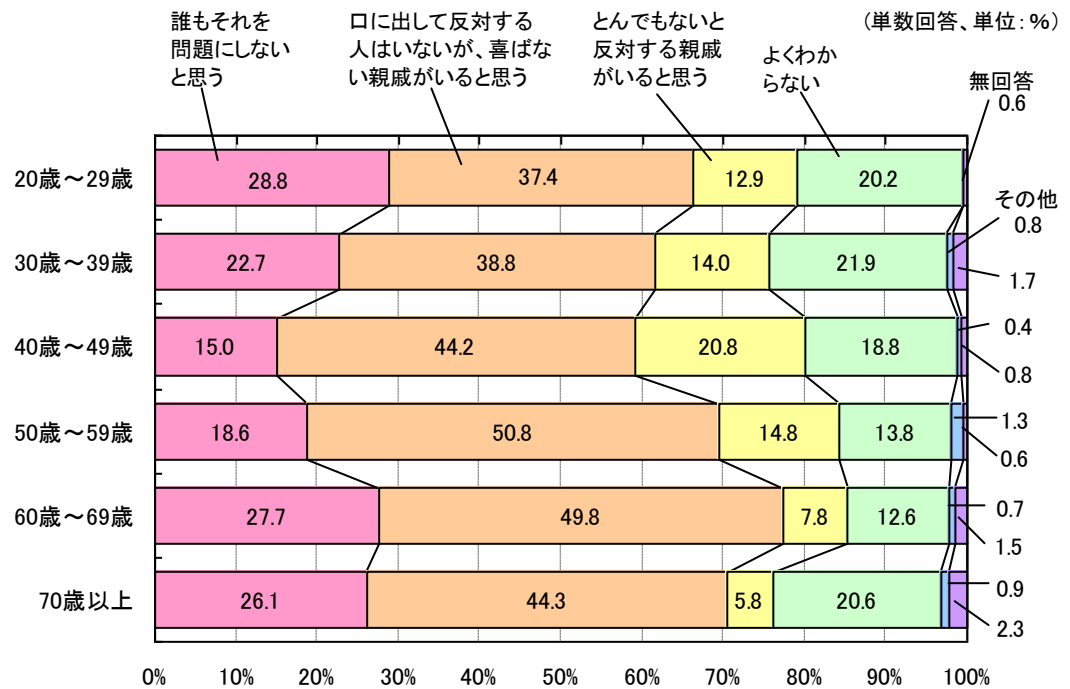


性別集計



性別にみると、「誰もそれを問題にしないと思う」は女性より男性が7.9ポイント高く、「口に出して反対する人はいないが、喜ばない親戚がいると思う」と「とんでもないと反対する親戚がいると思う」は男性より女性の回答が高くなっている。

年齢別集計



年齢別にみると、「誰もそれを問題にしないと思う」は40～50歳代が2割を下回り、「口に出して反対する人はいないが、喜ばない親戚がいると思う」は40歳代以上で4割を超え、50歳代が50.8%と最も高くなっている。

問7 居住地としての意識

あなたが、住宅（家・マンション）の購入又は賃貸を選ぶ際についてお答えください。

（１）価格や立地条件などが希望にあっている住宅でも、同和地区の地域内であった場合、避ける
ことがあると思いますか。（○は１つだけ）

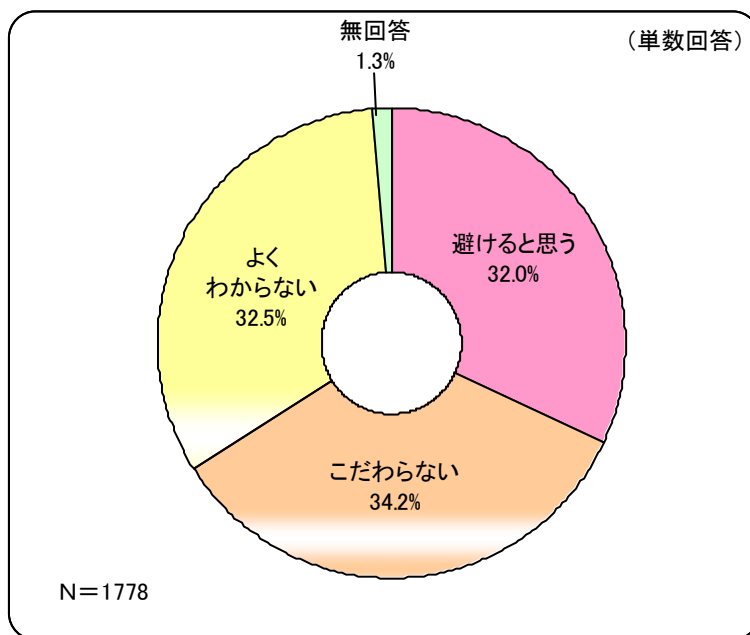
１．避けると思う

２．こだわらない

３．よくわからない

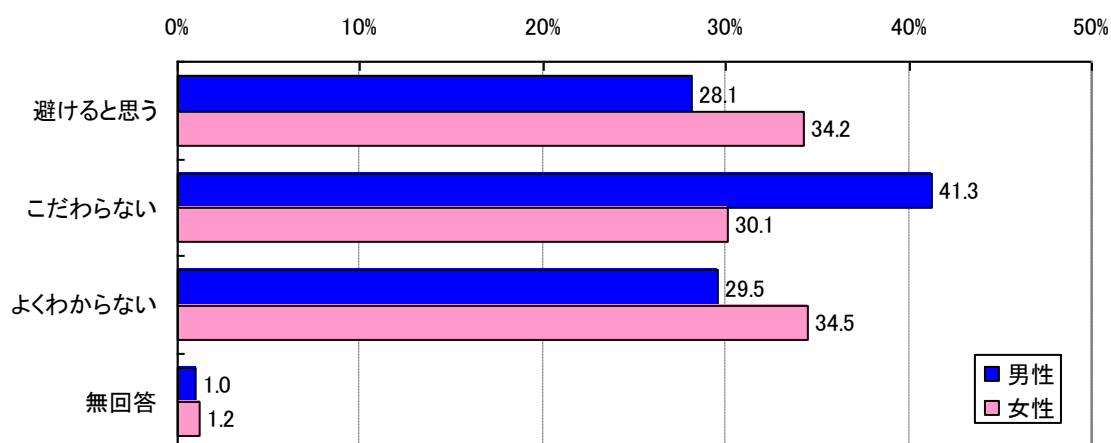
全体集計

「こだわらない」が 34.2%、「避けると思う」が 32.0%、「よくわからない」が 32.5%となっている。



性別集計

（単数回答、単位：%）



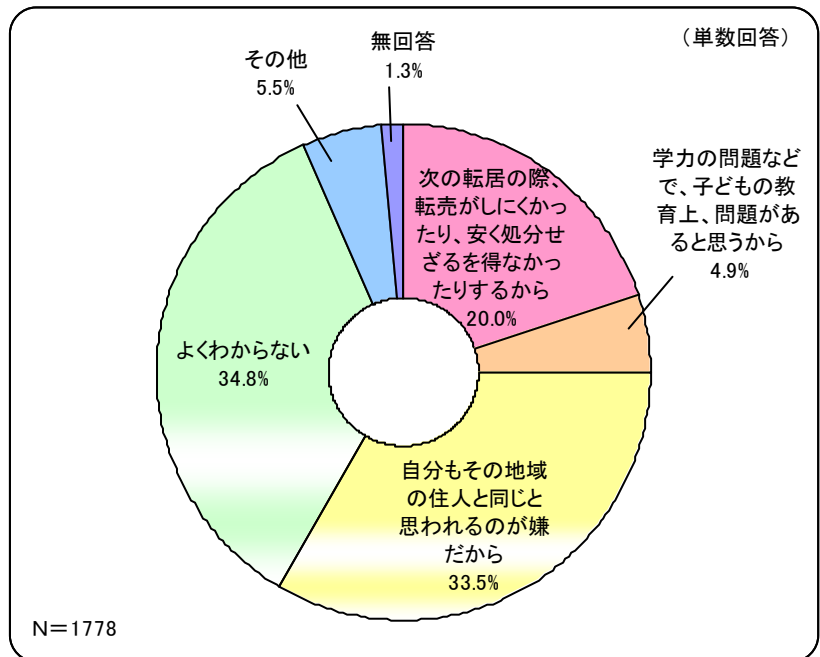
性別にみると、「こだわらない」は女性より男性が 11.2 ポイント上回り、「避けると思う」が男性より女性が 6.1 ポイント上回っている。

（２）同和地区内の地域内であった場合、住宅の購入や入居を避ける人があるのはなぜだと思いますか。（〇は１つだけ）

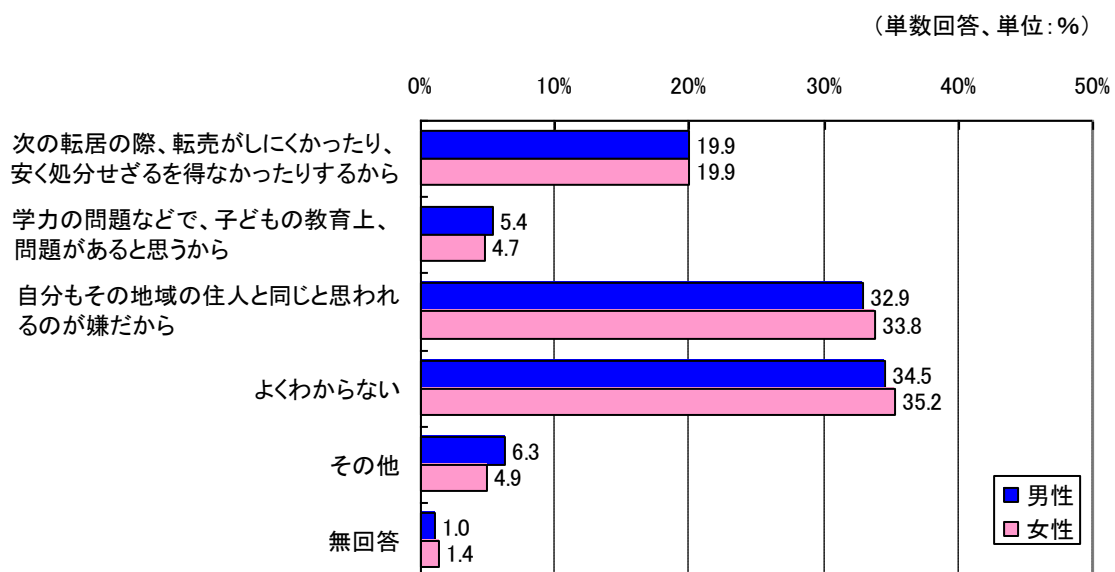
- １．次の転居の際、転売がしにくかったり、安く処分せざるを得なかったりするから
- ２．学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから
- ３．自分もその地域の住人と同じと思われるのが嫌だから
- ４．よくわからない
- ５．その他、具体的に（ ）

全体集計

「よくわからない」が34.8%と最も高く、次いで「自分もその地域の住人と同じと思われるのが嫌だから」が33.5%、「次の転居の際、転売がしにくかったり、安く処分せざるを得なかったりするから」が20.0%の順となっている。



性別集計



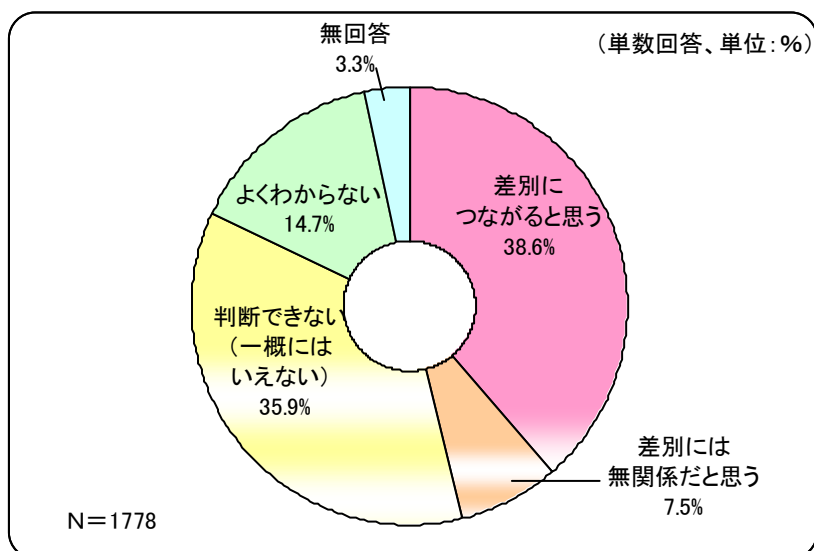
性別による大きな差はみられない。

(3) 不動産取引の際に問7-(2)のような理由で避けることをどう思いますか。(○は1つだけ)

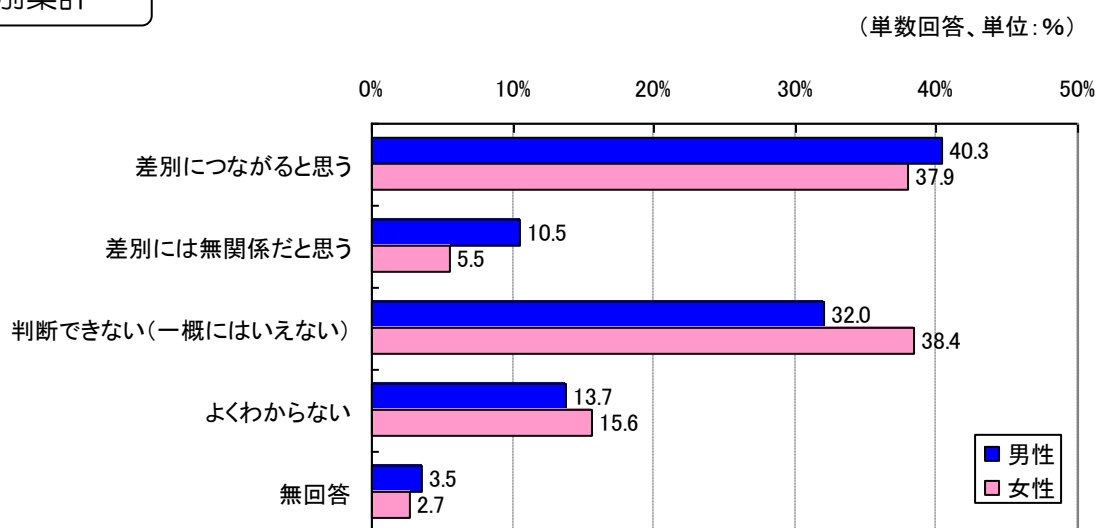
- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 差別につながると思う | 2. 差別には無関係だと思う |
| 3. 判断できない(一概にはいえない) | 4. よくわからない |

全体集計

「差別につながると思う」が38.6%と最も高く、次いで「判断できない(一概にはいえない)」が35.9%、「よくわからない」が14.7%の順となっている。



性別集計



性別にみると、「判断できない(一概にはいえない)」が男性より女性が6.4ポイント上回り、「差別につながると思う」と「差別には無関係だと思う」は女性より男性の回答が上回っている。

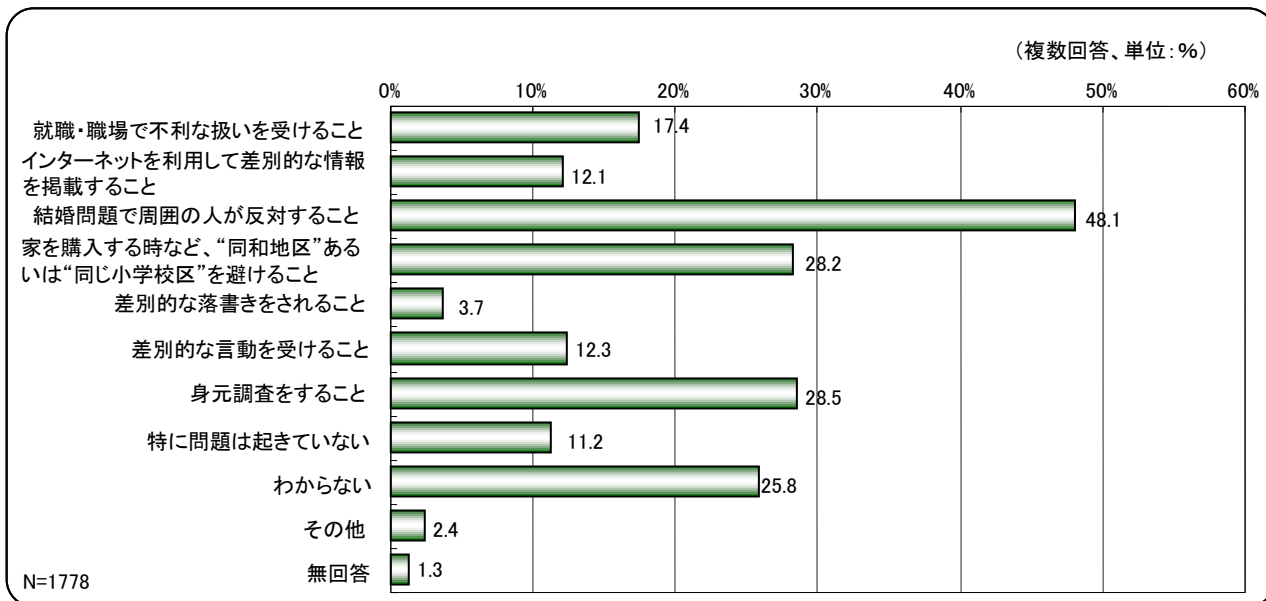
問8 同和問題に対する人権上の問題点

あなたは、同和問題に関して、現在、特にどのような問題が起きていると思いますか。

次の中から選んでください。(〇は3つまで)

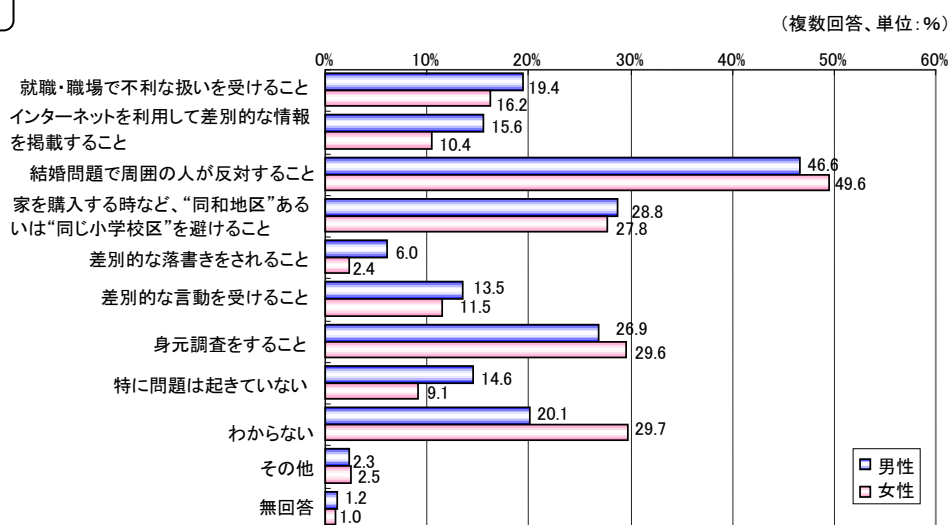
1. 就職・職場で不利な扱いを受けること
2. インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること
3. 結婚問題で周囲の人が反対すること
4. 家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること
5. 差別的な落書をされること
6. 差別的な言動を受けること
7. 身元調査をすること
8. 特に問題は起きていない
9. わからない
10. その他 ()

全体集計



「結婚問題で周囲の人が反対すること」が 48.1%と最も高く、次いで「身元調査をすること」が 28.5%となっている。一方、「わからない」も 25.8%と高い割合となっている。

性別集計



性別にみると、「インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること」で男性が 15.6%であるのに対して、女性は 10.4%と 5.2 ポイントの差がみられたが、その他の項目では大きな差はない。一方、「わからない」は男性より女性が 9.6 ポイント高くなっている。

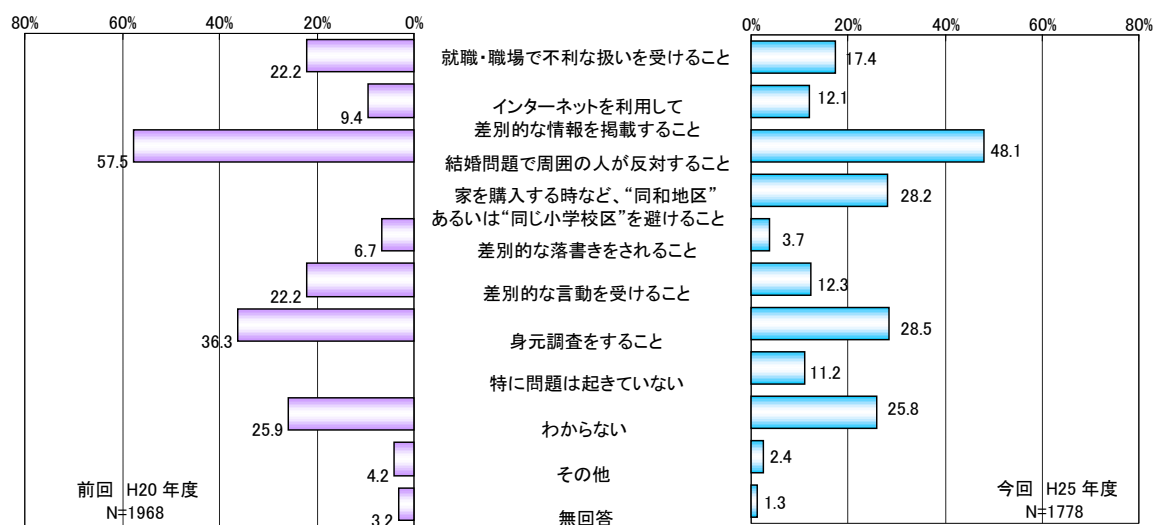
年齢別集計

	就職・職場で不利な扱いを受けること	インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること	結婚問題で周囲の人が反対すること	家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校校区”を避けること	差別的な落書きをされること	差別的な言動を受けること	身元調査をすること	特に問題は起きていない	わからない	その他	無回答
20歳代	③ 26.4	17.2	① 45.4	23.9	6.7	20.2	21.5	6.7	② 28.2	3.7	—
30歳代	19.0	12.8	① 51.2	② 28.9	6.2	16.9	24.8	5.8	③ 28.1	2.5	0.8
40歳代	20.0	15.8	① 61.2	③ 32.3	5.8	13.8	② 33.5	5.8	18.1	1.9	—
50歳代	23.5	15.8	① 58.2	③ 29.3	3.5	14.8	② 33.4	8.4	18.6	2.6	1.0
60歳代	13.3	11.2	① 47.6	② 33.0	2.4	8.5	③ 31.1	14.1	24.5	1.9	1.0
70歳以上	9.6	5.8	② 30.1	20.3	1.2	6.1	③ 22.9	20.0	① 38.0	2.6	2.9

※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。

年齢別にみると、全体集計で最も割合の高かった「結婚問題で周囲から反対を受ける」で年齢層による差が最も大きく、40歳代の61.2%に対して、70歳以上では30.1%と31.1ポイントも差があった。

過去の調査との比較



前回の調査結果と比較すると、今回は全体的に低い傾向となっているが、依然として「結婚問題で周囲の人が反対すること」が高い割合を占めている。

3. 女性の人権について

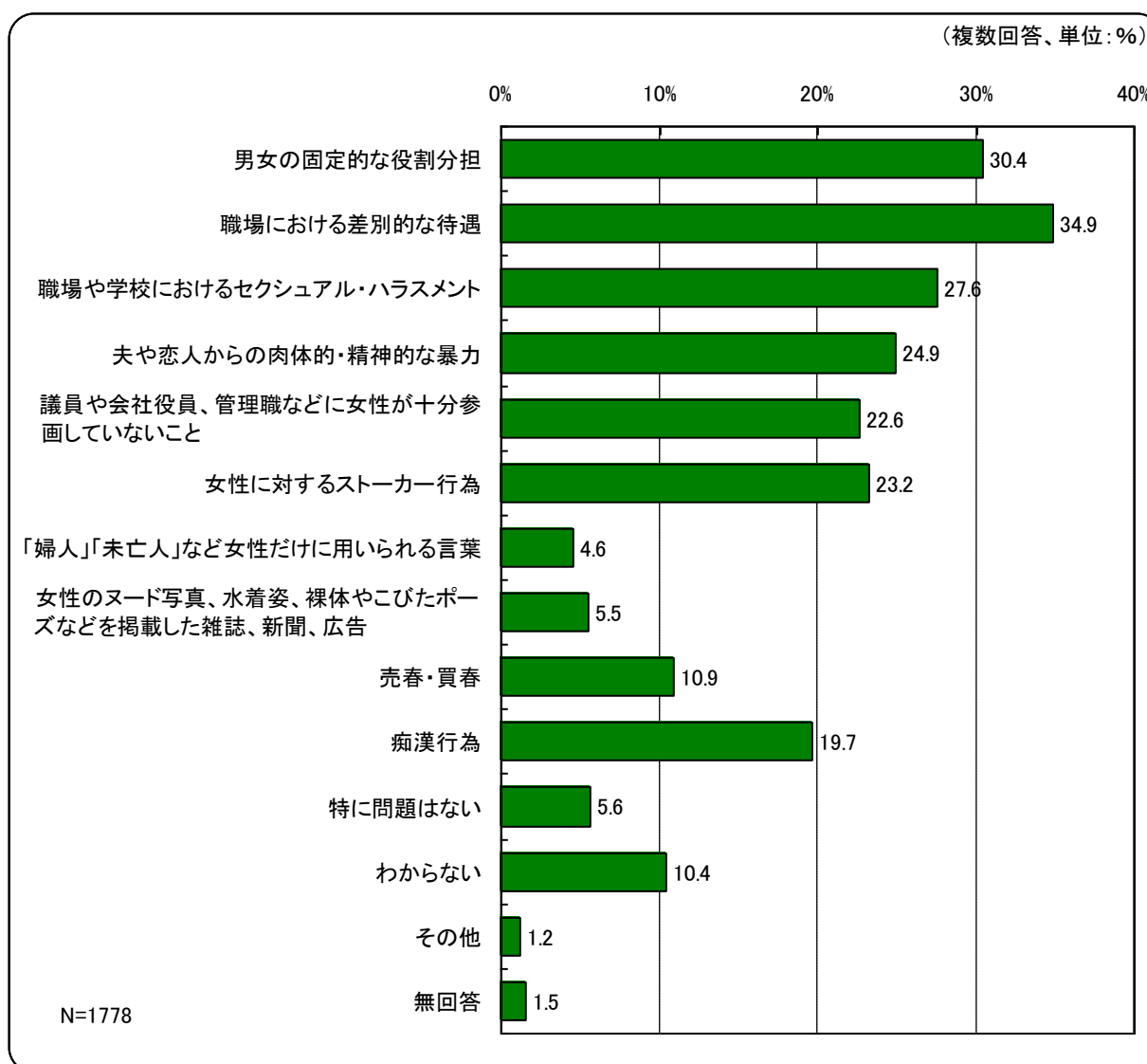
問9 女性に関する人権上の問題点

あなたは、女性の人権問題について、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。

次の中から選んでください。(〇は3つまで)

1. 男女の固定的な役割分担（男は仕事、女は家庭など）
2. 職場における差別的な待遇
3. 職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
4. 夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力（DV：ドメスティック・バイオレンス）
5. 議員や会社役員、管理職などに女性が十分参画していないこと
6. 女性に対するストーカー（つきまとい）行為
7. 「婦人」「未亡人」など女性だけに用いられる言葉
8. 女性のヌード写真、水着姿、裸体やこびたポーズなどを掲載した雑誌、新聞、広告
9. 売春・買春（いわゆる「援助交際」を含む）
10. 痴漢行為
11. 特に問題はない
12. わからない
13. その他（ ）

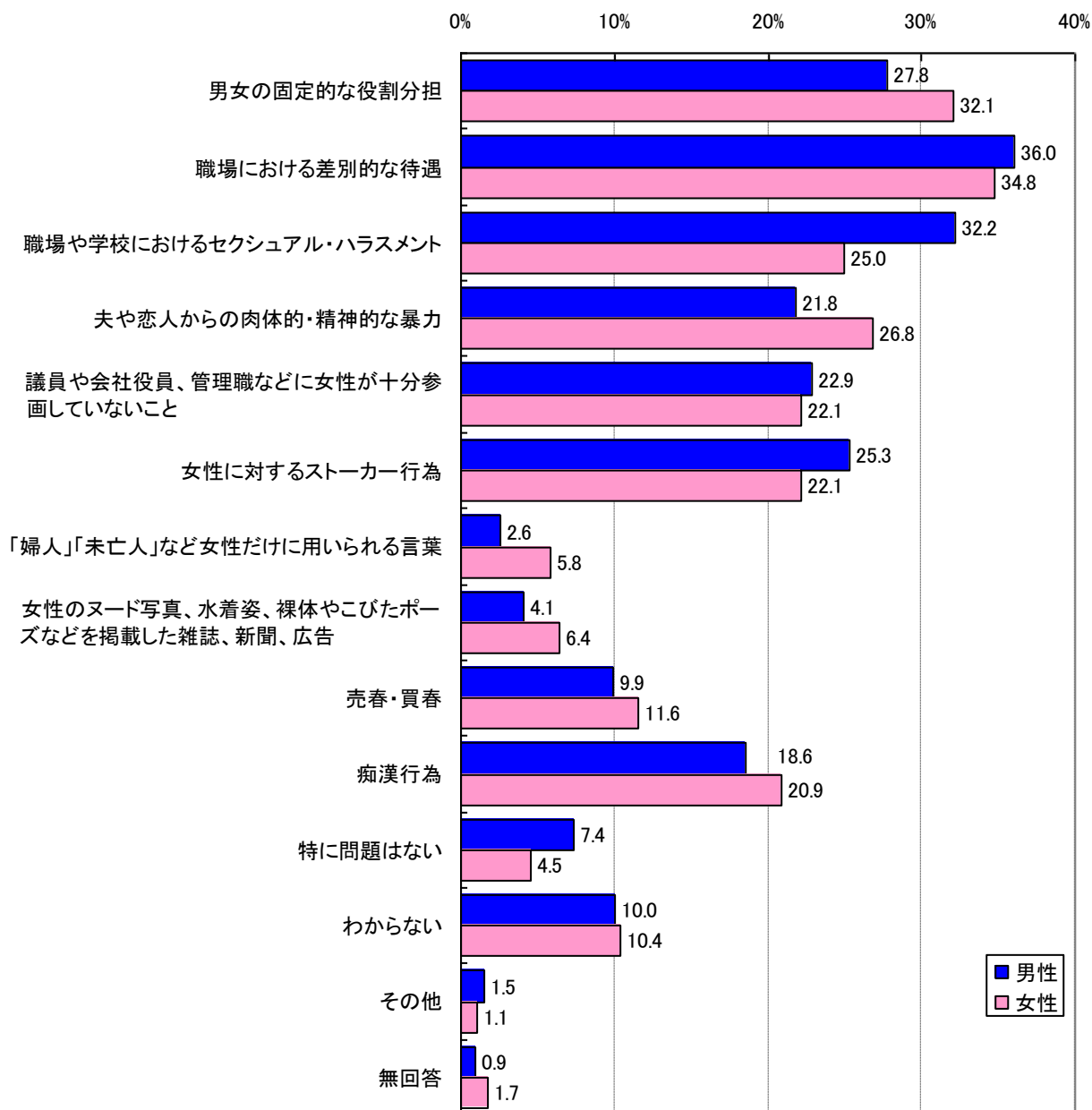
全体集計



「職場における差別的な待遇」が 34.9%と最も高く、次いで「男女の固定的な役割分担」が 30.4%、「職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント」が 27.6%、「夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力」が 24.9%の順となっている。

性別集計

(複数回答、単位：%)



性別にみると、「職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント」は女性より男性が7.2ポイント上回り、「夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力」は男性より女性が5.0ポイント上回っている。

年齢別集計

	男女の固定的な役割分担	職場における差別的な待遇	職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント	夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力	議員や会社役員、管理職などに女性が十分参画していないこと	女性に対するストーカー行為	「婦人」「未亡人」など女性だけに用いられる言葉	女性のヌード写真、水着姿、裸体やこびたポーズなどを掲載した雑誌、新聞、広告
20歳代	② 34.4	① 39.9	② 34.4	26.4	20.2	22.7	1.8	3.1
30歳代	③ 31.0	① 37.2	② 35.5	28.1	25.6	24.8	5.0	5.4
40歳代	③ 33.1	① 35.8	② 33.5	③ 33.1	19.2	24.6	2.7	6.2
50歳代	29.9	① 39.5	② 35.0	③ 32.8	21.5	26.4	3.9	4.8
60歳代	② 31.6	① 33.3	21.4	20.1	③ 27.4	24.0	6.1	6.3
70歳以上	② 24.6	① 29.3	16.2	13.9	18.3	18.6	5.8	6.1
	売春・買春	痴漢行為	特に問題はない	わからない	その他	無回答	※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。	
20歳代	8.6	27.6	3.1	8.6	1.2	－		
30歳代	11.2	22.7	0.8	7.4	1.2	1.2		
40歳代	8.8	22.3	4.6	5.8	1.5	－		
50歳代	11.3	18.6	4.5	6.1	1.3	1.3		
60歳代	12.9	17.2	7.3	9.5	1.5	1.0		
70歳以上	11.0	17.1	9.9	③ 21.4	0.6	4.1		

年齢別にみると、全体集計で割合が最も高い「職場における差別的な待遇」は20歳代が39.9%と最も高く、70歳以上で29.3%と最も低く10.6ポイントの差がある。同様に全体集計で割合が高い「男女の固定的な役割分担」は70歳以上が24.6%で他の年齢層は約3割を超え、20歳代と比較スト9.8ポイント差がある。

過去の調査との比較

割合が高い順に比較

	前回(平成20年度)		前回(平成25年度)	
1	男女の固定的な役割分担	38.7%	職場における差別的な待遇	34.9%
2	職場における差別待遇	38.5%	男女の固定的な役割分担	30.4%
3	職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント	28.5%	職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント	27.6%
4	痴漢行為	23.1%	夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力	24.9%
5	夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力行為	20.1%	女性に対するストーカー行為	23.2%
6	売春・買春	17.8%	議員や会社役員、管理職などに女性が十分参画していないこと	22.6%
7	女性に対するストーカー行為	16.7%	痴漢行為	19.7%
8	わからない	10.5%	売春・買春	10.9%
9	女性のヌード写真、水着姿、裸体やこびたポーズなどを掲載した雑誌、新聞、広告	8.2%	わからない	10.4%
10	「婦人」「未亡人」など女性だけに用いられる言葉	5.4%	特に問題はない	5.6%
11	女性の容姿を競うコンテスト	4.7%	女性のヌード写真、水着姿、裸体やこびたポーズなどを掲載した雑誌、新聞、広告	5.5%
12	無回答	2.6%	「婦人」「未亡人」など女性だけに用いられる言葉	4.6%
13	その他	2.0%	無回答	1.5%
14			その他	1.2%

※表中のゴシック体で表現している項目は、今回の調査で新たに追加、または変更した選択肢を表しています。

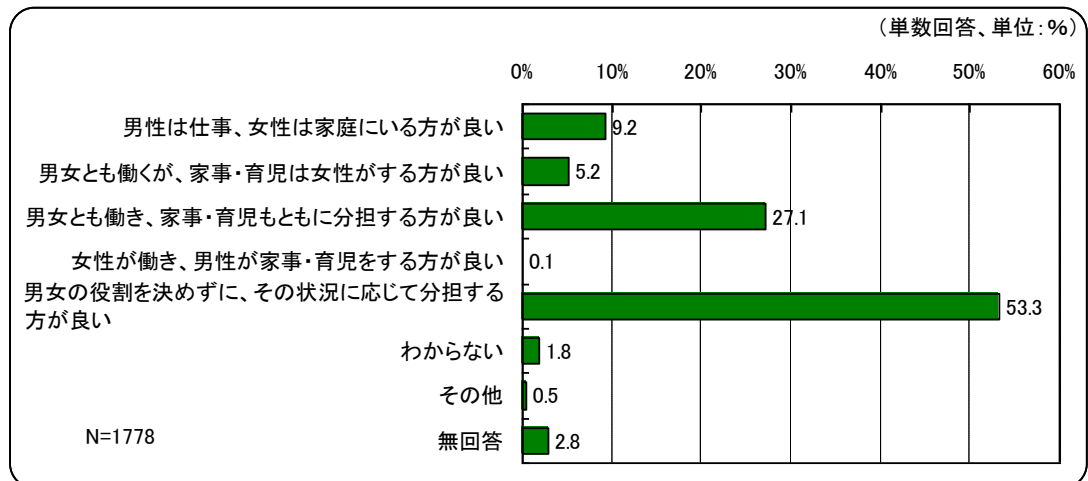
前回の調査と比較すると、前回の調査では「男女の固定的な役割分担」の割合が最も高かったのに対して、今回は「職場における差別的な待遇」が最も高く、「夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力」や「女性に対するストーカー行為」が上位に位置している。

問10 男女の役割分担に対する意識

あなたは、仕事と家庭に関する男女の役割分担についてどう思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。(○は1つだけ)

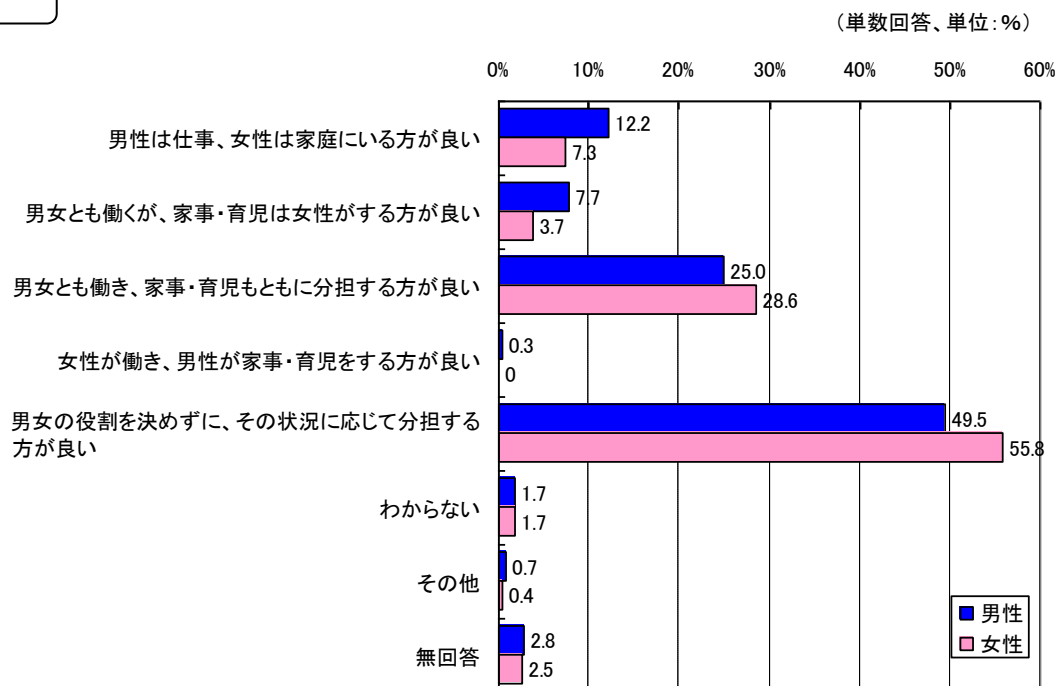
1. 男性は仕事、女性は家庭にいる方が良い
2. 男女とも働くが、家事・育児は女性がする方が良い
3. 男女とも働き、家事・育児もともに分担する方が良い
4. 女性が働き、男性が家事・育児をする方が良い
5. 男女の役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い
6. わからない
7. その他具体的に ()

全体集計



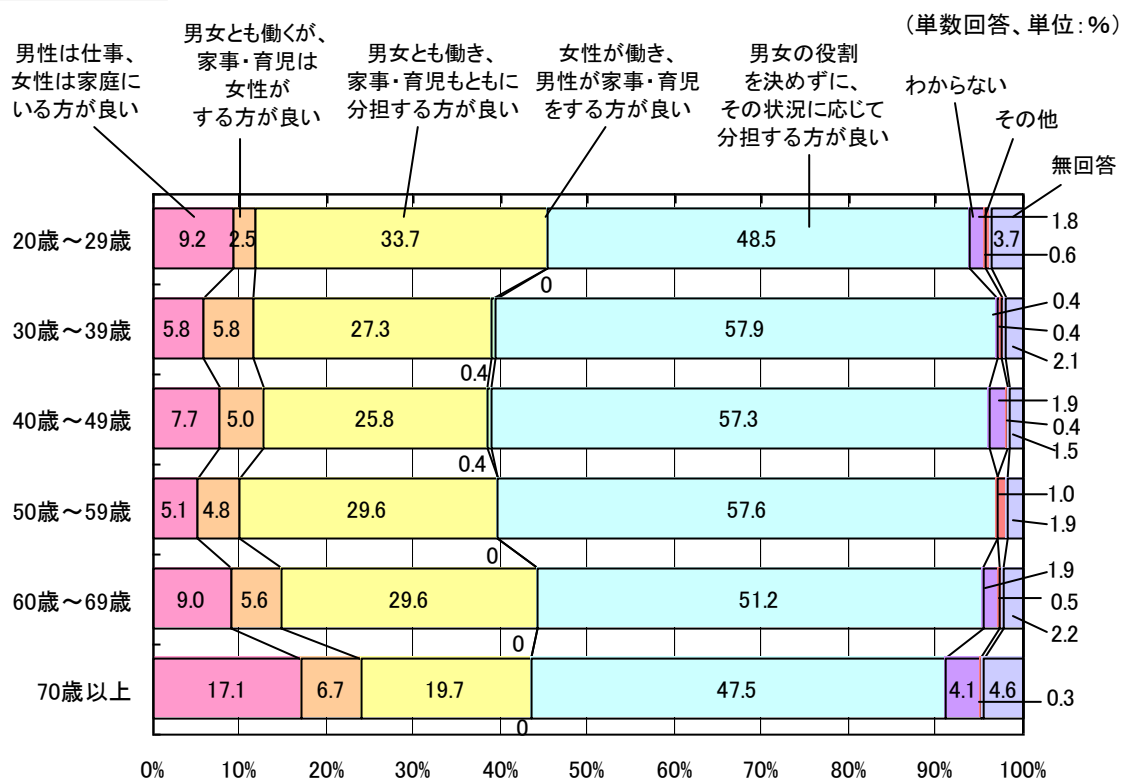
「男女の役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い」が 53.3% と最も高く、次いで「男女とも働き、家事・育児もともに分担する方が良い」が 27.1% となっている。

性別集計



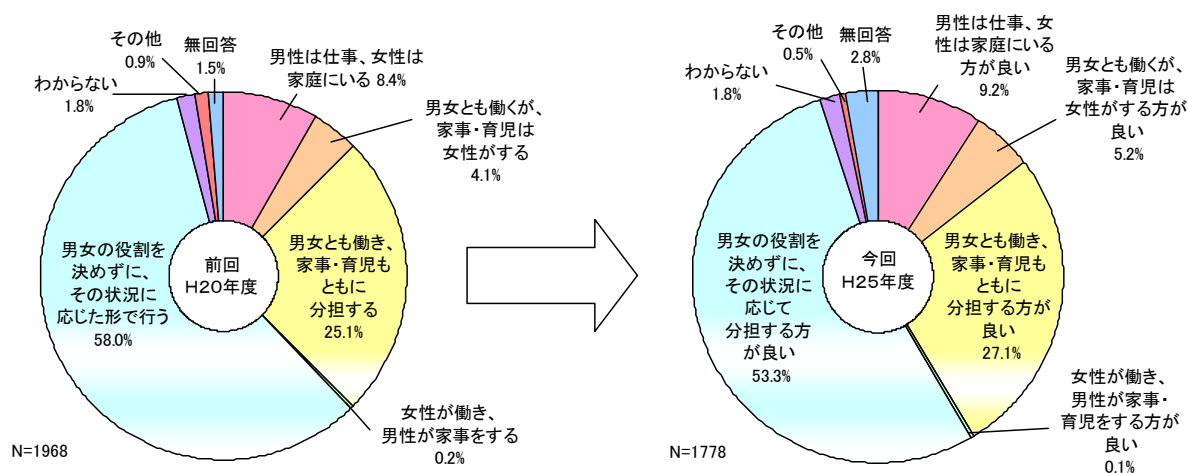
性別にみると、男女ともに「男女の役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い」が最も高く、男性より女性が 6.3 ポイント上回っている。

年齢別集計



年齢別にみると、「男女の役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い」は20歳代と70歳以上は5割を下回っている。20歳代は「男女とも働き、家事・育児もともに分担する方が良い」が3割を超え他の年齢層より高く、70歳以上は「男性は仕事、女性は家庭にいる方が良い」が17.1%と1割を超えている。

過去の調査との比較



前回の調査と比較すると、「男女の役割を決めず、その状況に応じて分担当する方が良い」が前回より4.7ポイント下回り、「男女とも働き、家事・育児もともに分担当する方が良い」は2.0ポイント上回っている。

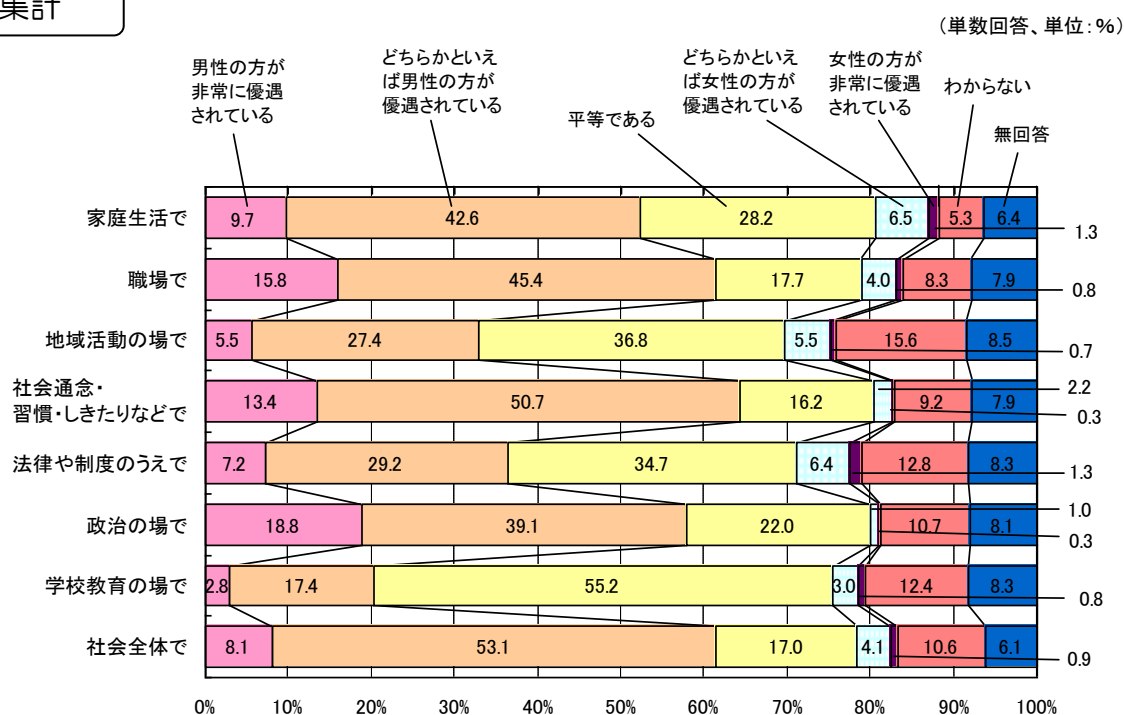
問 1 1 男女の地位の平等感

あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。

項目ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇 されている	平等である	どちらかといえば 女性の方が優遇 されている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
記入例 →	①	2	3	4	5	6
家庭生活で	1	2	3	4	5	6
職場で	1	2	3	4	5	6
地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
社会通念・習慣・しきたりなどで	1	2	3	4	5	6
法律や制度のうえで	1	2	3	4	5	6
政治の場で	1	2	3	4	5	6
学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
社会全体で	1	2	3	4	5	6

全体集計



「平等である」の割合が最も高いのは、「学校教育の場で」が 55.2%、次いで「地域活動の場で」が 36.8%、「法律や制度のうえで」が 34.7%の順となっている。

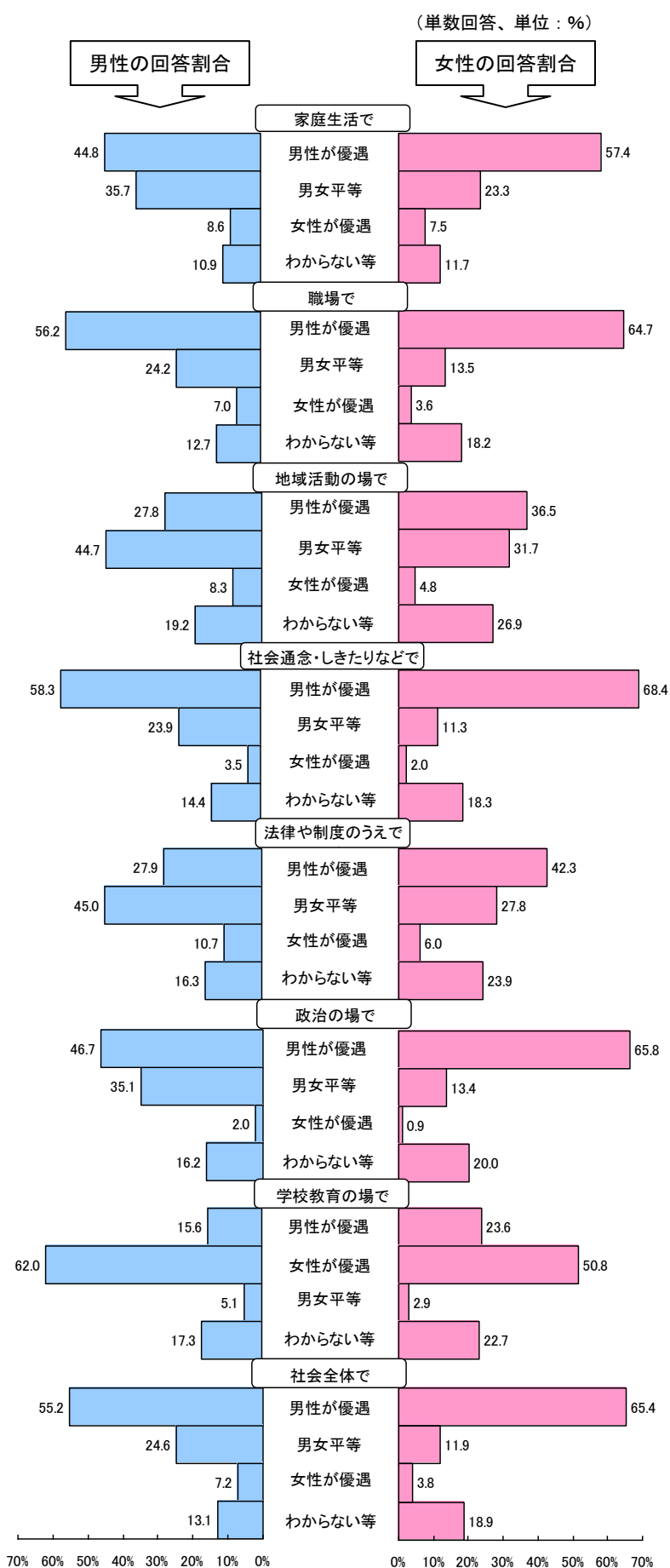
その他の項目については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっている。なお、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」の割合については、両方合わせても全ての項目で 8.0%未満と低い結果となっている。

性別集計

性別集計グラフについて、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性が優遇されている」を合わせて「男性が優遇」と表現している。女性も同様に2項目を合わせている。なお、「わからない等」には「わからない」と「無回答」が含まれている。

性別にみると、「法律や制度のうえで」と「地域活動の場で」で男女の見解が大きく異なり、「法律や制度のうえで」は、「男女平等」が男性は45.0%で女性は27.8%と17.2ポイント差があり、「地域活動の場で」は男性が44.7%で女性は31.7%と13.0ポイント差があり、「政治の場で」は男性が35.1%で女性は13.4%と21.7ポイントの差がある。

なお、全体の傾向としては、「男性が優遇」と回答している割合は、男性に比べて女性の方が高く、「男女平等」と回答している割合は、女性に比べて男性の方が高い割合となっている。



年齢別集計

▽家庭生活で

(単数回答、単位%)

	男性が優遇	平等である	女性が優遇	わからない等
20歳代	36.8	30.7	16.0	16.6
30歳代	46.3	30.2	12.0	11.6
40歳代	61.2	25.8	5.8	7.3
50歳代	53.7	31.5	7.1	7.8
60歳代	58.5	26.7	6.0	8.7
70歳以上	48.4	26.4	6.0	19.1

「男性が優遇」と「女性が優遇」の表示は、「性別集計」と同じである。

年齢別に「家庭生活で」をみると、「男女平等」は、20～30歳代、50歳代で比較的高く、「男性が優遇」は40歳代が6割を超えている。

▽職場で

	男性が優遇	平等である	女性が優遇	わからない等
20歳代	58.9	24.5	6.1	10.4
30歳代	66.9	16.9	5.8	10.3
40歳代	65.8	18.5	5.0	10.8
50歳代	65.9	19.9	6.5	7.7
60歳代	63.8	18.2	3.7	14.4
70歳以上	47.9	11.9	3.8	36.5

年齢別に「職場で」をみると、「男性が優遇」が30～60歳代で6割を超え、20歳代は「男女平等」が2割を超えている。一方、70歳以上は「わからない等」が3割を超えている。

▽地域活動の場で

	男性が優遇	平等である	女性が優遇	わからない等
20歳代	19.0	47.9	7.4	25.8
30歳代	33.5	35.5	7.4	23.5
40歳代	36.9	37.3	5.0	20.7
50歳代	39.5	36.3	7.1	17.0
60歳代	34.0	39.1	5.8	21.1
70歳以上	29.3	29.9	5.5	35.3

年齢別に「地域活動の場で」をみると、「男女平等」は20～40歳代と60歳代で比較的高く、50歳代は「男性が優遇」の回答が約4割となっている。

▽社会通念・習慣・しきたりなどで

	男性が優遇	平等である	女性が優遇	わからない等
20歳代	54.6	22.1	2.5	20.9
30歳代	66.9	16.9	2.1	14.0
40歳代	74.3	14.2	2.7	8.9
50歳代	70.8	17.0	2.5	9.6
60歳代	68.0	14.6	3.6	13.8
70歳以上	48.7	16.2	1.7	33.4

年齢別に「社会通念・習慣・しきたりなどで」をみると、「男性が優遇」は30～60歳代で6割を超えている。20歳代は「男女平等」で2割を超え、70歳以上は「女性が優遇」が1割を超えている。

▽法律や制度のうえで

	男性が優遇	平等である	女性が優遇	わからない等
20歳代	23.3	36.2	14.7	25.8
30歳代	37.2	33.9	12.0	16.9
40歳代	46.9	31.5	8.5	13.1
50歳代	41.1	37.0	8.1	13.8
60歳代	40.0	37.9	4.6	17.5
70歳以上	26.1	30.7	4.9	38.2

年齢別に「法律や制度のうえで」をみると、「男女平等」はすべての年齢層で3割を超えている。また、40～60歳代は「男性が優遇」が4割を超えている。

▽政治の場で

	男性が優遇	平等である	女性が優遇	わからない等
20歳代	58.9	17.8	1.8	21.5
30歳代	62.9	20.2	1.2	15.7
40歳代	70.8	17.3	0.8	11.2
50歳代	61.1	24.4	2.2	12.2
60歳代	57.2	25.5	1.5	15.8
70歳以上	42.9	22.6	0.6	34.0

年齢別に「政治の場で」をみると、70歳以上を除いて「男性が優遇」が5～6割と高く、70歳以上は「女性が優遇」が1割を超える。

▽学校教育の場で

	男性が優遇	平等である	女性が優遇	わからない等
20歳代	15.9	57.7	6.1	20.3
30歳代	19.0	57.4	3.8	19.8
40歳代	24.3	57.7	3.9	14.2
50歳代	23.4	60.1	3.5	12.8
60歳代	22.3	56.6	3.9	17.2
70歳以上	15.6	44.3	2.9	37.1

年齢別に「学校教育の場で」をみると、いずれの年齢層も「男女平等」が最も高い割合を占め、20～60歳代は5割を超え、70歳以上は4割を超えている。

▽社会全体で

	男性が優遇	平等である	女性が優遇	わからない等
20歳代	46.0	19.6	9.9	24.6
30歳代	61.5	17.4	6.2	14.9
40歳代	69.3	16.5	4.6	9.6
50歳代	67.5	14.5	5.5	12.6
60歳代	67.0	15.8	3.9	13.3
70歳以上	49.8	19.4	3.5	27.3

年齢別に「社会全体で」をみると、30～60歳代で「男性が優遇」が6割を超え、20歳代と70歳以上は「男女平等」が約2割となっている。

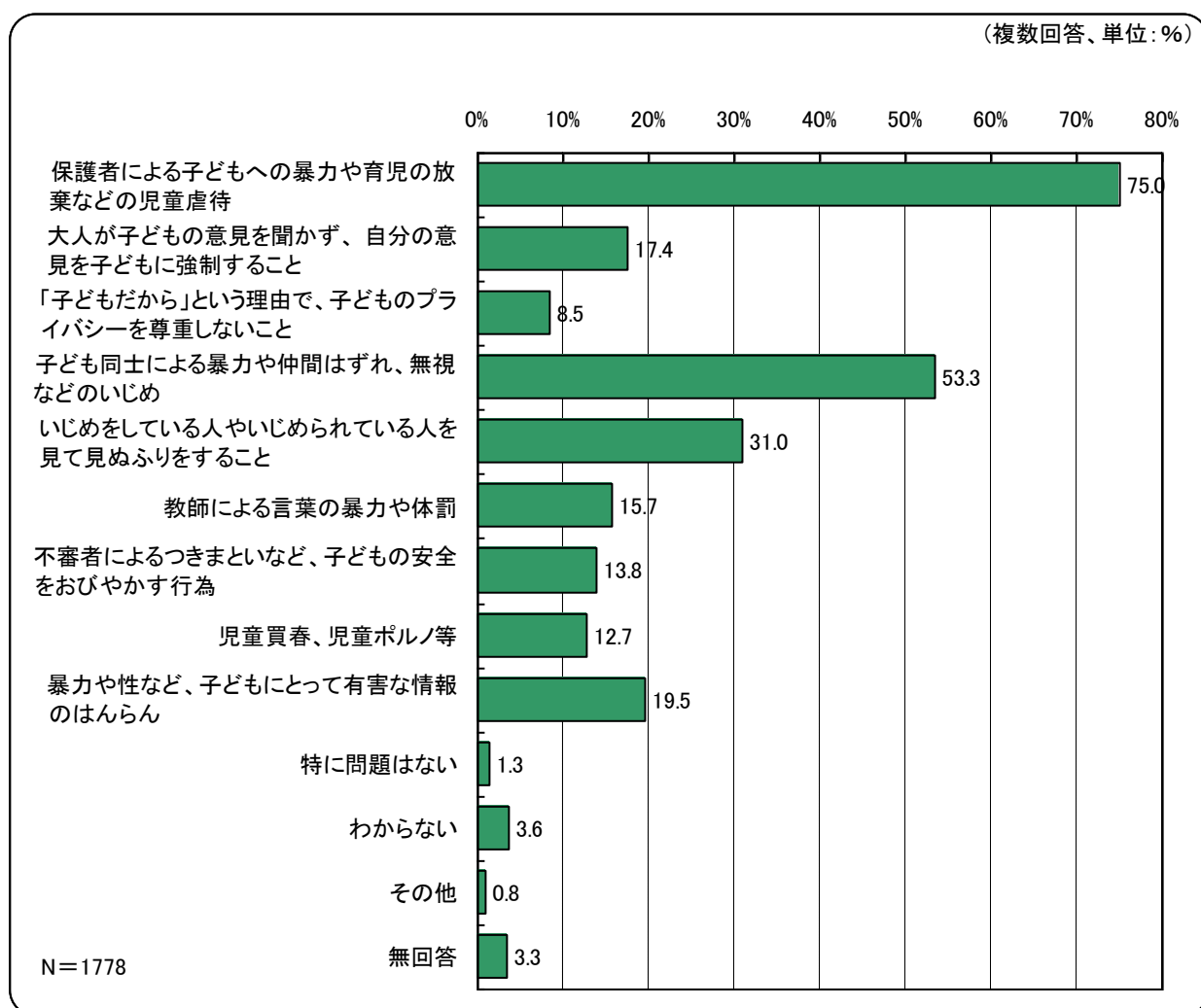
4. 子どもの人権について

問 1 2 子どもに関する人権上の問題点

あなたは、子どもに関する人権上の問題について、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

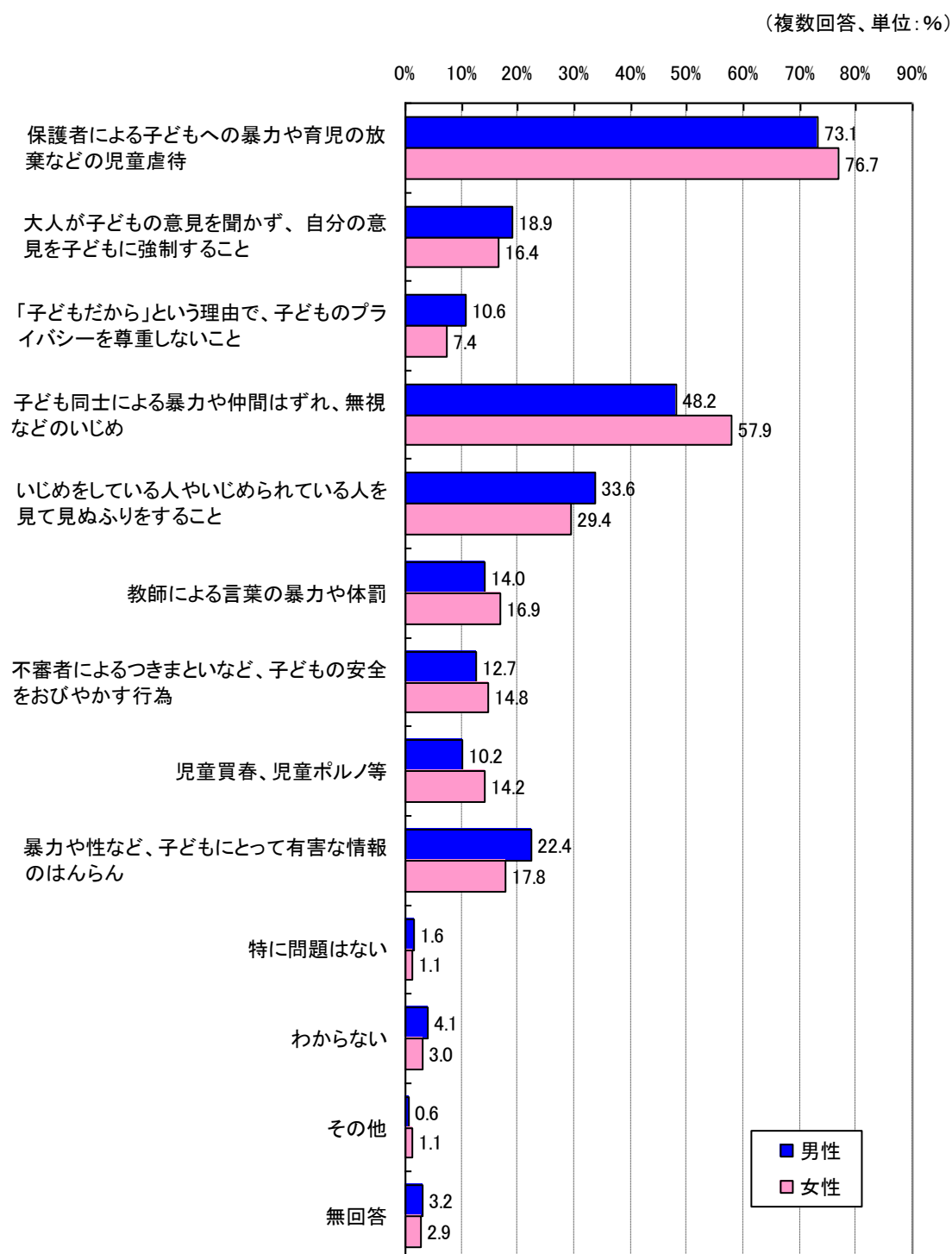
1. 保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待
2. 大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること
3. 「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しないこと
4. 子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ
5. いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする事
6. 教師による言葉の暴力や体罰
7. 不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為
8. 児童売春、児童ポルノ等
9. 暴力や性など、子どもにとって有害な情報のはんらん
10. 特に問題はない
11. わからない
12. その他 ()

全体集計



「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待」が 75.0%と最も高く、次いで「子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ」が 53.3%、「いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする事」が 31.0%の順となっている。

性別集計



性別にみると、「子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ」は、男性より女性が 9.7 ポイント上回っている。

年齢別集計

	保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待	大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること	「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しないこと	子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ	いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをする人	教師による言葉の暴力や体罰	不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	児童買春、児童ポルノ等
20歳代	① 75.5	③ 22.7	12.9	② 44.8	22.1	16.0	19.0	17.2
30歳代	① 74.4	19.4	5.8	② 60.3	③ 25.6	14.9	21.9	14.5
40歳代	① 81.9	20.0	8.8	② 56.5	③ 26.2	16.9	13.8	12.7
50歳代	① 81.7	15.1	5.8	② 60.5	③ 36.3	14.8	15.8	13.2
60歳代	① 75.2	14.6	8.3	② 57.8	③ 35.9	18.0	9.7	11.2
70歳以上	① 64.1	16.5	11.6	② 41.7	③ 31.9	13.0	9.3	10.1
	暴力や性など、子どもにとって有害な情報のはんらん	特に問題はない	わからない	その他	無回答	※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。		
20歳代	11.0	1.2	4.3	1.2	3.7			
30歳代	14.9	—	2.5	1.2	2.5			
40歳代	16.2	1.2	1.5	1.5	1.9			
50歳代	18.3	0.6	1.6	0.6	1.9			
60歳代	24.8	1.5	1.9	0.5	2.2			
70歳以上	24.6	2.3	9.0	0.6	6.7			

年齢別にみると、30歳代以上の上位3項目は同様となっているが、20歳代は3位に「大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること」となり、2割を超えている。

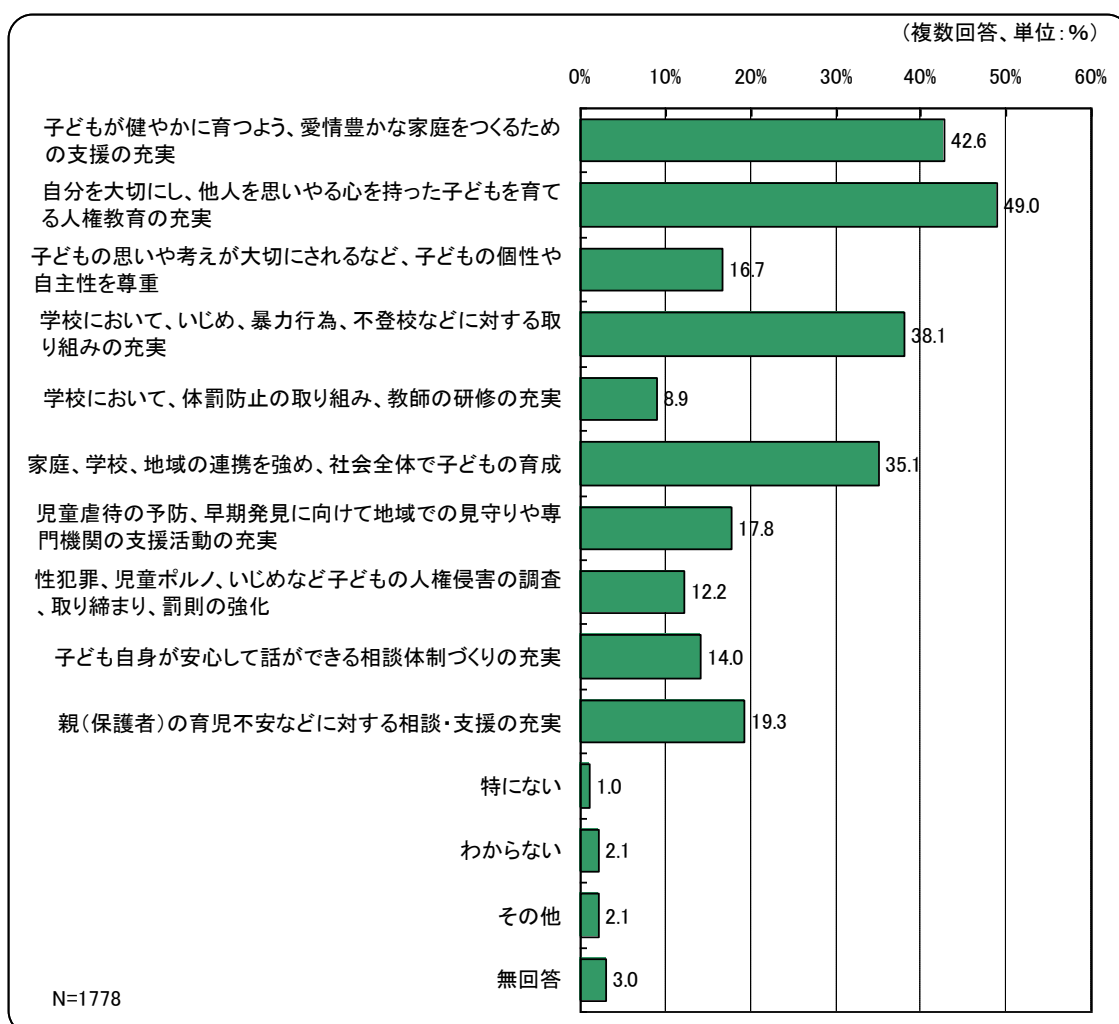
「保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待」は各年齢層で最も高くなっているが、40～50歳代は8割を超えている。

問13 子どもの人権を守るために必要なこと

あなたは、子どもの人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

1. 子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくるための支援の充実
2. 自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる人権教育の充実
3. 子どもの思いや考えが大切にされるなど、子どもの個性や自主性を尊重
4. 学校において、いじめ、暴力行為、不登校などに対する取り組みの充実
5. 学校において、体罰防止の取り組み、教師の研修の充実
6. 家庭、学校、地域の連携を強め、社会全体で子どもの育成
7. 児童虐待の予防、早期発見に向けて地域での見守りや専門機関の支援活動の充実
8. 性犯罪、児童ポルノ、いじめなど子どもの人権侵害の調査、取り締まり、罰則の強化
9. 子ども自身が安心して話ができる相談体制づくりの充実
10. 親（保護者）の育児不安などに対する相談・支援の充実
11. 特にない
12. わからない
13. その他（ ）

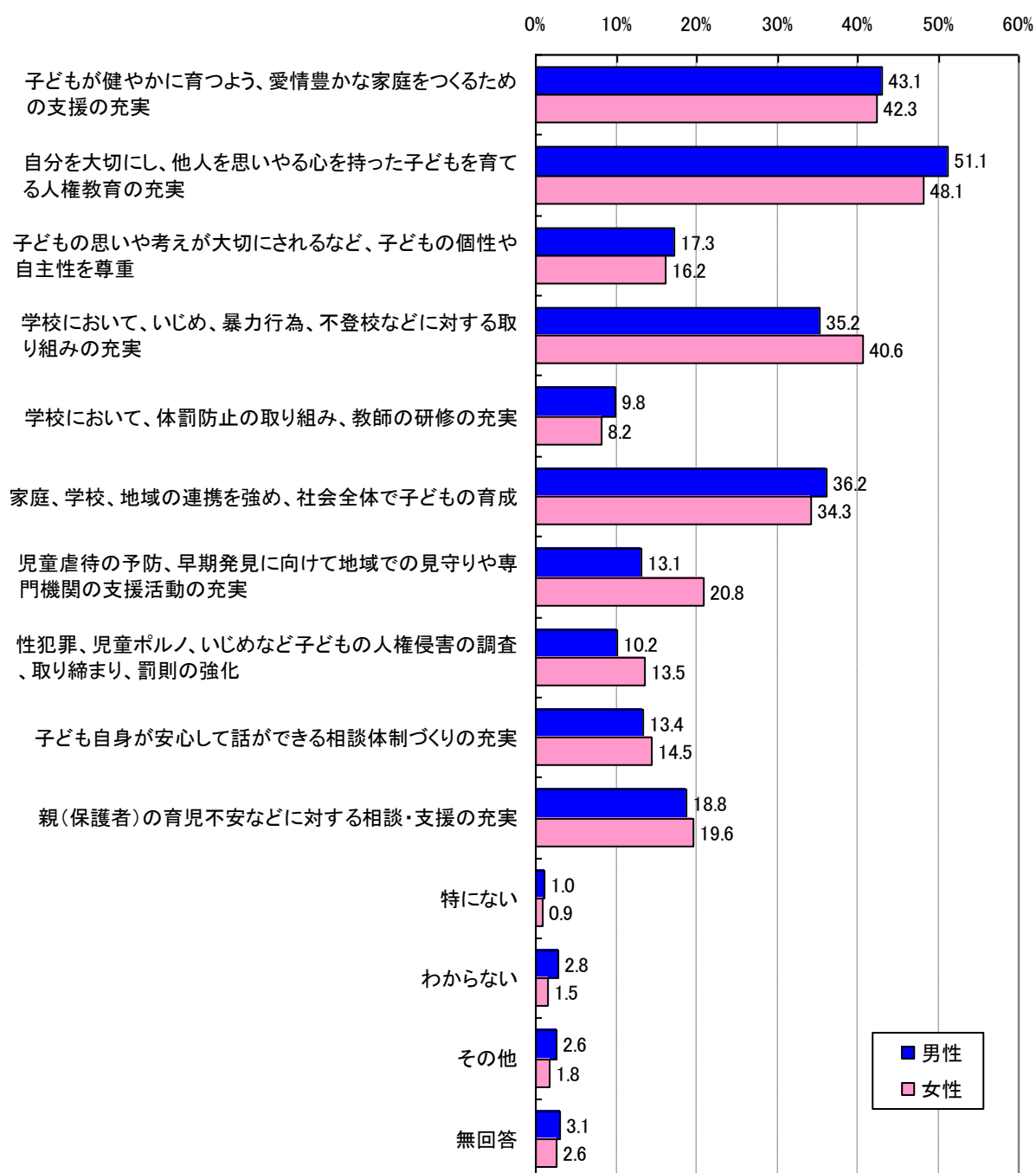
全体集計



「自分を大切にし、他人を思いやる心を持った子どもを育てる人権教育の充実」が 49.0%と最も高く、次いで「子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくるための支援の充実」が 42.6%、「学校において、いじめ、暴力行為、不登校などに対する取り組みの充実」が 38.1%の順となっている。

性別集計

(複数回答、単位：%)



性別にみると、「児童虐待の予防、早期発見に向けて地域での見守りや専門機関の支援活動の充実」が男性より女性が7.7ポイント上回っている。

年齢別集計

	子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくるための支援の充実	自分を大切に、他人を思いやる心を持った子どもを育てる人権教育の充実	子どもの思いや考えが大切にされるなど、子どもの個性や自主性を尊重	学校において、いじめ、暴力行為、不登校などに対する取り組みの充実	学校において、体罰防止の取り組み、教師の研修の充実	家庭、学校、地域の連携を強め、社会全体で子どもの育成	児童虐待の予防、早期発見に向けて地域での見守りや専門機関の支援活動の充実	性犯罪、児童ポルノ、いじめなど子どもの人権侵害の調査、取り締まり、罰則の強化
20歳代	① 45.4	② 41.7	18.4	32.5	8.6	③ 34.4	17.8	12.3
30歳代	① 47.1	33.9	17.8	② 40.1	7.0	③ 37.2	20.7	16.1
40歳代	① 44.2	① 44.2	17.7	③ 43.8	8.8	33.8	19.6	15.8
50歳代	③ 41.2	① 46.9	13.8	② 41.8	7.1	38.3	19.3	10.0
60歳代	② 40.3	① 59.5	14.1	③ 39.1	10.0	34.0	17.0	11.4
70歳以上	② 40.9	① 57.1	19.7	31.6	10.4	③ 33.3	13.3	9.9
	子ども自身が安心して話ができる相談体制づくりの充実	親(保護者)の育児不安などに対する相談・支援の充実	特にない	わからない	その他	<div>※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。</div>		
20歳代	13.5	19.6	0.6	4.9	2.5			
30歳代	14.0	23.1	—	1.2	2.5			
40歳代	10.4	19.2	0.4	0.4	3.5			
50歳代	15.8	22.2	1.6	1.9	1.9			
60歳代	14.3	19.4	0.7	1.7	1.2			
70歳以上	14.5	13.0	1.4	3.5	2.0			

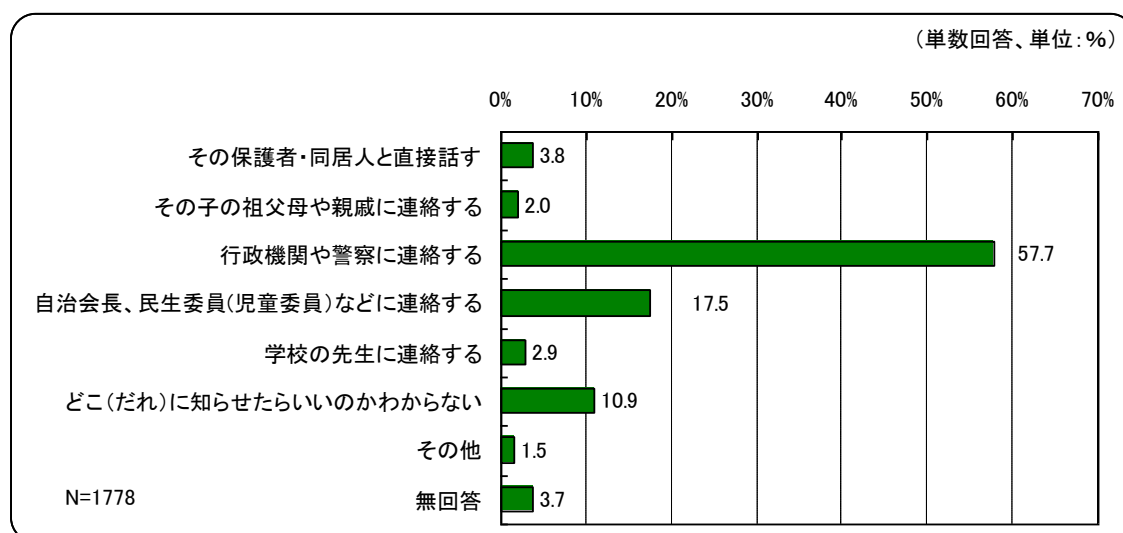
年齢別にみると、年齢層により大きな差がみられるのは「自分を大切に、他人を思いやる心を持った子どもを育てる人権教育の充実」で60歳代は59.5%、30歳代は33.9%と25.6ポイントの差がある。

問 1 4 虐待を受けていることを知ったときの対応

あなたは、近所の子どもが保護者・同居人から虐待を受けていることを知ったらどうしますか。
次の中から選んでください。(○は1つだけ)

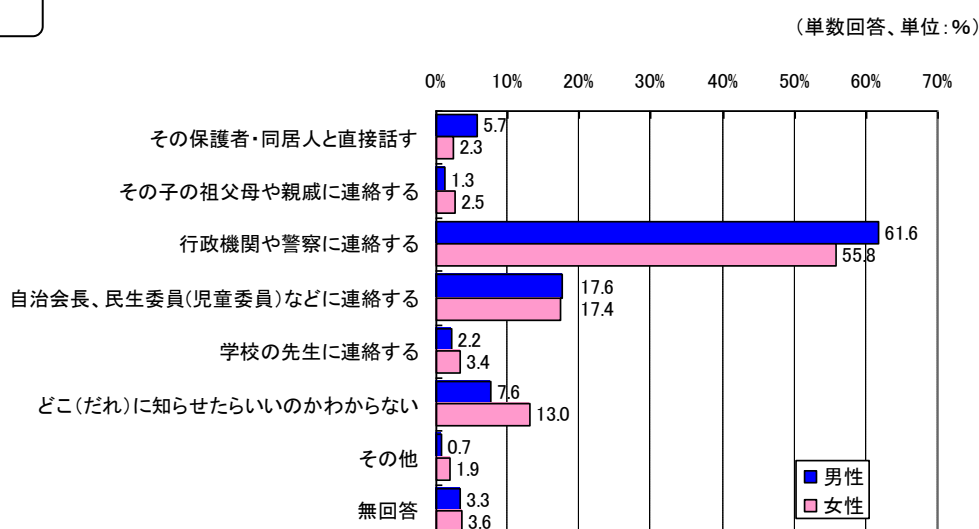
1. その保護者・同居人と直接話す
2. その子の祖父母や親戚に連絡する
3. 行政機関や警察に連絡する
4. 自治会長、民生委員（児童委員）などに連絡する
5. 学校の先生に連絡する
6. どこ（だれ）に知らせたらいいのかわからない
7. その他（ ）

全体集計



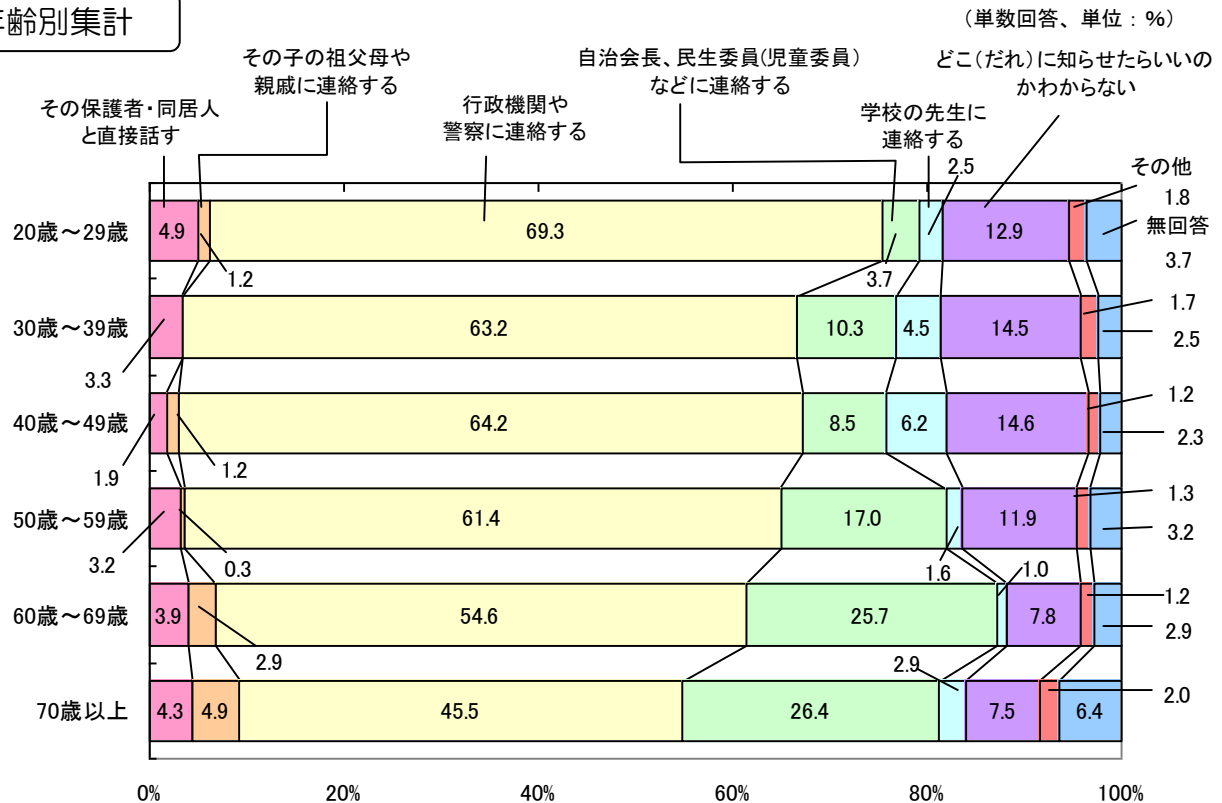
「行政機関や警察に連絡する」が 57.7%と最も高く、次いで「自治会長、民生委員(児童委員)などに連絡する」が 17.5%、その他の項目は 10%に満たない。一方、「どこ（だれ）に知らせたらいいのかわからない」は 10.9%となっている。

性別集計



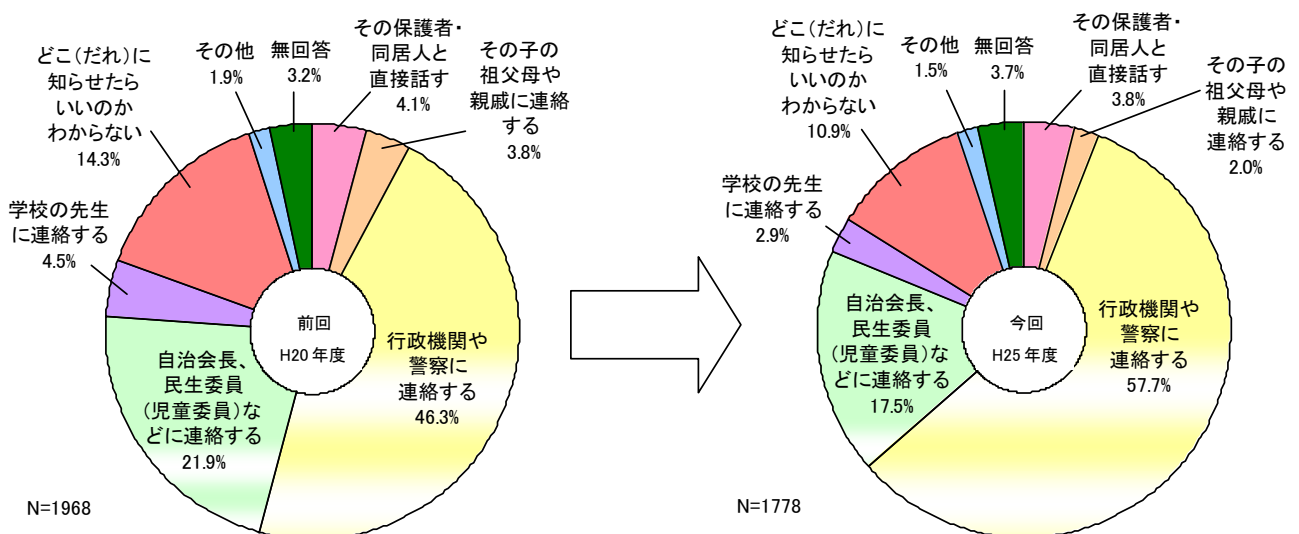
性別にみると、男女ともに「行政機関や警察に連絡する」が最も高く、女性より男性が 5.8 ポイント上回っている。

年齢別集計



年齢別にみると、「行政機関や警察に連絡する」は20歳代が69.3%と最も高く、年齢層が高くなると割合が低下し、70歳以上で45.5%となっている。また、「自治会長、民生委員(児童委員)などに連絡する」は70歳以上が26.4%と最も高く、年齢層が低くなると割合が低下し、20歳代で3.7%となっている。

過去の調査との比較



前回の調査結果と比較すると、「行政機関や警察に連絡する」は11.4ポイント増加し、「自治会長、民生委員(児童委員)などに連絡する」は4.4ポイント減少している。

5. 高齢者の人権について

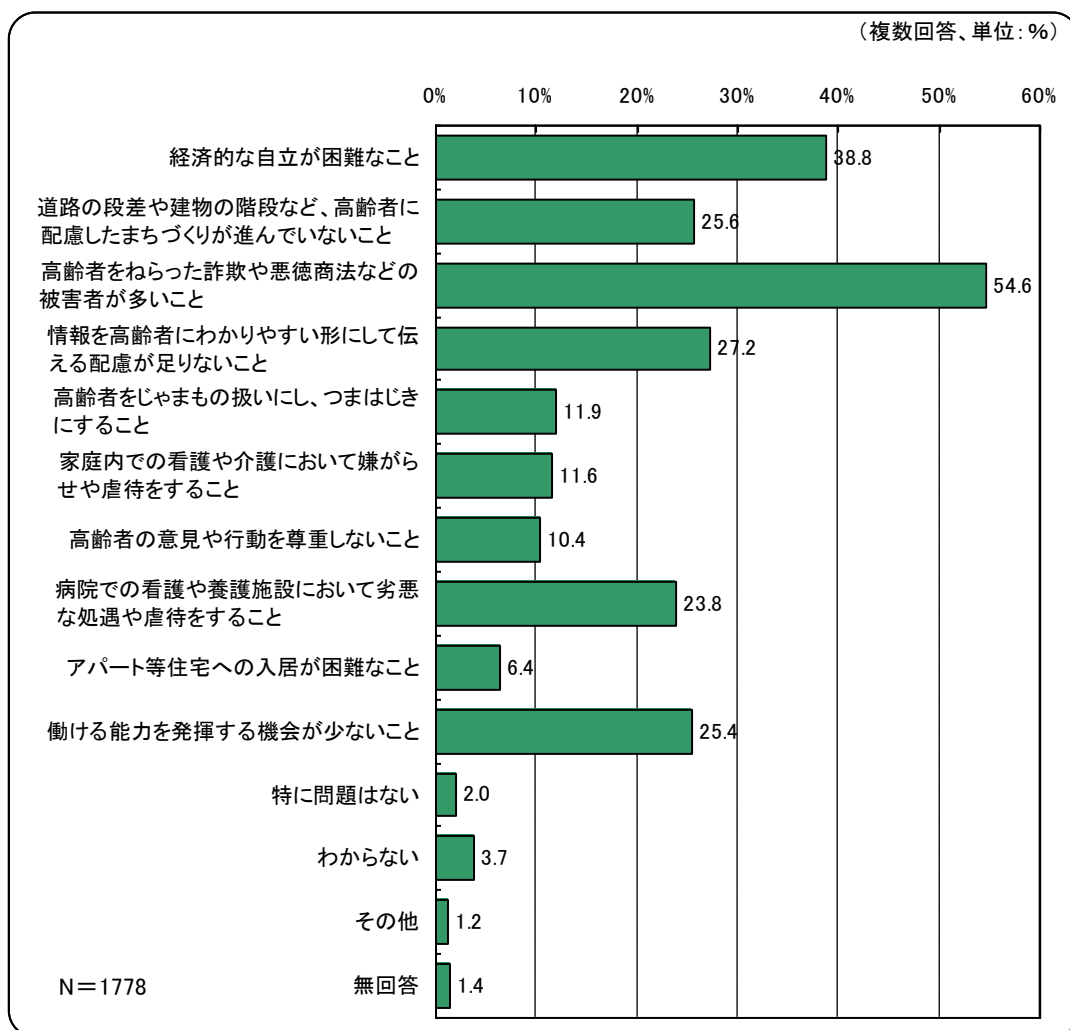
問15 高齢者に関する人権上の問題点

あなたは、高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

次の中から選んでください。(〇は3つまで)

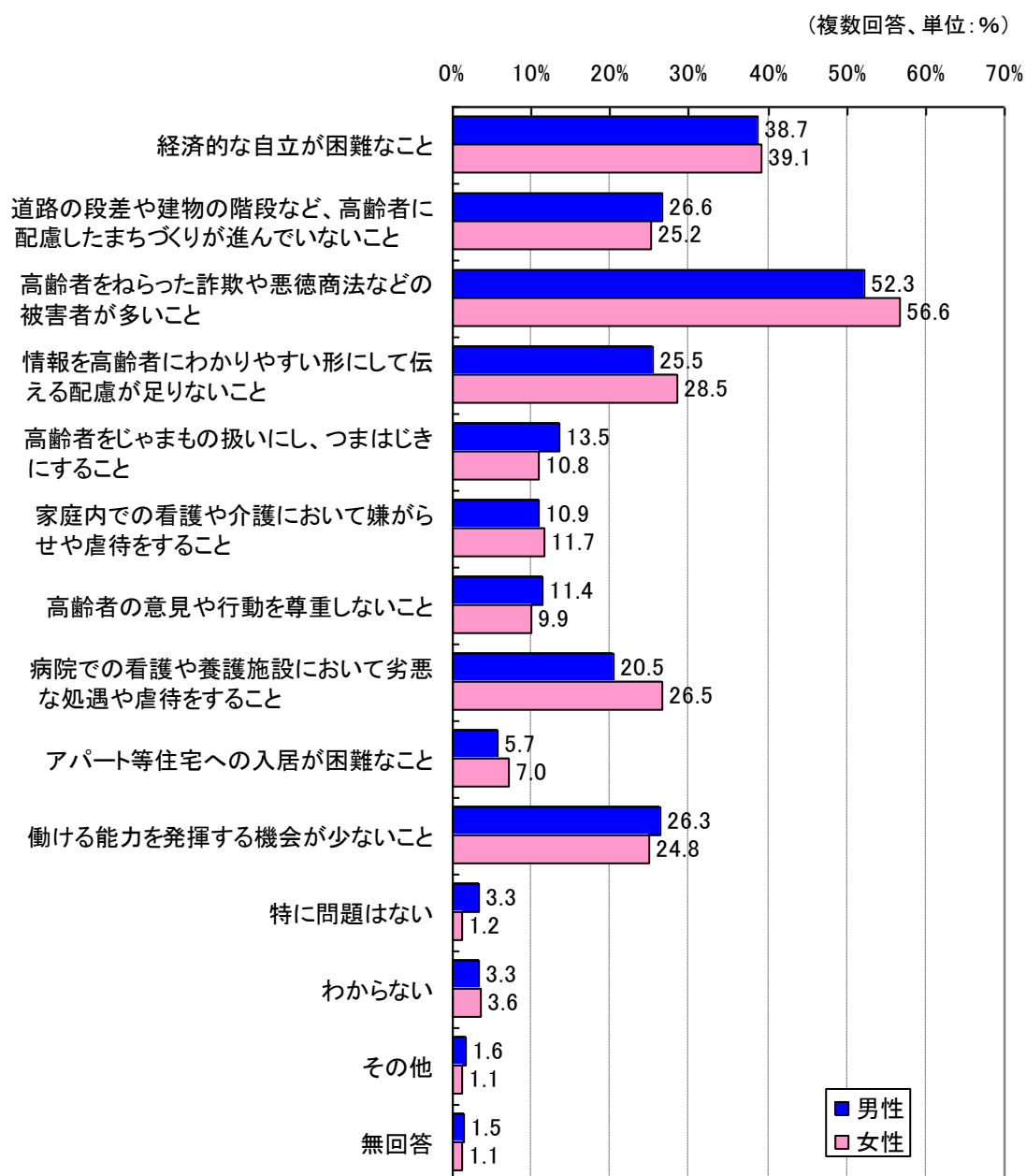
1. 経済的な自立が困難なこと
2. 道路の段差や建物の階段など、高齢者に配慮したまちづくりが進んでいないこと
3. 高齢者をねらった詐欺や悪徳商法などの被害者が多いこと
4. 情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと
5. 高齢者をじゃまものの扱いにし、つまはじきすること
6. 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待をすること
7. 高齢者の意見や行動を尊重しないこと
8. 病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待をすること
9. アパート等住宅への入居が困難なこと
10. 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
11. 特に問題はない
12. わからない
13. その他 ()

全体集計



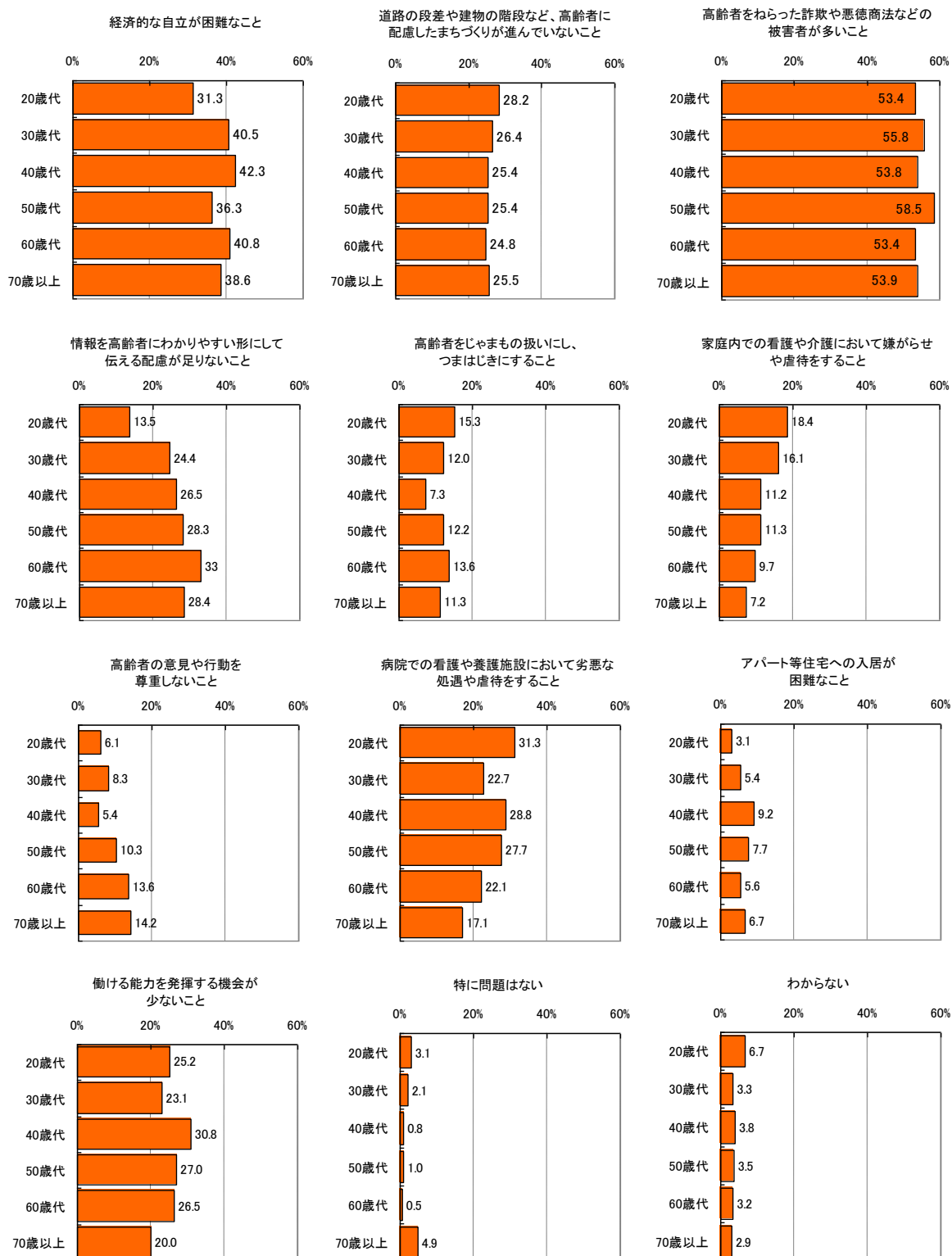
「高齢者をねらった詐欺や悪徳商法などの被害者が多いこと」が 54.6%と最も高く、次いで「経済的な自立が困難なこと」が 38.8%、「情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと」が 27.2%の順となっている。

性別集計



年齢別にみると、全体集計と順位に大きな差はないが、「病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待をすること」は男性より女性が6.0ポイント上回っている。

年齢別集計



年齢別にみると、「家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待をすること」は年齢層が高くなると割合が低下している。

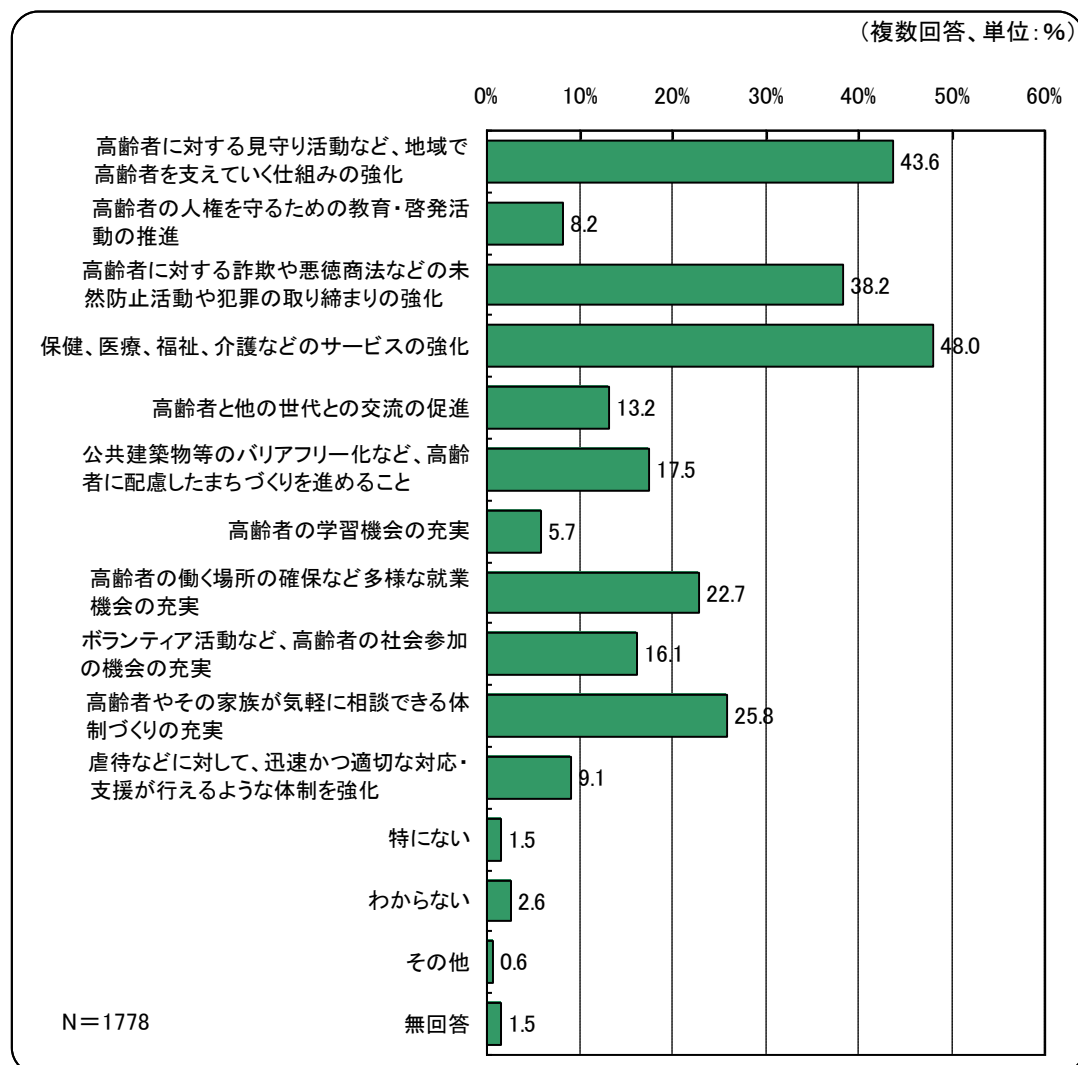
問 1 6 高齢者の人権を守るために必要なこと

あなたは、高齢者の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。

次の中から選んでください。(〇は3つまで)

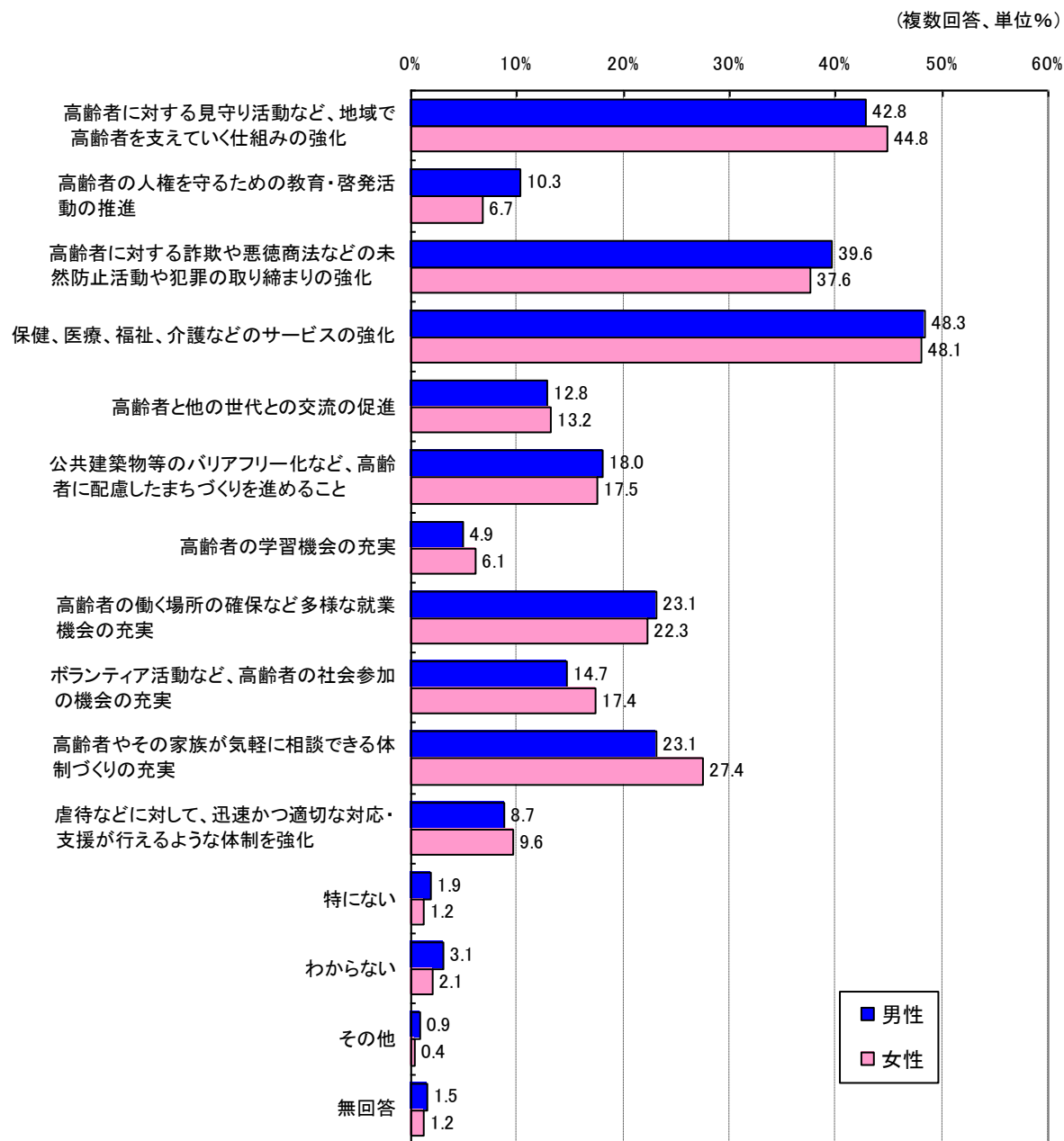
1. 高齢者に対する見守り活動など、地域で高齢者を支えていく仕組みの強化
2. 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動の推進
3. 高齢者に対する詐欺や悪徳商法などの未然防止活動や犯罪の取り締まりの強化
4. 保健、医療、福祉、介護などのサービスの強化
5. 高齢者との世代との交流の促進
6. 公共建築物等のバリアフリー化など、高齢者に配慮したまちづくりを進めること
7. 高齢者の学習機会の充実
8. 高齢者の働く場所の確保など多様な就業機会の充実
9. ボランティア活動など、高齢者の社会参加の機会の充実
10. 高齢者やその家族が気軽に相談できる体制づくりの充実
11. 虐待などに対して、迅速かつ適切な対応・支援が行えるような体制を強化
12. 特にない
13. わからない
14. その他 ()

全体集計



「保健、医療、福祉、介護などのサービスの強化」が 48.0%と最も高く、次いで「高齢者に対する見守り活動など、地域で高齢者を支えていく仕組みの強化」が 43.6%、「高齢者に対する詐欺や悪徳商法などの未然防止活動や犯罪の取り締まりの強化」が 38.2%の順となっている。

性別集計



性別にみると、「高齢者の人権を守るための教育・啓発活動の推進」は女性より男性が3.6ポイント上回り、「高齢者やその家族が気軽に相談できる体制づくりの充実」は男性より女性が4.3ポイント上回っている。

年齢別集計

	高齢者に対する見守り活動など、地域で高齢者を支えていく仕組みの強化	高齢者の人権を守るための教育・啓発活動の推進	高齢者に対する詐欺や悪徳商法などの未然防止活動や犯罪の取り締まりの強化	保健、医療、福祉、介護などのサービスの強化	高齢者和其他の世代との交流の促進	公共建築物等のバリアフリー化など、高齢者に配慮したまちづくりを進めること	高齢者の学習機会の充実	高齢者の働く場所の確保など多様な就業機会の充実
20歳代	③ 33.7	6.7	② 36.8	① 44.8	12.9	23.3	8.0	28.2
30歳代	② 38.8	8.3	③ 38.4	① 47.1	11.2	20.7	8.3	22.7
40歳代	② 41.9	6.9	③ 41.2	① 45.8	11.9	21.2	2.7	28.1
50歳代	② 45.0	7.7	③ 38.6	① 50.5	13.8	19.0	3.2	21.2
60歳代	① 50.5	8.5	③ 37.1	① 50.5	14.8	13.1	6.1	24.3
70歳以上	② 44.9	9.6	③ 37.7	① 47.5	12.5	14.5	6.7	14.8
	ボランティア活動など、高齢者の社会参加の機会の充実	高齢者やその家族が気軽に相談できる体制づくりの充実	虐待などに対して、迅速かつ適切な対応・支援が行えるような体制を強化	特にない	わからない	その他	無回答	
20歳代	14.7	20.2	14.1	1.8	4.9	1.2	1.2	
30歳代	18.2	28.1	9.9	1.7	1.7	1.2	0.8	
40歳代	17.3	24.2	7.3	0.4	2.3	0.4	1.2	
50歳代	16.1	30.5	10.6	0.6	2.9	0.3	0.3	
60歳代	17.0	25.0	8.7	0.7	1.7	0.5	1.2	
70歳以上	14.2	24.1	7.2	3.8	2.9	0.3	2.9	

※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。

年齢別にみると、各年齢層とも上位3項目は同様となっているが、60歳代で「高齢者やその家族が気軽に相談できる体制づくりの充実」が3位となっている。

6. 障害者の人権について

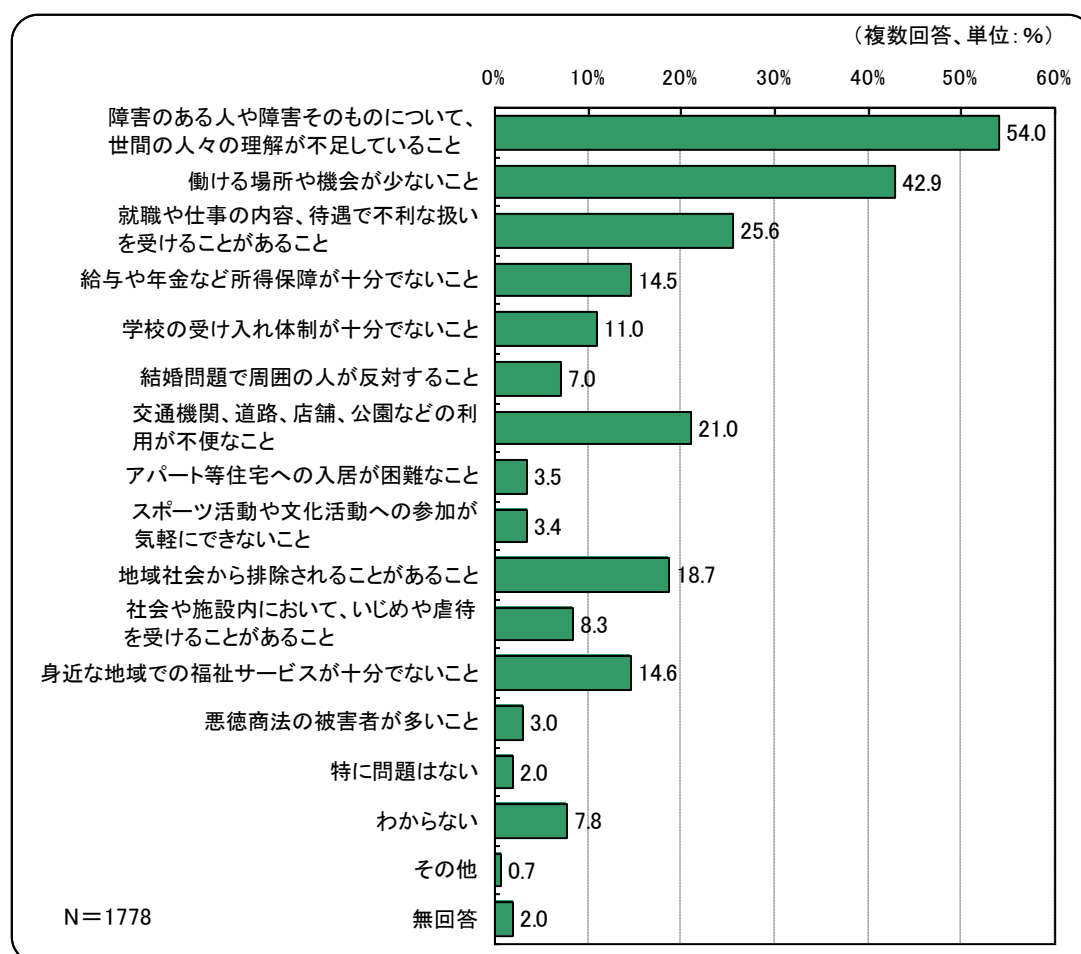
問17 障害者に関する人権上の問題点

障害のある人についてのことがらで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。

次の中から選んでください。(〇は3つまで)

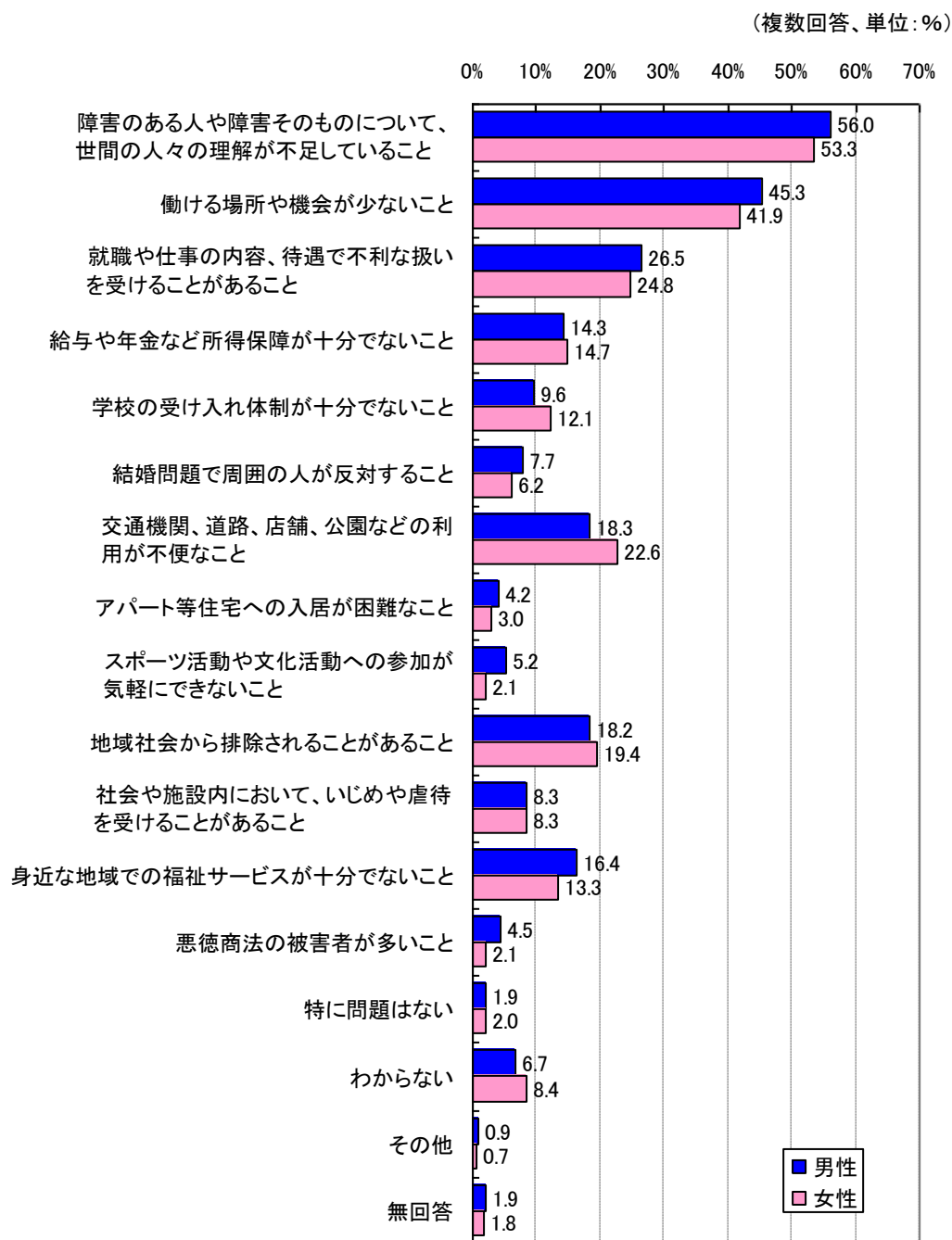
1. 障害のある人や障害そのものについて、世間の人々の理解が不足していること
2. 働ける場所や機会が少ないこと
3. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けることがあること
4. 給与や年金など所得保障が十分でないこと
5. 学校の受け入れ体制が十分でないこと
6. 結婚問題で周囲の人が反対すること
7. 交通機関、道路、店舗、公園などの利用が不便なこと
8. アパート等住宅への入居が困難なこと
9. スポーツ活動や文化活動への参加が気軽にできないこと
10. 地域社会から排除されることがあること（差別的な言動やじろじろ見られたり、避けられたりする）
11. 社会や施設内において、いじめや虐待を受けることがあること
12. 身近な地域での福祉サービスが十分でないこと
13. 悪徳商法の被害者が多いこと
14. 特に問題はない
15. わからない
16. その他（ ）

全体集計



「障害のある人や障害そのものについて、世間の人々の理解が不足していること」が 54.0%と最も高く、次いで「働ける場所や機会が少ないこと」が 42.9%、「就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けることがあること」が 25.6%の順となっている。

性別集計



性別による、大きな差はみられないが、「交通機関、道路、店舗、公園などの利用が不便なこと」は男性より女性が 4.3 ポイント上回っている。

年齢別集計

	障害のある人や障害そのものについて、世間の人々の理解が不足していること	働ける場所や機会が少ないこと	就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けることがあること	給与や年金など所得保障が十分でないこと	学校の受け入れ体制が十分でないこと	結婚問題で周囲の人が反対すること	交通機関、道路、店舗、公園などの利用が不便なこと	アパート等住宅への入居が困難なこと	スポーツ活動や文化活動への参加が気軽にできないこと
20歳代	① 55.2	③ 30.7	23.9	13.5	10.4	9.2	23.3	0.6	4.9
30歳代	① 56.6	② 45.0	③ 25.2	10.7	14.9	5.8	20.7	2.1	1.2
40歳代	① 57.7	② 42.7	③ 25.8	15.4	15.0	5.4	18.8	3.1	1.9
50歳代	① 60.8	② 49.8	③ 27.7	12.5	13.5	6.4	23.5	3.5	2.9
60歳代	① 54.4	② 43.9	③ 26.9	17.5	9.7	7.0	20.1	4.6	3.9
70歳以上	① 43.2	② 40.9	③ 22.6	15.4	5.2	7.8	20.0	4.6	4.9
	地域社会から排除されることがあること	社会や施設内において、いじめや虐待を受けることがあること	身近な地域での福祉サービスが十分でないこと	悪徳商法の被害者が多いこと	特に問題はない	わからない	その他	無回答	
20歳代	② 33.1	19.0	8.0	4.3	1.2	4.9	1.2	1.2	
30歳代	18.6	13.2	12.8	3.7	1.2	6.2	1.2	0.8	
40歳代	23.8	9.2	14.2	1.9	1.2	6.2	－	0.4	
50歳代	17.4	7.4	17.7	1.9	1.0	4.5	0.6	0.3	
60歳代	18.0	4.6	15.3	2.4	1.5	9.0	1.0	1.9	
70歳以上	10.7	4.3	15.1	4.6	4.9	13.3	0.6	5.5	

※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。

年齢別にみると、30歳代以上の上位3項目は同様となっているが、20歳代は「地域社会から排除されることがあること」が33.1%と第2位となっている。

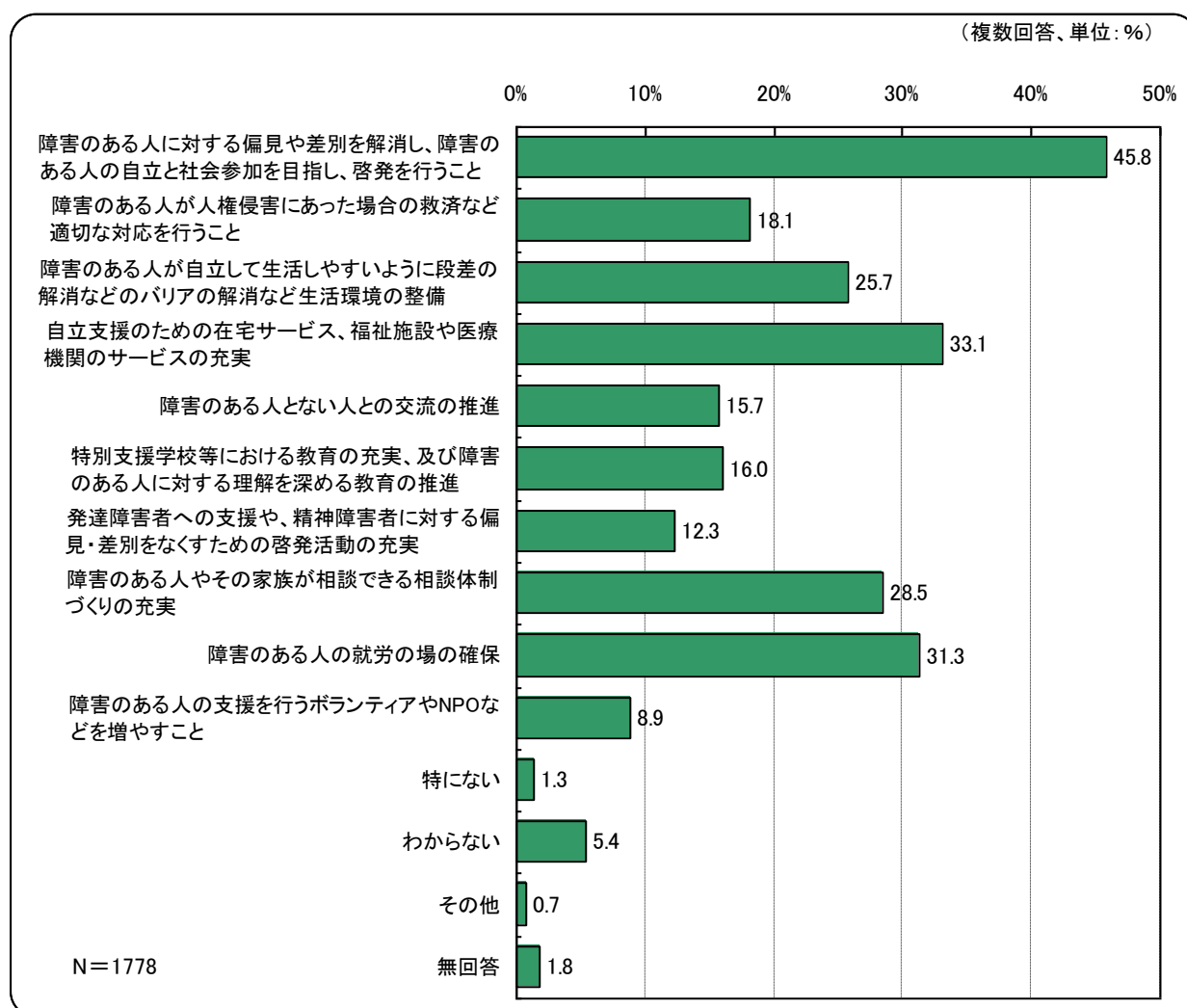
問 1 8 障害者の人権を守るために必要なこと

あなたは、障害のある人の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。

次の中から選んでください。(〇は3つまで)

1. 障害のある人に対する偏見や差別を解消し、障害のある人の自立と社会参加を目指し、啓発を行うこと
2. 障害のある人が人権侵害にあった場合の救済など適切な対応を行うこと
3. 障害のある人が自立して生活しやすいように段差の解消などのバリアの解消など生活環境の整備
4. 自立支援のための在宅サービス、福祉施設や医療機関のサービスの充実
5. 障害のある人となない人との交流の推進
6. 特別支援学校等における教育の充実、及び障害のある人に対する理解を深める教育の推進
7. 発達障害者への支援や、精神障害者に対する偏見・差別をなくすための啓発活動の充実
8. 障害のある人やその家族が相談できる相談体制づくりの充実
9. 障害のある人の就労の場の確保
10. 障害のある人の支援を行うボランティアやNPOなどを増やすこと
11. 特にない
12. わからない
13. その他 ()

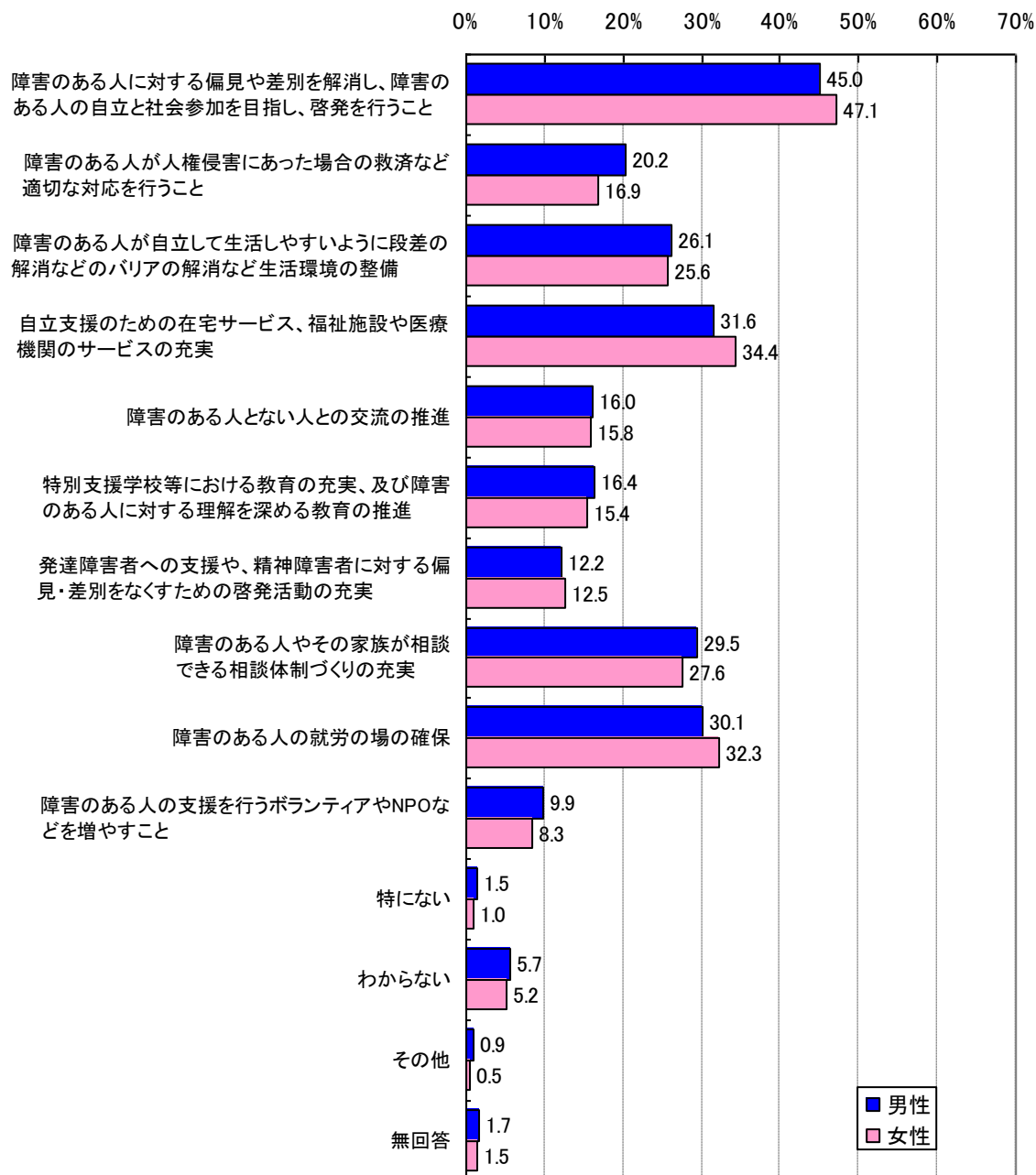
全体集計



「障害のある人に対する偏見や差別を解消し、障害のある人の自立と社会参加を目指し、啓発を行うこと」が 45.8%と最も高く、次いで「自立支援のための在宅サービス、福祉施設や医療機関のサービスの充実」が 33.1%、「障害のある人の就労の場の確保」が 31.3%の順となっている。

性別集計

(複数回答、単位：%)



性別による大きな差はみられない。

年齢別集計

	障害のある人に対する偏見や差別を解消し、障害のある人の自立と社会参加を目指し、啓発を行うこと	障害のある人が人権侵害にあった場合の救済など適切な対応を行うこと	障害のある人が自立して生活しやすいように段差の解消などのバリアの解消など生活環境の整備	自立支援のための在宅サービス、福祉施設や医療機関のサービスの充実	障害のある人となしとの交流の推進	特別支援学校等における教育の充実、及び障害のある人に対する理解を深める教育の推進	発達障害者への支援や、精神障害者に対する偏見・差別をなくすための啓発活動の充実	障害のある人やその家族が相談できる相談体制づくりの充実
20歳代	① 46.6	9.8	22.7	③ 26.4	23.9	20.2	13.5	18.4
30歳代	① 42.1	14.5	27.7	26.0	19.4	19.4	14.9	③ 29.8
40歳代	① 47.3	17.7	25.8	② 35.8	15.8	15.4	15.0	27.7
50歳代	① 46.0	19.0	25.4	③ 37.3	14.5	16.4	11.6	30.2
60歳代	① 51.2	23.1	24.5	② 35.0	13.6	16.0	10.2	③ 29.1
70歳以上	① 42.0	18.6	27.5	② 33.9	13.6	10.4	11.3	③ 29.6
	障害のある人の就労の場の確保	障害のある人の支援を行うボランティアやNPOなどを増やすこと	特にない	わからない	その他			
20歳代	② 33.7	9.8	0.6	8.0	-			
30歳代	② 36.8	9.1	1.2	3.7	1.2			
40歳代	③ 30.0	8.5	0.8	6.2	-			
50歳代	② 39.2	8.0	0.3	3.5	0.6			
60歳代	28.4	9.2	0.7	5.3	1.0			
70歳以上	24.1	9.6	3.5	6.4	0.6			

※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。

年齢別にみると、30歳代と60歳代以上の第3位に「障害のある人やその家族が相談できる相談体制づくりの充実」が位置している。

7. 外国人の人権について

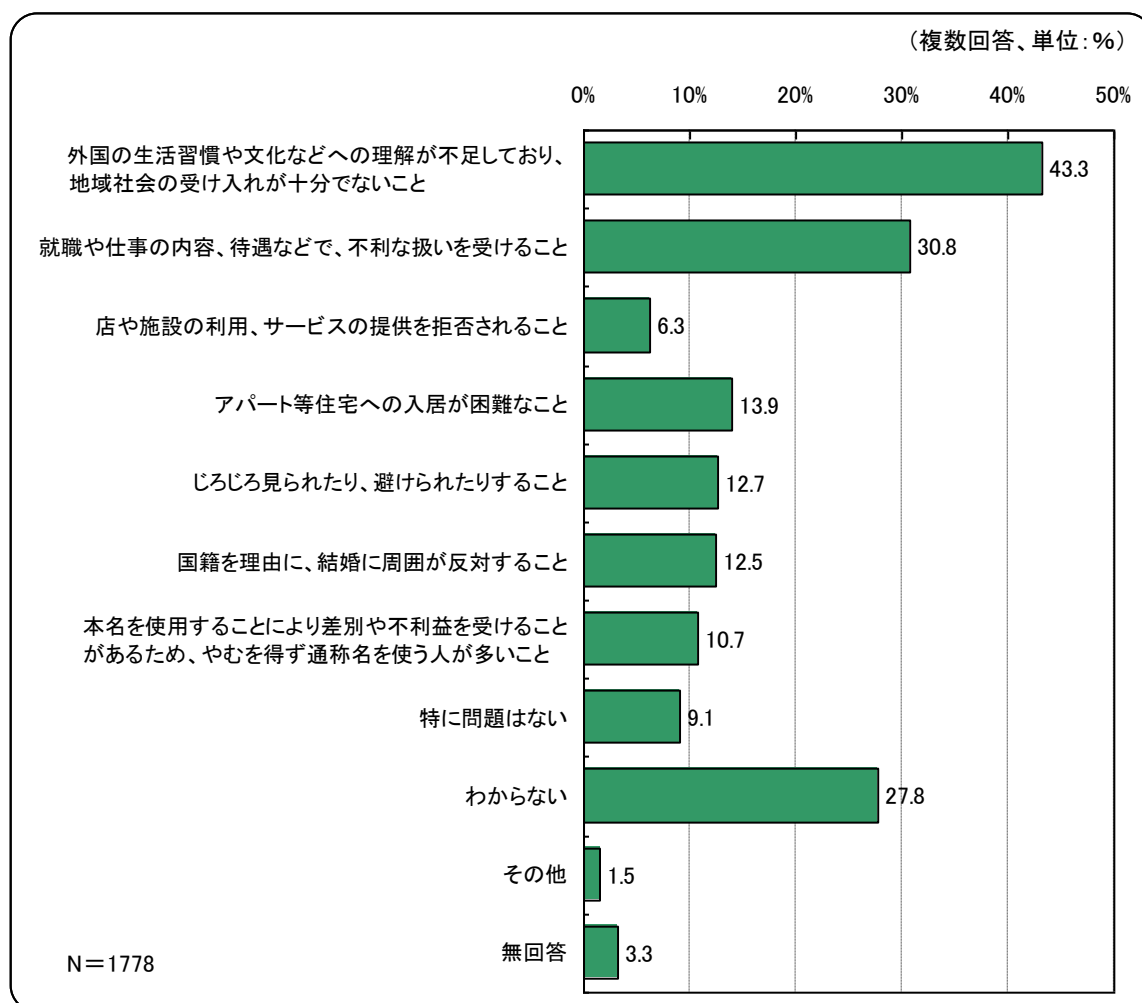
問19 外国人に関する人権上の問題点

あなたは、外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。

次の中から選んでください。（○は3つまで）

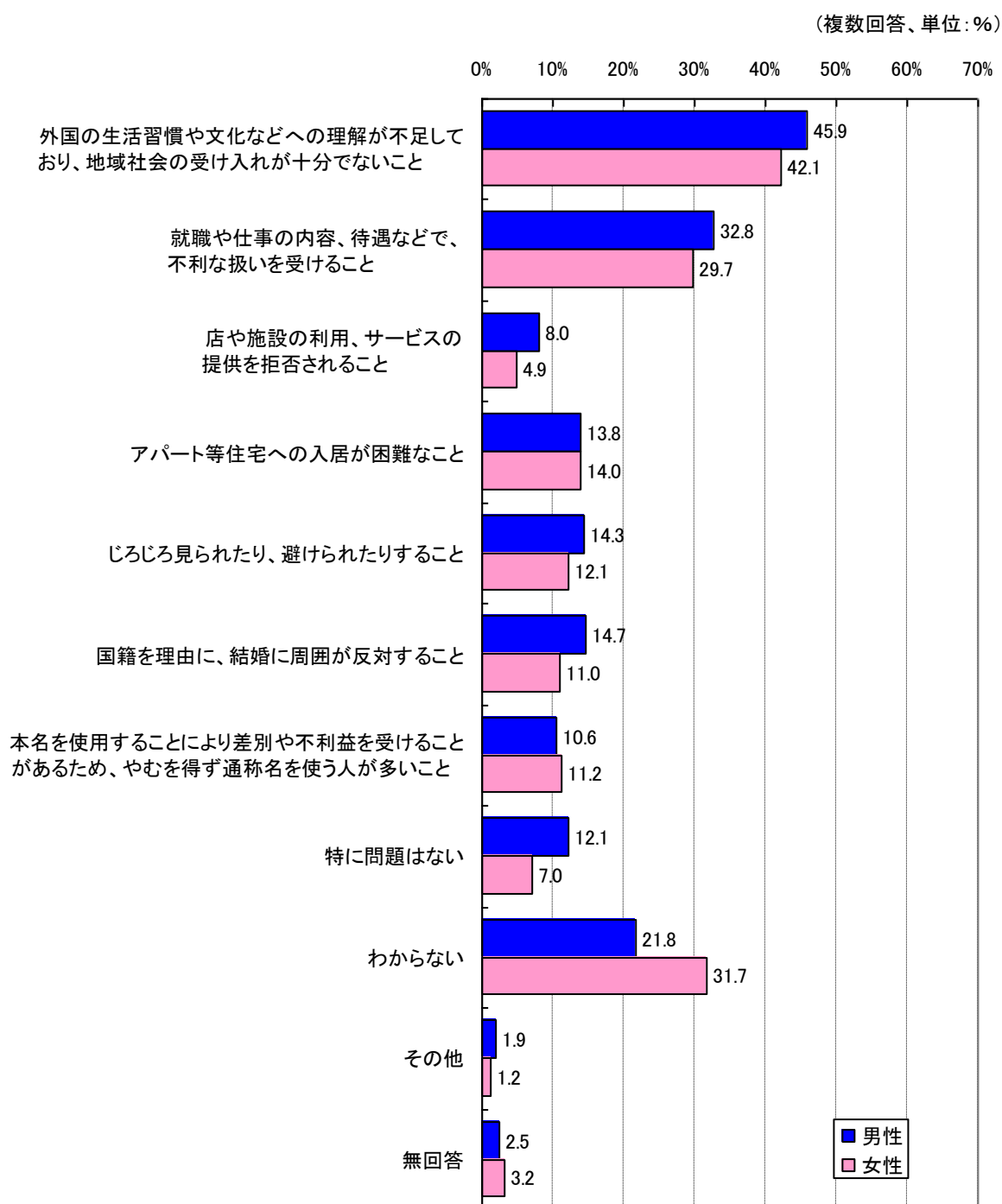
1. 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと
2. 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること
3. 店や施設の利用、サービスの提供を拒否されること
4. アパート等住宅への入居が困難なこと
5. じろじろ見られたり、避けられたりすること
6. 国籍を理由に、結婚に周囲が反対すること
7. 本名を使用することにより差別や不利益を受けることがあるため、やむを得ず通称名を使う人が多いこと
8. 特に問題はない
9. わからない
10. その他（ ）

全体集計



「外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと」が43.3%と最も高く、次いで「就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること」が30.8%の順となっている。一方、「わからない」が27.8%と高い割合となっている。

性別集計



性別による大きな差はみられないが、「わからない」が男性より女性が9.9ポイント上回っている。

年齢別集計

	外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと	就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること	店や施設の利用、サービスの提供を拒否されること	アパート等住宅への入居が困難なこと	じろじろ見られたり、避けられたりすること	国籍を理由に、結婚に周囲が反対すること	本名を使用することにより差別や不利益を受けることがあるため、やむを得ず通称名を使う人が多いこと
20歳代	① 42.9	② 35.6	7.4	11.7	15.3	12.9	9.8
30歳代	① 40.9	③ 26.4	7.9	19.0	16.1	7.4	8.3
40歳代	① 42.7	② 28.8	3.1	17.3	12.3	13.1	13.8
50歳代	① 52.4	② 36.3	5.1	12.5	11.6	14.1	13.8
60歳代	① 46.4	② 35.0	7.8	13.8	13.8	10.9	11.4
70歳以上	② 35.1	③ 23.5	5.5	10.1	9.9	15.7	7.8
	特に問題はない	わからない	その他	無回答	※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。		
20歳代	9.8	③ 21.5	1.2	0.6			
30歳代	9.1	② 26.9	0.8	2.1			
40歳代	5.8	③ 27.7	2.3	1.5			
50歳代	8.0	③ 21.9	2.6	2.3			
60歳代	10.2	③ 25.7	0.5	3.9			
70歳以上	10.7	① 39.1	1.4	5.8			

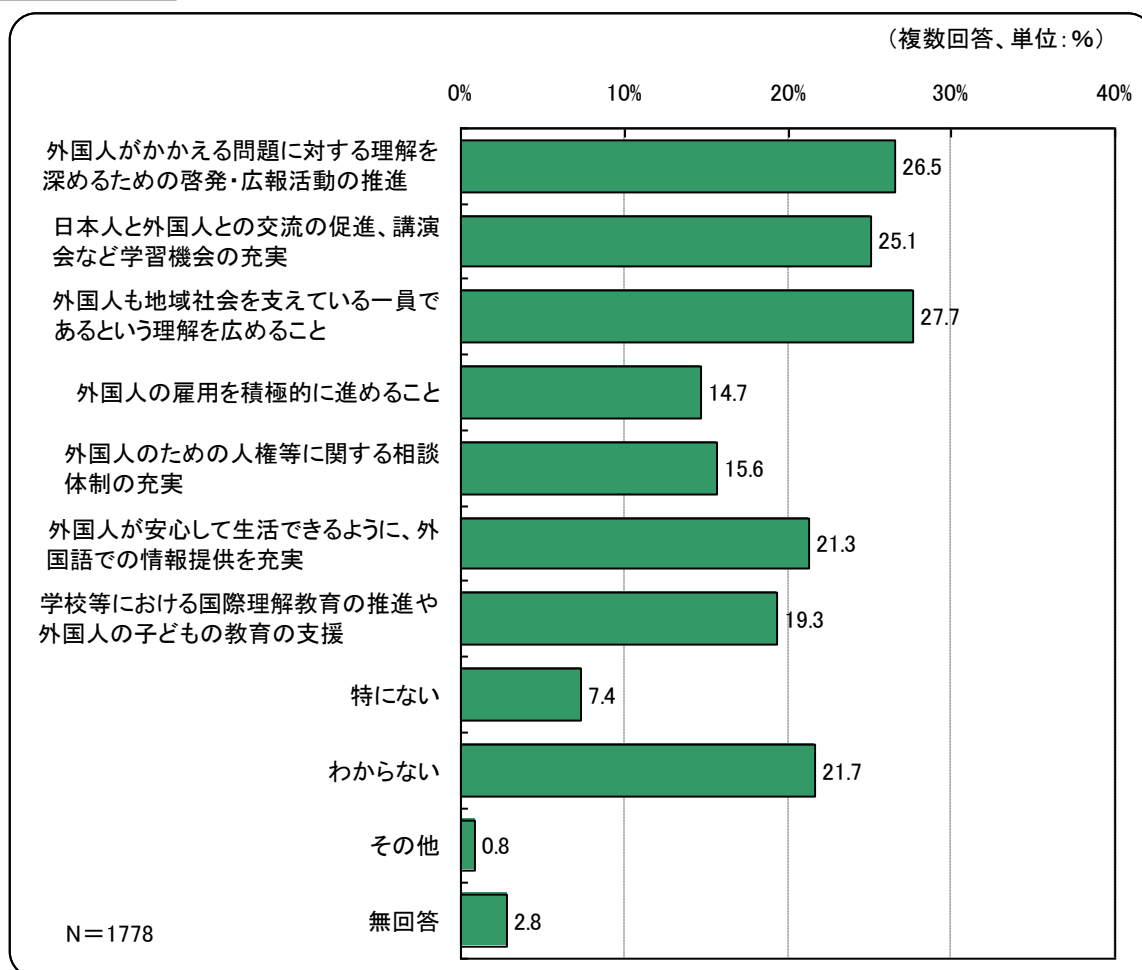
年齢別にみると、全体集計の上位3位までの項目と各年齢層とも同様となっているが、70歳以上は「わからない」が39.1%と他の年齢層より高くなっている。

問20 外国人の人権を守るために必要なこと

あなたは、外国人の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。(〇は3つまで)

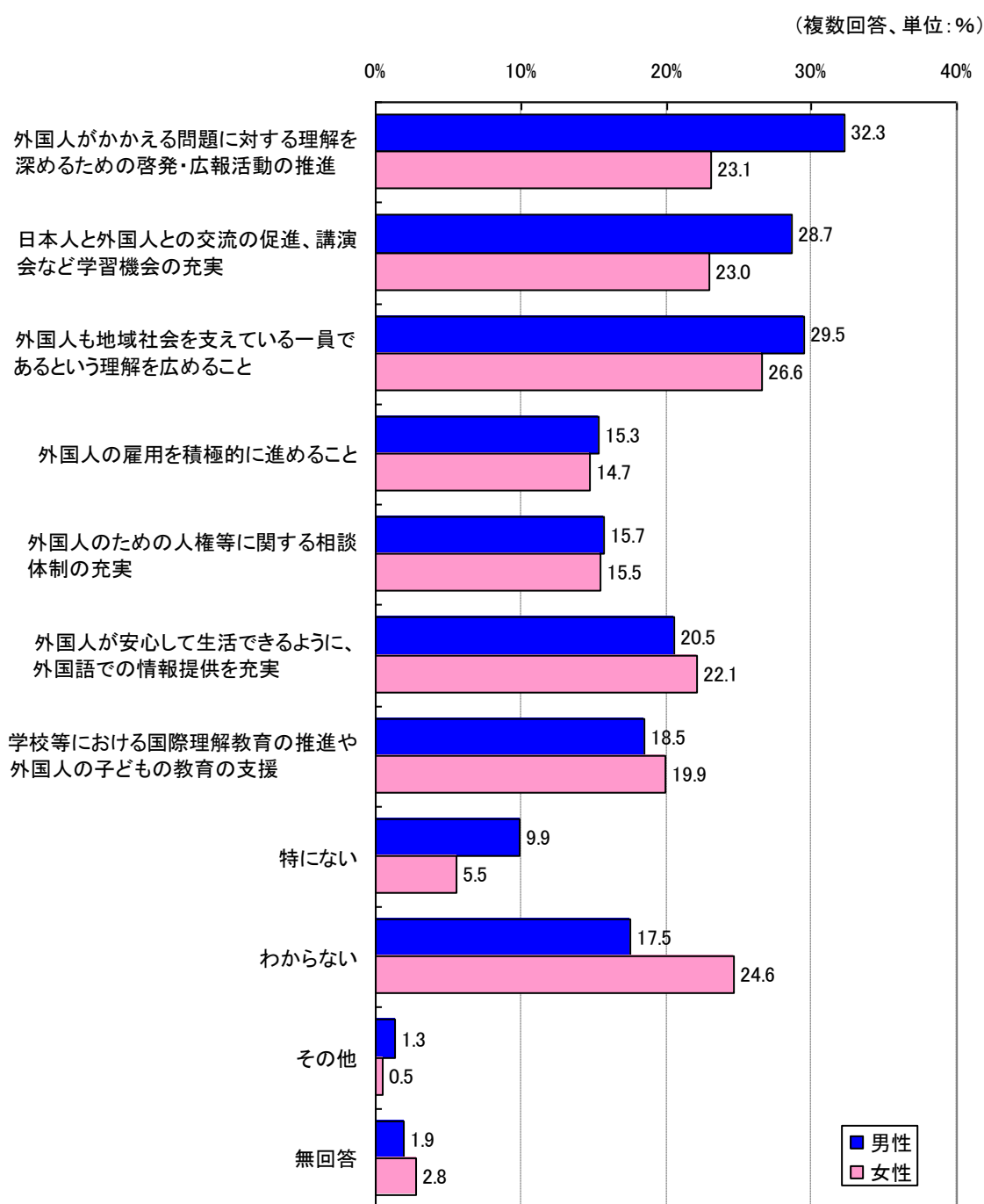
1. 外国人がかかえる問題に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進
2. 日本人と外国人との交流の促進、講演会など学習機会の充実
3. 外国人も地域社会を支えている一員であるという理解を広めること
4. 外国人の雇用を積極的に進めること
5. 外国人のための人権等に関する相談体制の充実
6. 外国人が安心して生活できるように、外国語での情報提供を充実
7. 学校等における国際理解教育の推進や外国人の子どもの教育の支援
8. 特にない
9. わからない
10. その他 ()

全体集計



「外国人も地域社会を支えている一員であるという理解を広めること」が27.7%と最も高く、次いで「外国人がかかえる問題に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進」が26.5%、「日本人と外国人との交流の促進、講演会など学習機会の充実」が25.1%の順となっている。一方、「わからない」が2割を超え、「特にない」が7.4%みられる。

性別集計

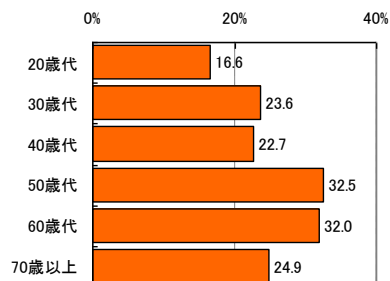


性別にみると、男性は「外国人がかかえる問題に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進」が32.3%と最も高く、女性より男性が9.2ポイント上回っている。女性は「外国人も地域社会を支えている一員であるという理解を広めること」が26.6%と最も高くなっている。「日本人と外国人との交流の促進、講演会など学習機会の充実」は女性より男性が5.7ポイント上回っている。

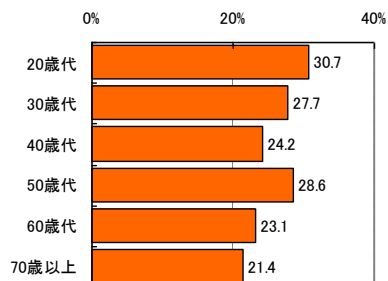
一方、「わからない」は男性より女性が7.1ポイント高くなっている。

年齢別集計

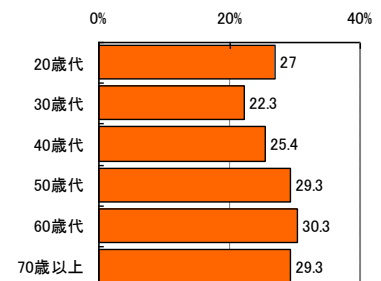
外国人がかかえる問題に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進



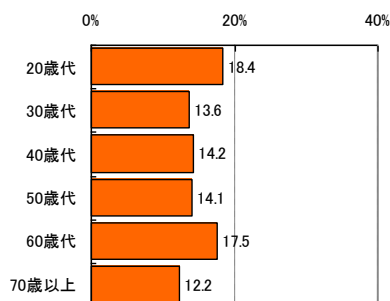
日本人と外国人との交流の促進、講演会など学習機会の充実



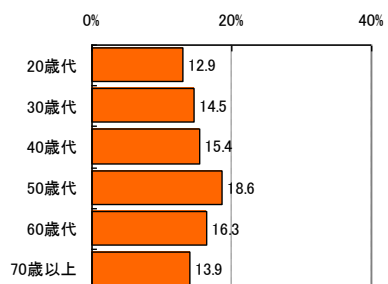
外国人も地域社会を支えている一員であるという理解を広めること



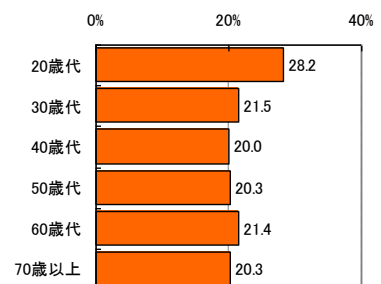
外国人の雇用を積極的に進めること



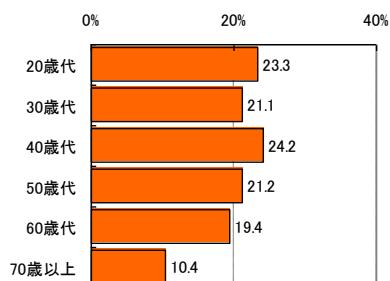
外国人のための人権等に関する相談体制の充実



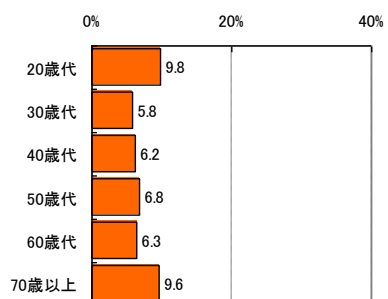
外国人が安心して生活できるように、外国語での情報提供を充実



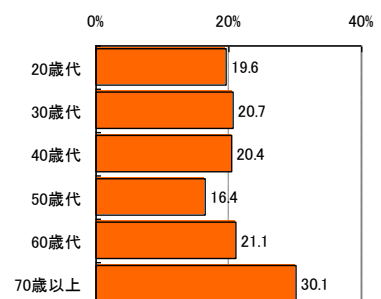
学校等における国際理解教育の推進や外国人の子どもの教育の支援



特になし



わからない



年齢別にみると、上位3項目は30～60歳代までは同様となっているが、20歳代は「外国人が安心して生活できるように、外国語での情報提供を充実」が28.2%、70歳以上は「わからない」が30.1%と他の年齢層より上位に位置している。

8. HIV感染者等難病患者の人権について

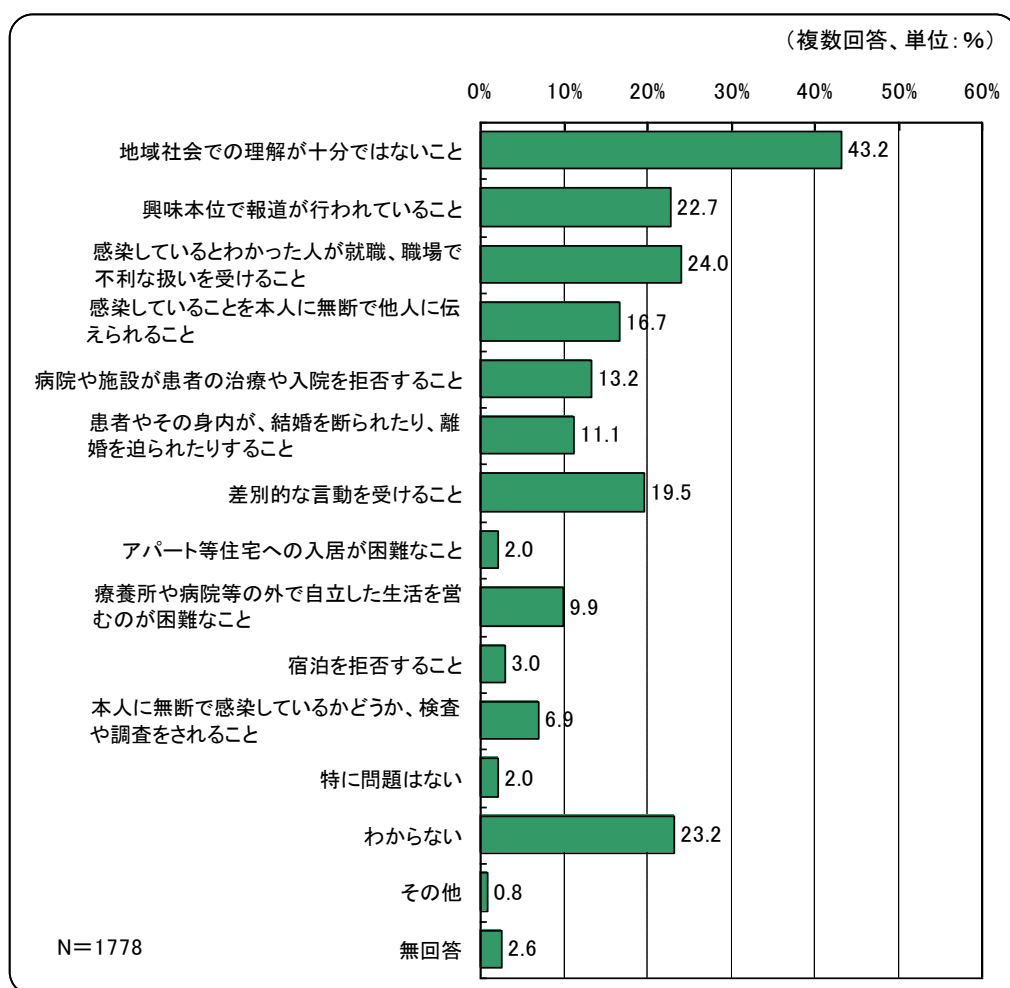
問21 HIV感染者等難病患者に関する人権上の問題点

あなたは、エイズ患者、HIV感染者やハンセン病（元）患者の方々に対して、人権の尊重という点からみて特に問題があると思われるのはどのようなことですか。

次の中から選んでください。（〇は3つまで）

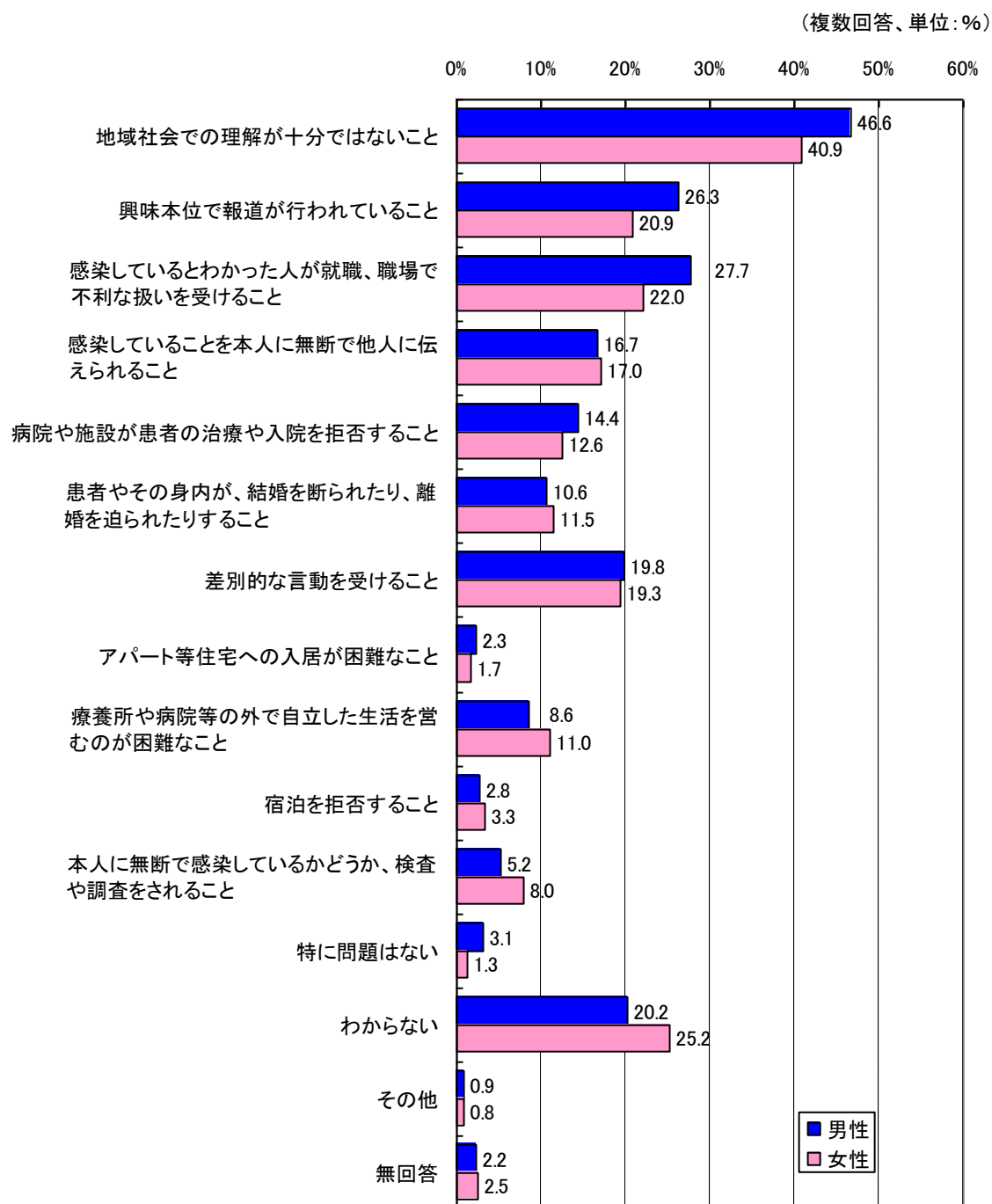
1. 地域社会での理解が十分ではないこと
2. 興味本位で報道が行われていること（マスコミによるプライバシーの侵害）
3. 感染しているとわかった人が就職、職場で不利な扱いを受けること
4. 感染していることを本人に無断で他人に伝えられること
5. 病院や施設が患者の治療や入院を拒否すること
6. 患者やその身内が、結婚を断られたり、離婚を迫られたりすること
7. 差別的な言動を受けること
8. アパート等住宅への入居が困難なこと
9. 療養所や病院等の外で自立した生活を営むのが困難なこと
10. 宿泊を拒否すること
11. 本人に無断で感染しているかどうか、検査や調査をされること
12. 特に問題はない
13. わからない
14. その他（ ）

全体集計



「地域社会での理解が十分ではないこと」が43.2%と最も高く、次いで「感染しているとわかった人が就職、職場で不利な扱いを受けること」が24.0%、「わからない」が23.2%の順となっている。

性別集計



性別にみると、「地域社会での理解が十分ではないこと」と「感染しているとわかった人が就職、職場で不利な扱いを受けること」でそれぞれ女性より男性が5.7ポイント上回っている。

一方、「わからない」は男性より女性が5.0ポイント上回っている。

年齢別集計

	地域社会での理解が十分ではないこと	興味本位で報道が行われていること	感染しているとわかった人が就職、職場で不利な扱いを受けること	感染していることを本人に無断で他人に伝えられること	病院や施設が患者の治療や入院を拒否すること	患者やその身内が、結婚を断られたり、離婚を迫られたりすること	差別的な言動を受けること	アパート等住宅への入居が困難なこと	療養所や病院等の外で自立した生活を営むのが困難なこと
20歳代	① 39.9	19.6	② 28.2	19.0	13.5	16.0	③ 24.5	1.8	6.7
30歳代	① 45.0	③ 23.1	21.5	15.7	12.0	13.2	② 24.8	2.1	9.9
40歳代	① 46.5	③ 21.9	② 29.2	20.4	11.9	10.8	20.0	1.5	10.8
50歳代	① 48.9	② 25.4	② 25.4	19.6	13.8	10.3	20.3	2.3	10.6
60歳代	① 44.2	② 26.9	③ 26.0	14.8	17.2	10.0	18.7	2.2	11.9
70歳以上	② 34.2	③ 18.6	17.1	13.9	9.9	9.9	13.0	1.7	8.4
	宿泊を拒否すること	本人に無断で感染しているかどうか、検査や調査をされること	特に問題はない	わからない	その他	無回答	<div>※表中の○数字は、各年齢層で割合が高かった上位3項目を示しています。</div>		
20歳代	3.1	7.4	3.1	20.9	0.6	0.6			
30歳代	2.5	7.0	2.1	18.6	1.2	0.8			
40歳代	2.3	8.8	1.2	17.3	0.4	2.3			
50歳代	3.5	6.4	1.3	18.0	0.6	1.6			
60歳代	3.9	5.8	1.5	21.6	1.0	2.7			
70歳以上	2.6	7.0	3.5	① 38.6	0.9	5.2			

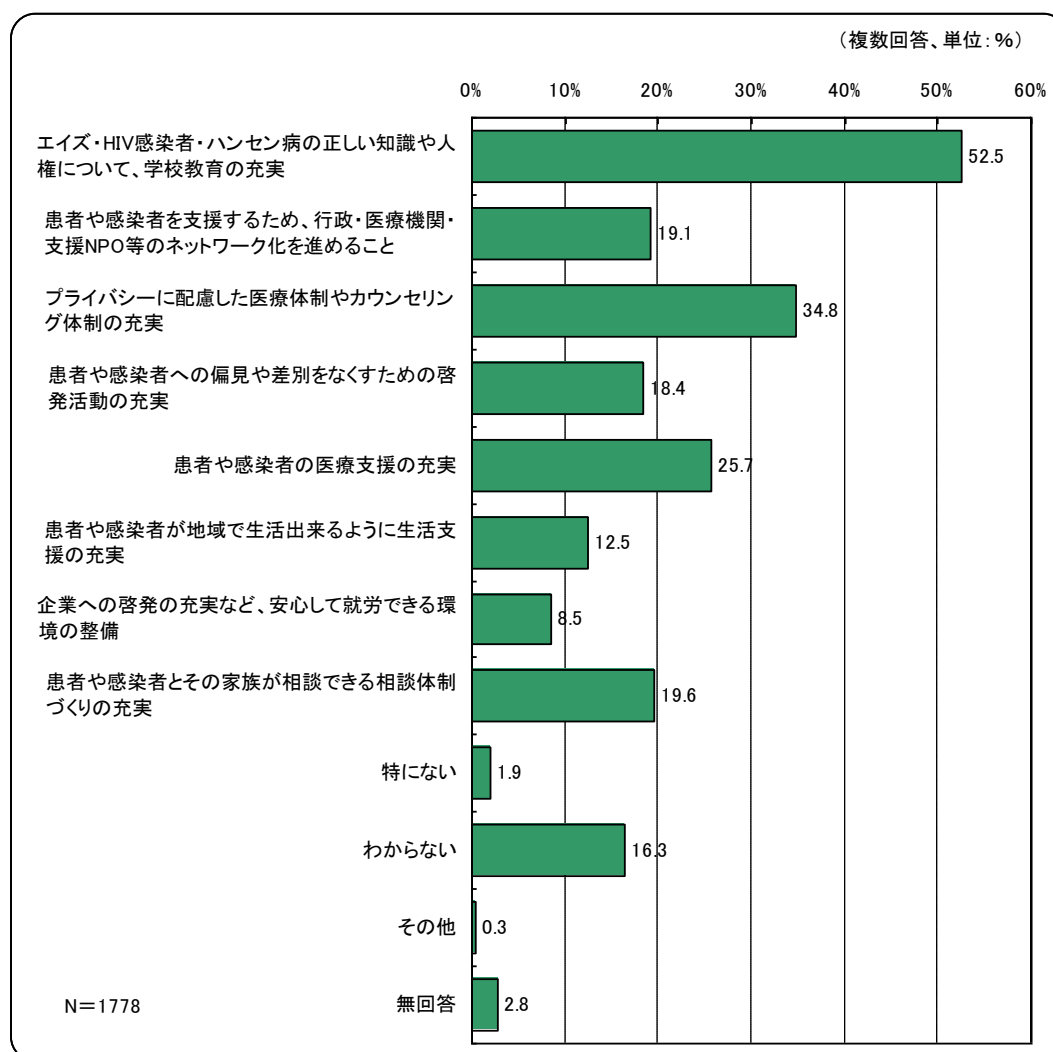
年齢別にみると、「差別的な言動を受けること」は20～50歳代が2割を超え、「興味本位で報道が行われていること」は30～60歳代で2割を超えている。70歳以上は「わからない」が38.6%と他の年齢層より高い割合となっている。

問22 HIV感染者等難病患者の人権を守るために必要なこと

あなたは、エイズ患者、HIV感染者やハンセン病（元）患者の人が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

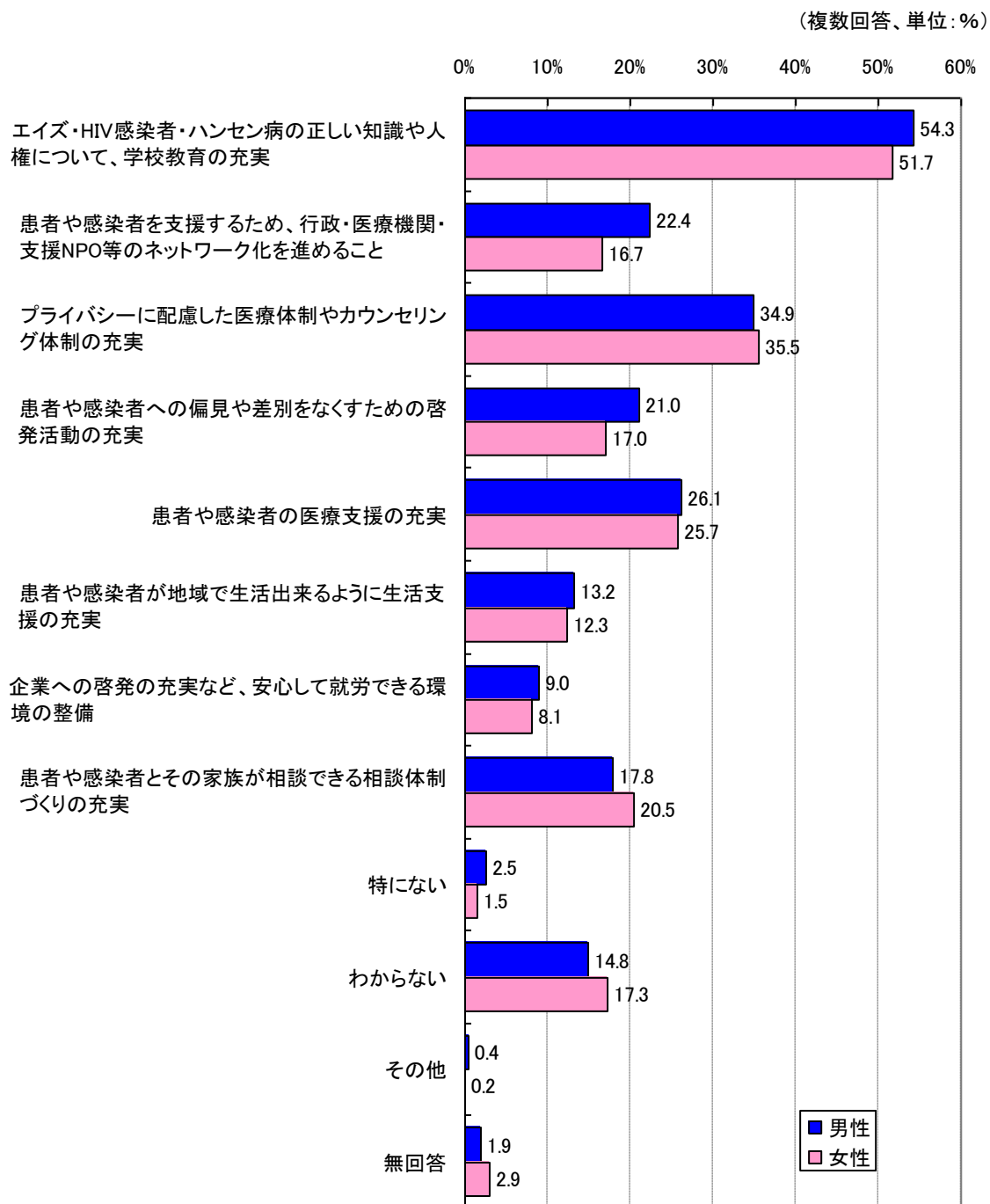
1. エイズ・HIV感染者・ハンセン病の正しい知識や人権について、学校教育の充実
2. 患者や感染者を支援するため、行政・医療機関・支援NPO等のネットワーク化を進めること
3. プライバシーに配慮した医療体制やカウンセリング体制の充実
4. 患者や感染者への偏見や差別をなくすための啓発活動の充実
5. 患者や感染者の医療支援の充実
6. 患者や感染者が地域で生活出来るように生活支援の充実
7. 企業への啓発の充実など、安心して就労できる環境の整備
8. 患者や感染者とその家族が相談できる相談体制づくりの充実
9. 特にない
10. わからない
11. その他（ ）

全体集計



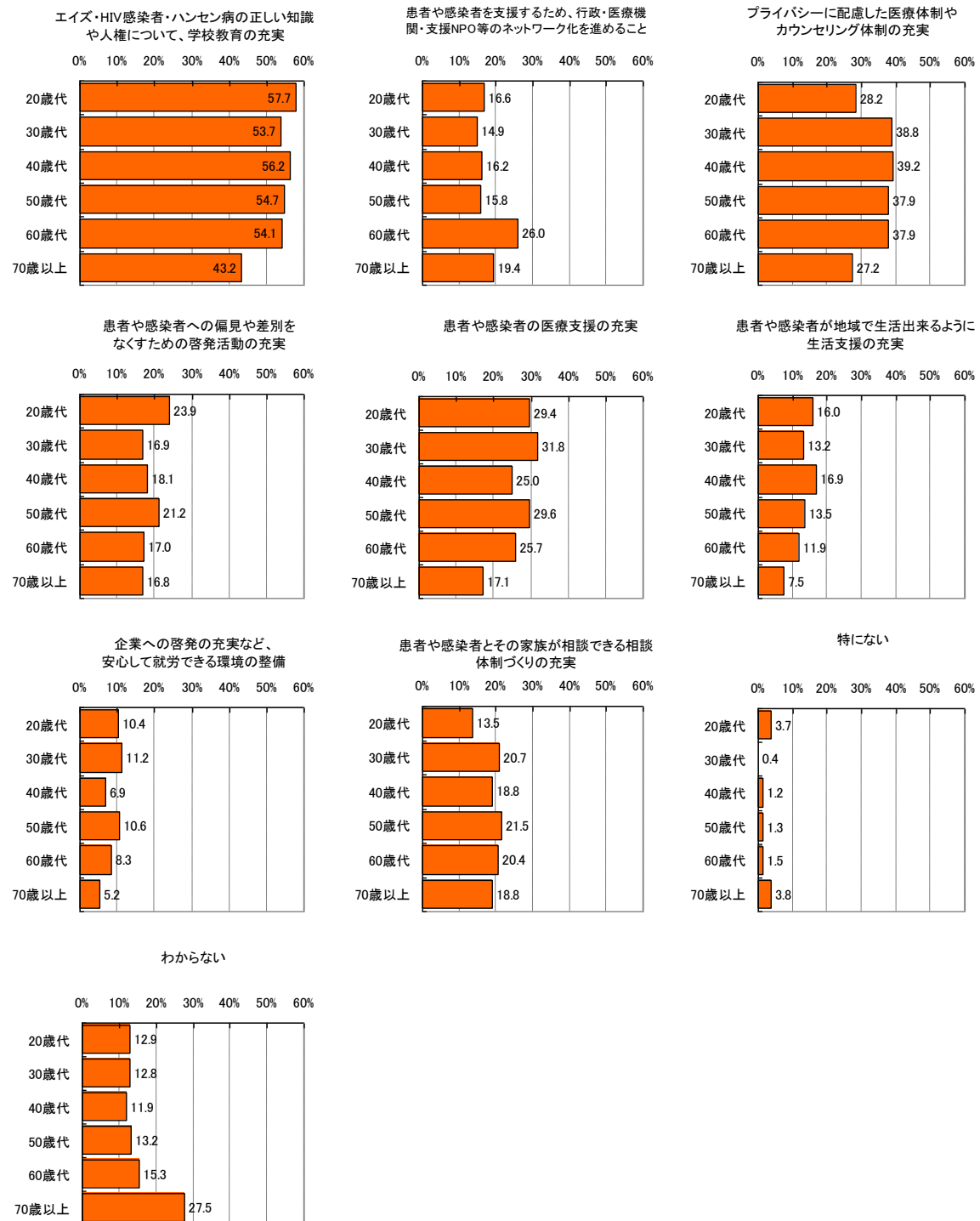
「エイズ・HIV感染者・ハンセン病の正しい知識や人権について、学校教育の充実」が 52.5%と最も高く、次いで「プライバシーに配慮した医療体制やカウンセリング体制の充実」が 34.8%、「患者や感染者の医療支援の充実」が 25.7%の順となっている。

性別集計



性別にみると、全体集計の順位と大きな差はない。「患者や感染者を支援するため、行政・医療機関・支援NPO等のネットワーク化を進めること」で女性より男性が5.7ポイント上回っている。

年齢別集計



年齢別みると、いずれの年齢層も「エイズ・HIV感染者・ハンセン病の正しい知識や人権について、学校教育の充実」が最も高く、20～60歳代までは5割を超え、70歳以上は4割を超えている。

9. 刑を終えた人の人権について

問23 刑を終えて出所した人であることを知ったときの対応

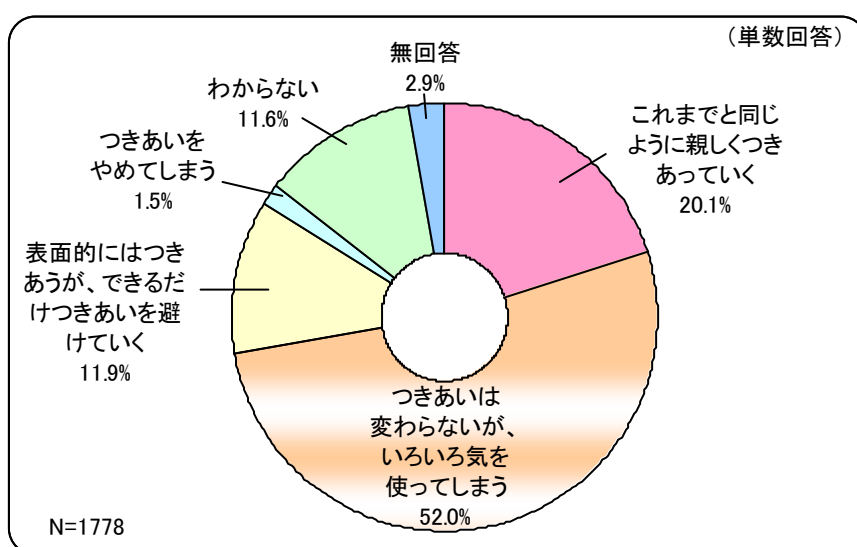
日ごろから親しくつきあっている職場の人々や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたならどのように対応しますか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。

(○は1つだけ)

1. これまでと同じように親しくつきあっていく
2. つきあいは変わらないが、いろいろ気を使ってしまう
3. 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく
4. つきあいをやめてしまう
5. わからない

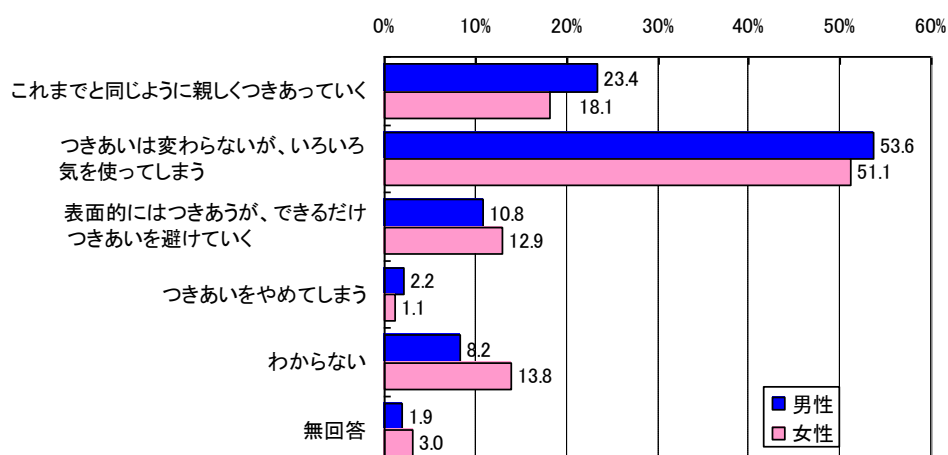
全体集計

「つきあいは変わらないが、いろいろ気を使ってしまう」が52.0%と最も高く、次いで「これまでと同じように親しくつきあっていく」が20.1%、「表面的にはつきあうが、できるだけ付き合いを避けていく」が11.9%の順となっている。



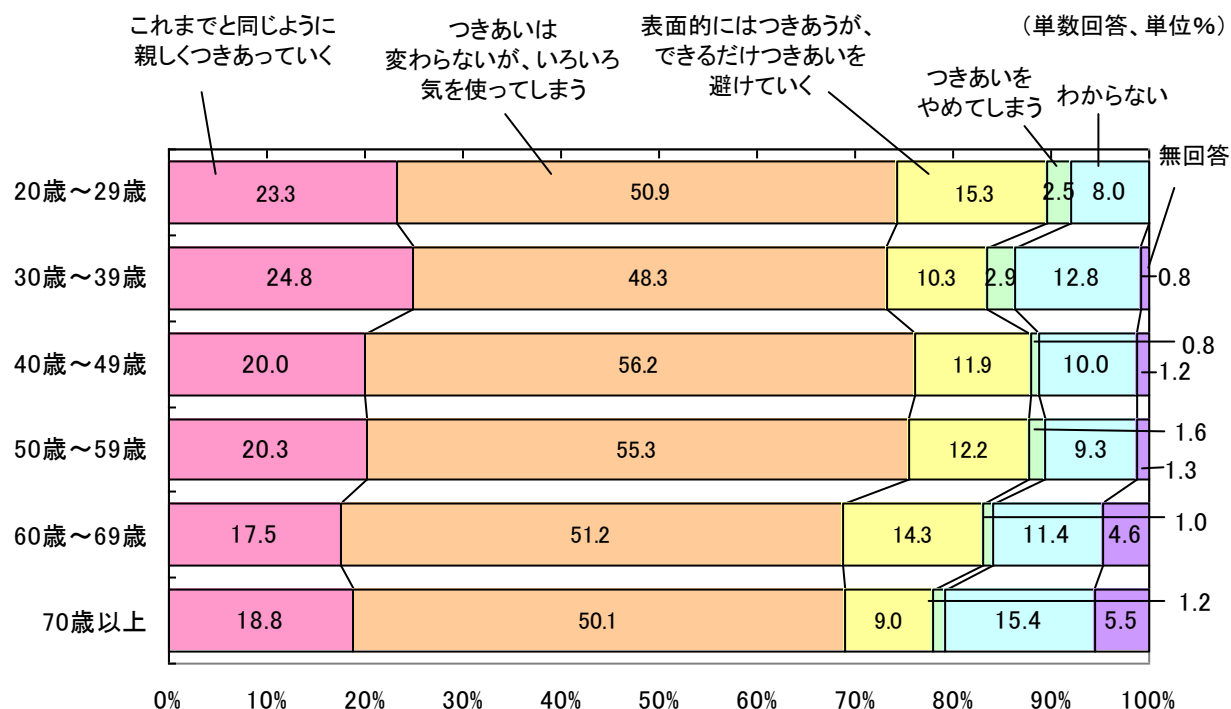
性別集計

(単数回答、単位：%)



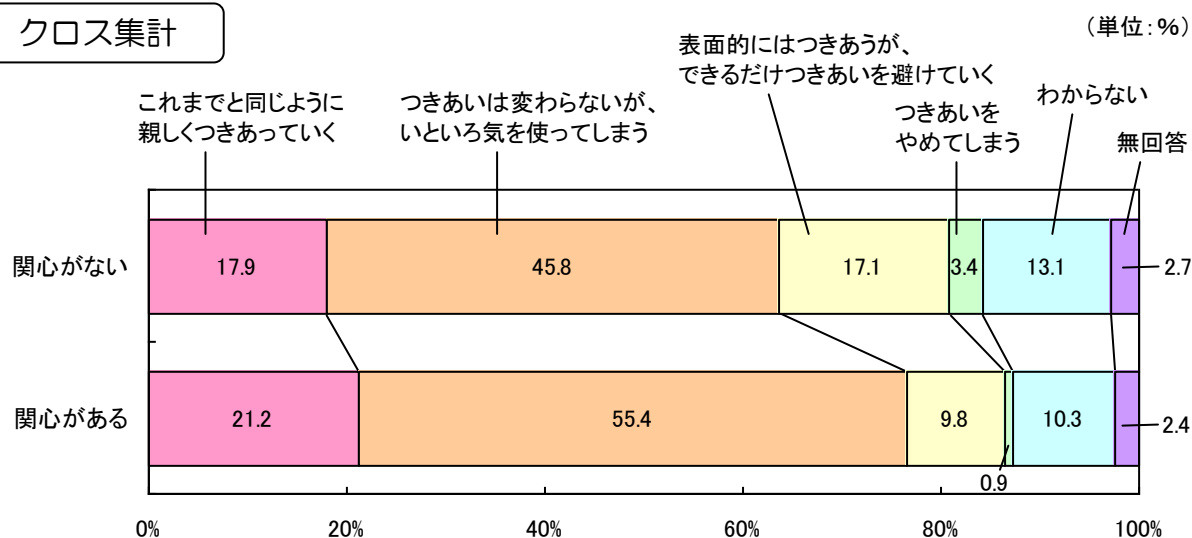
性別にみると、男女ともに「つきあいは変わらないが、いろいろ気を使ってしまう」が最も高く、「これまでと同じように親しくつきあっていく」は女性より男性が5.3ポイント上回り、「わからない」は男性より女性が5.6ポイント上回っている。

年齢別集計



年齢別みると、いずれの年齢層も「つきあいは変わらないが、いろいろ気を使ってしまう」が最も高く、おおむねの年齢層で5割を超えている。

クロス集計



問1で人権に関する関心度の回答者が問23のどのように対応すると回答しているかを分析した。

どちらの回答も「つきあいは変わらないが、いろいろと気を使ってしまう」が最も高く、「関心がない」より「関心がある」回答が9.6ポイント上回っている。「表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく」は「関心がある」より「関心がない」回答が7.3ポイント上回っている。

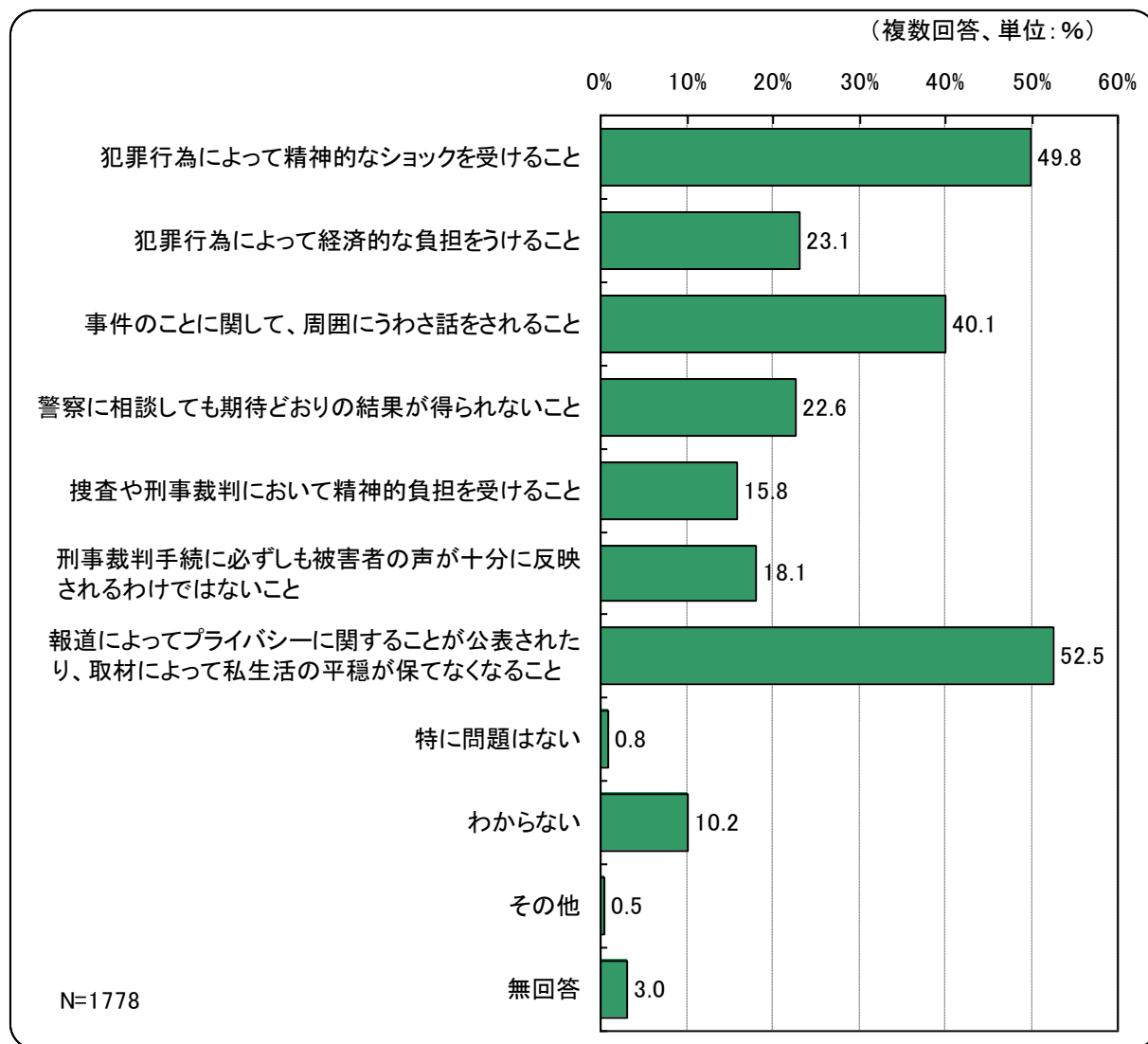
10. 犯罪被害者及びその家族の人権について

問24 犯罪被害者とその家族に関する人権上の問題点

あなたは、犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

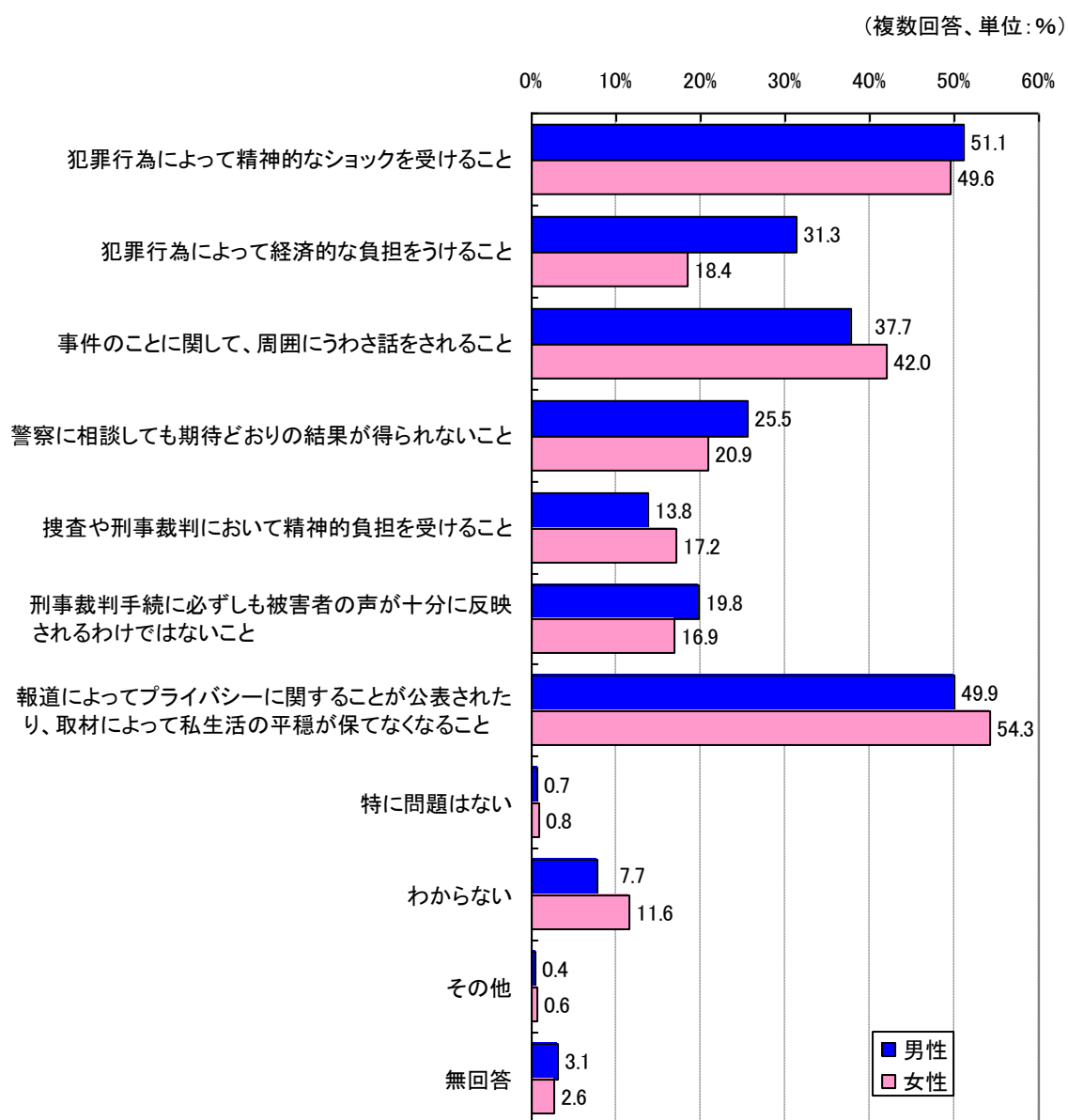
1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
2. 犯罪行為によって経済的な負担をうけること
3. 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
4. 警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと
5. 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
6. 刑事裁判手続に必ずしも被害者の声が十分に反映されるわけではないこと
7. 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる
こと
8. 特に問題はない
9. わからない
10. その他（ ）

全体集計



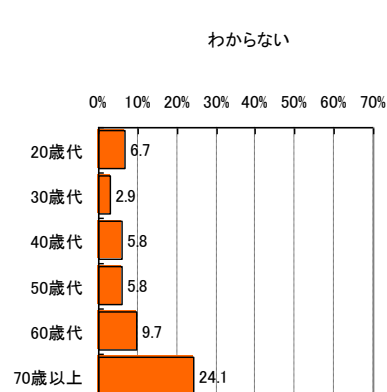
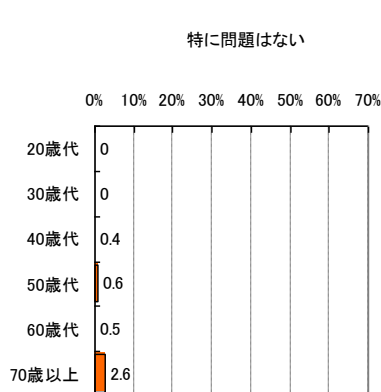
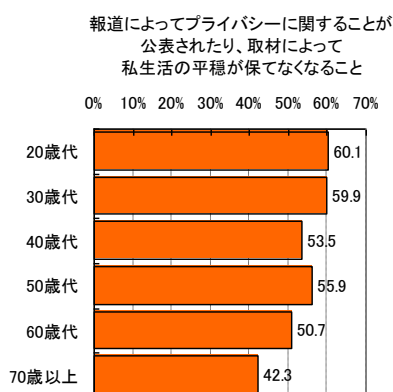
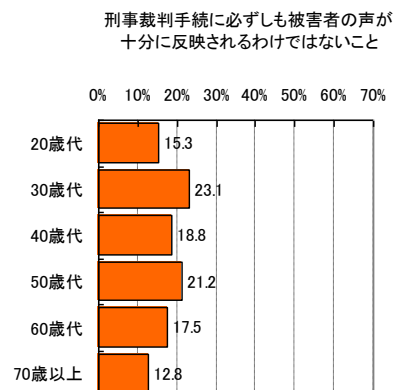
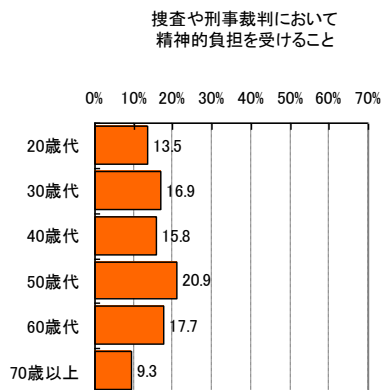
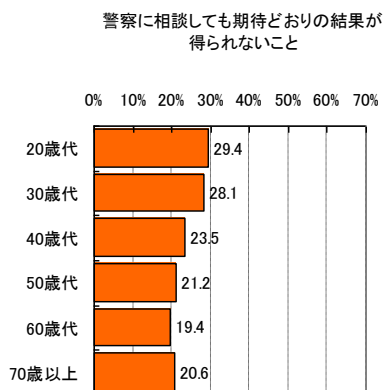
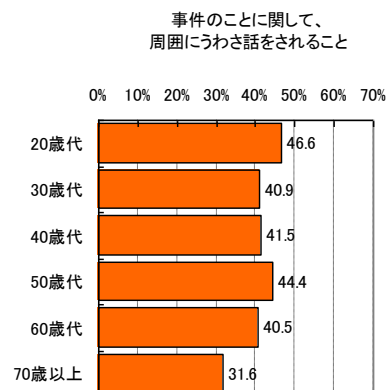
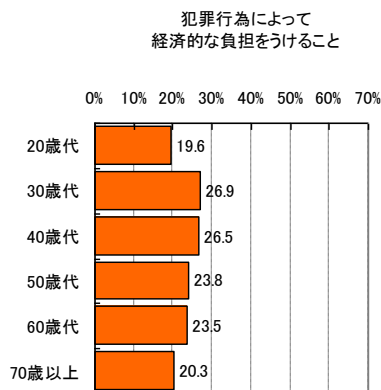
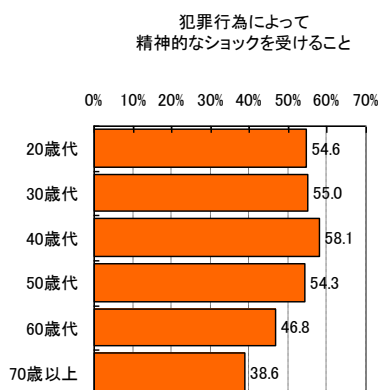
「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が52.5%と最も高く、次いで「犯罪行為によって精神的なショックを受けること」が49.8%、「事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること」が40.1%の順となっている。

性別集計



性別にみると、「犯罪行為によって経済的な負担をうけること」が女性より男性が 12.9 ポイント上回り、その他の項目では男女による大きな差はみられない。

年齢別集計



年齢別みると、いずれの年齢層も「報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなること」が最も高く、20歳代が60.1%となっている。

一方、「わからない」は70歳以上が2割を超え、他の年齢層より高くなっている。

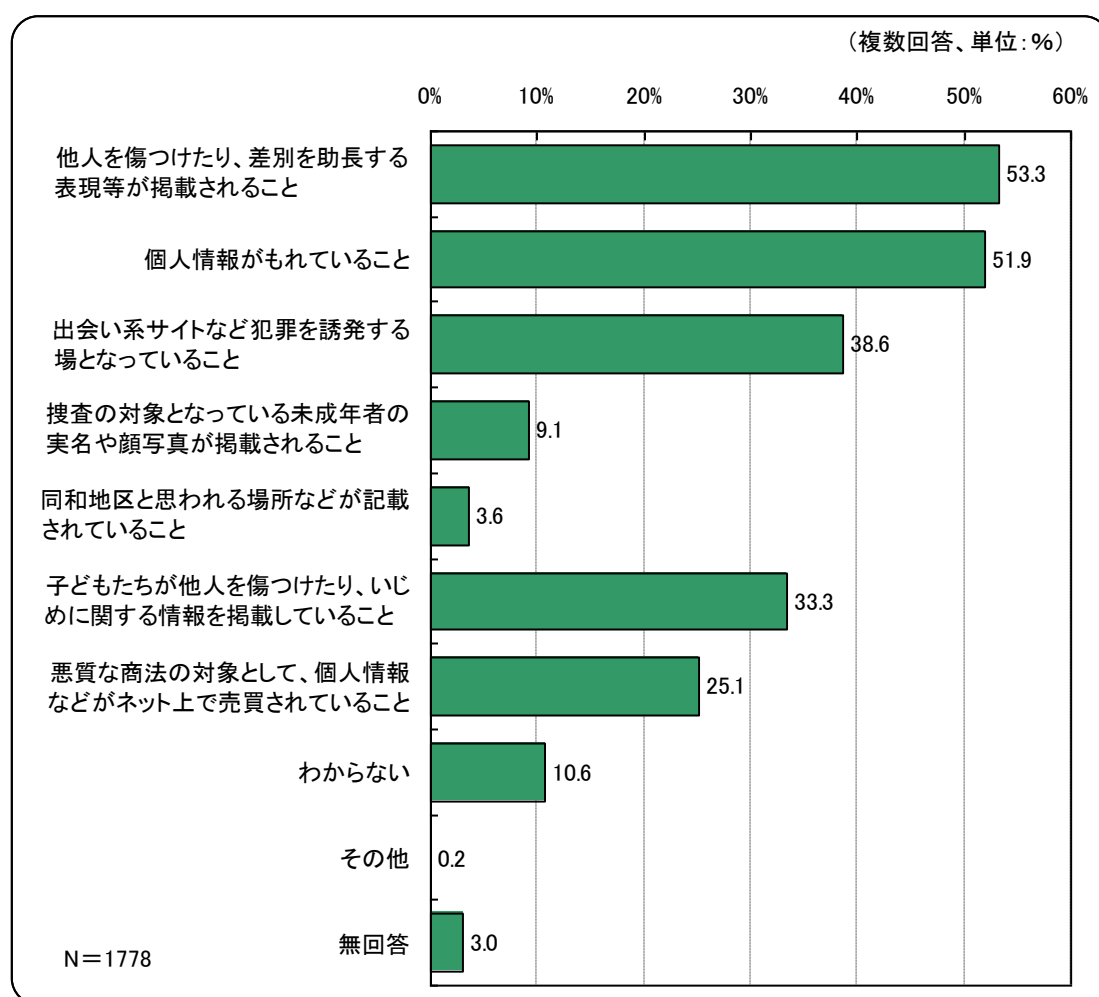
11. 情報と人権について

問25 情報化社会における人権上の問題点

あなたは、現在の情報化社会（インターネット等）で、特にどのような人権侵害の問題が起きていると思いますか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

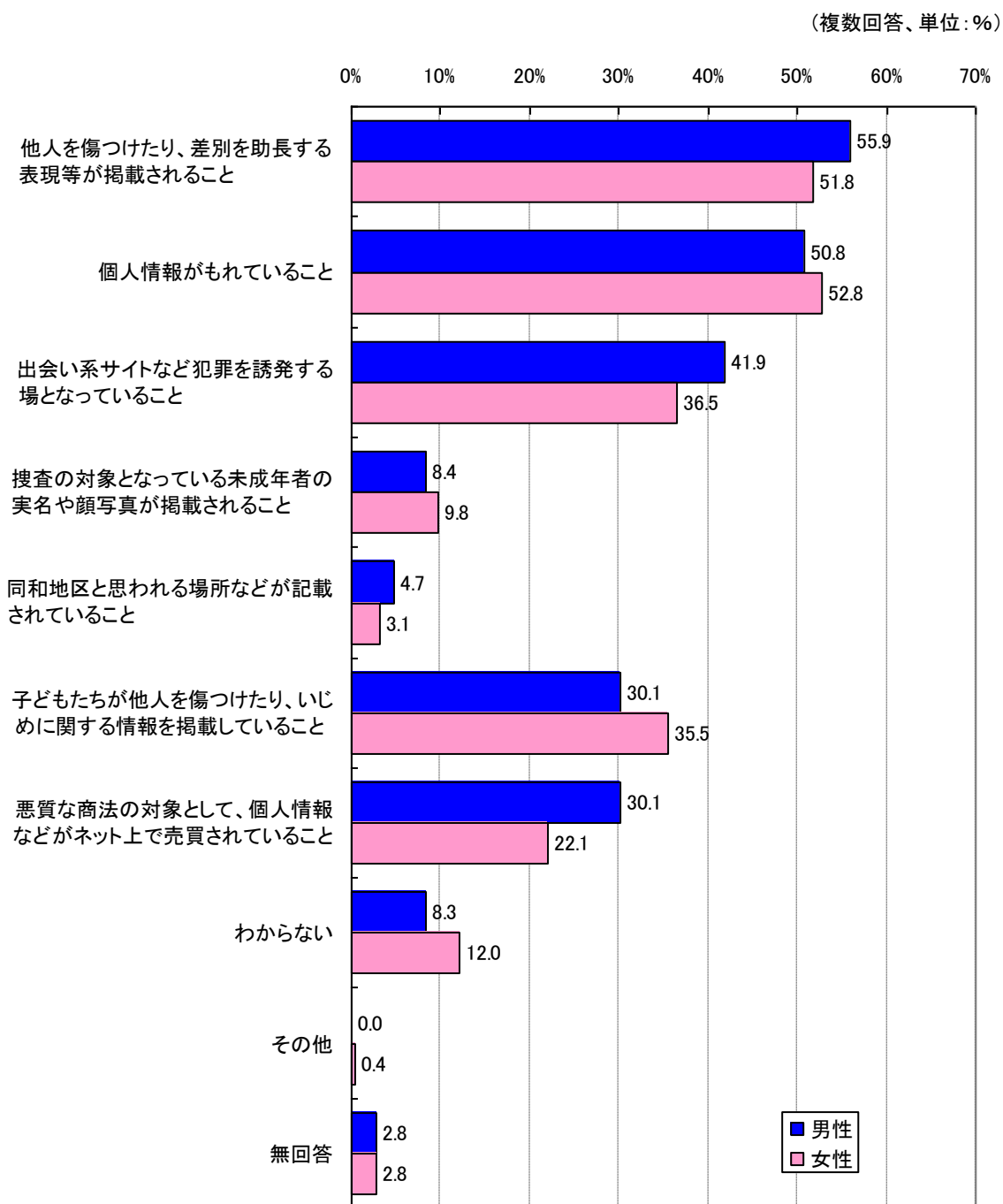
1. 他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること
2. 個人情報がもれていること
3. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
4. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
5. 同和地区と思われる場所などが記載されていること
6. 子どもたちが他人を傷つけたり、いじめに関する情報を掲載していること
7. 悪質な商法の対象として、個人情報などがネット上で売買されていること
8. わからない
9. その他（ ）

全体集計



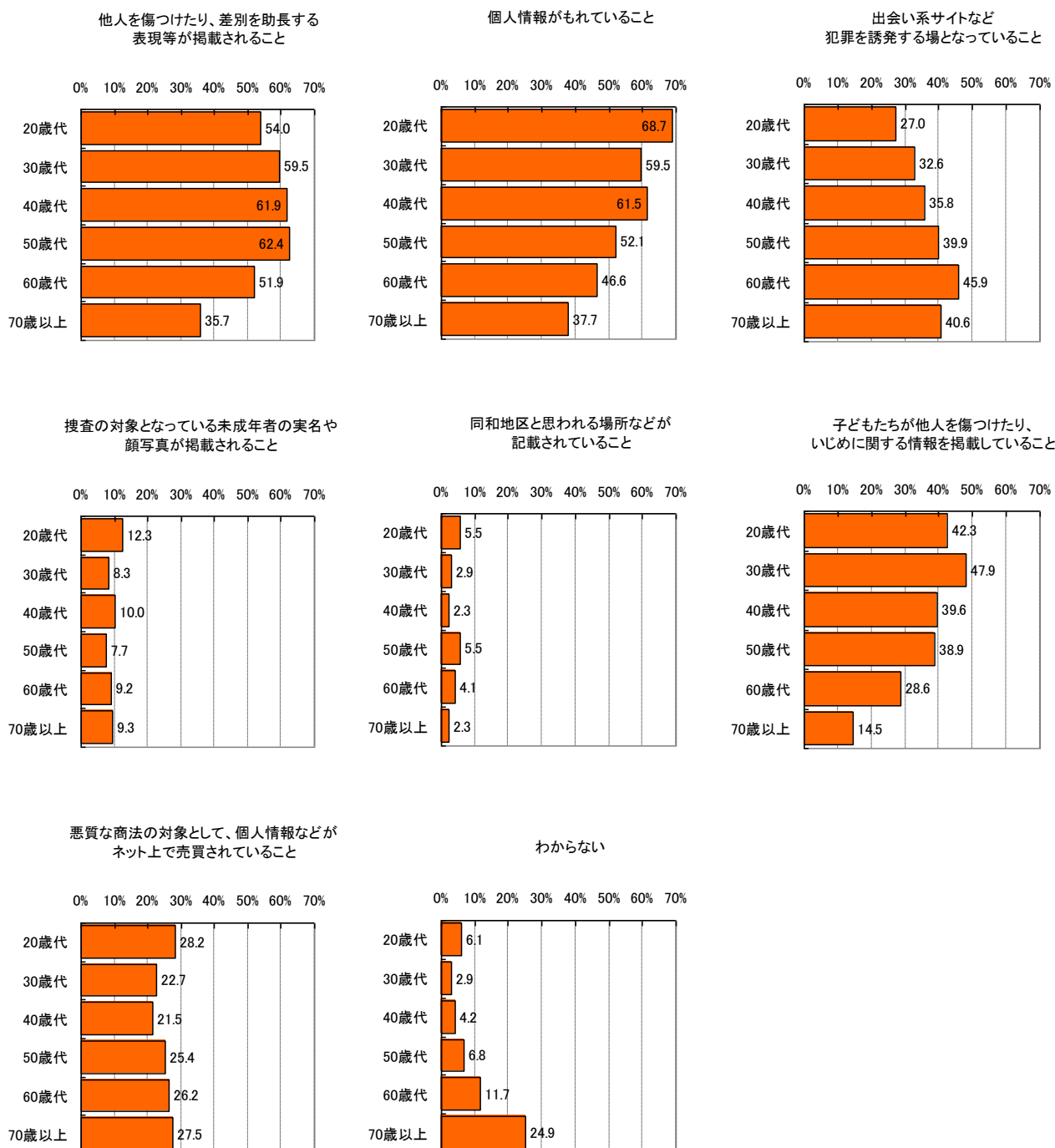
「他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること」が 53.3%と最も高く、次いで「個人情報がもれていること」が 51.9%、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が 38.6%の順となっている。

性別集計



性別みると、「悪質な商法の対象として、個人情報などがネット上で売買されていること」が女性より男性が 8.0 ポイント、「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」が女性より男性が 5.4 ポイント上回っている。一方、「子どもたちが他人を傷つけたり、いじめに関する情報を掲載していること」は男性より女性が 5.4 ポイント上回っている。

年齢別集計



年齢別にみると、「他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること」は 40～50 歳代が 6 割を超え、「個人情報がもれていること」は 20 歳代と 40 歳代が 6 割を超え、高い割合となっている。「出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること」は 60 歳代以上が 4 割を超えている。

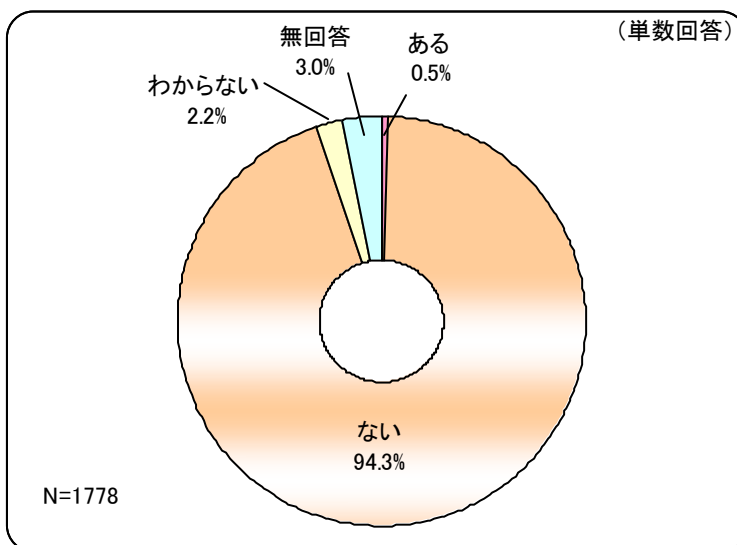
問26 インターネット上の掲示板等への書き込みの有無

あなたは、過去約4年の間に、インターネット上の掲示板等へ、特定の人物に関する書き込みをしたことがありますか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

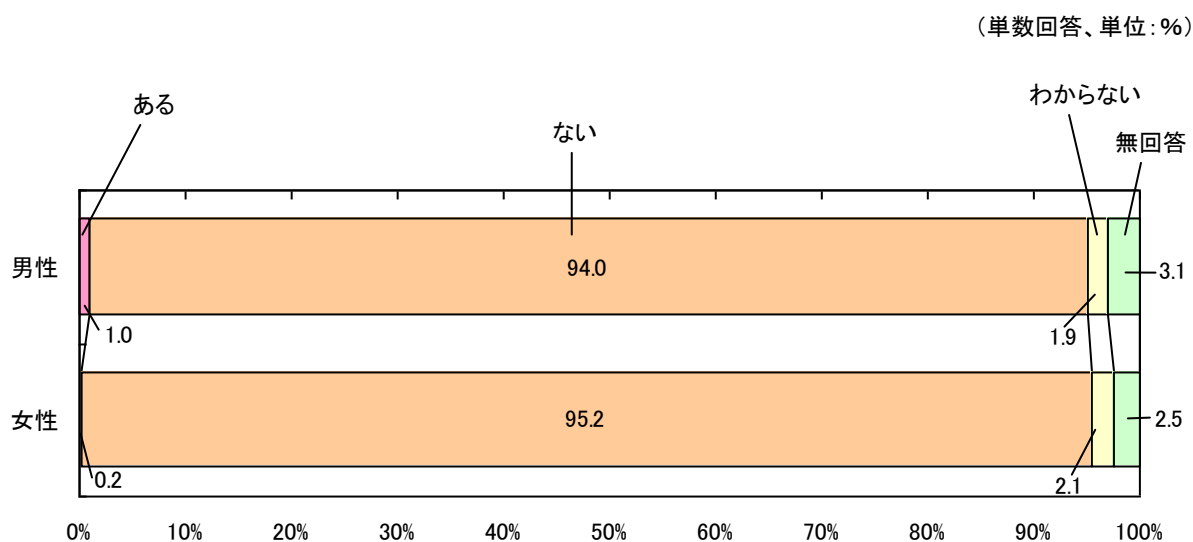
1. ある → 問26-2をお答えください
2. ない
3. わからない

全体集計

書き込みをしたことが「ない」が94.3%と大半を占めている。「ある」は0.5%となっている。

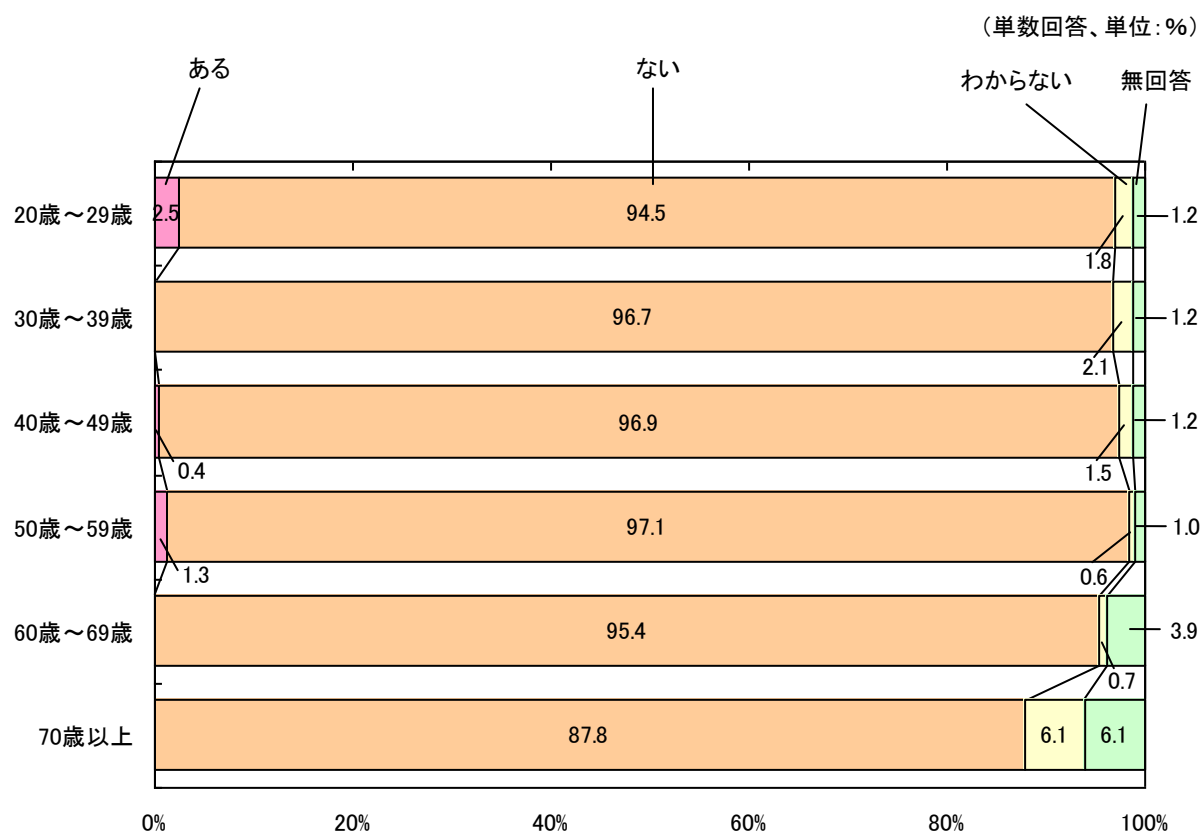


性別集計



性別により大きな差はみられない。

年齢別集計



年齢別にみると、書き込みをしたことが「ある」は20歳代と40～50歳代でみられる。20歳代が2.5%と最も高くなっている。

12. 市民相互の人権について

問27 近隣の人との人間関係に対する満足感

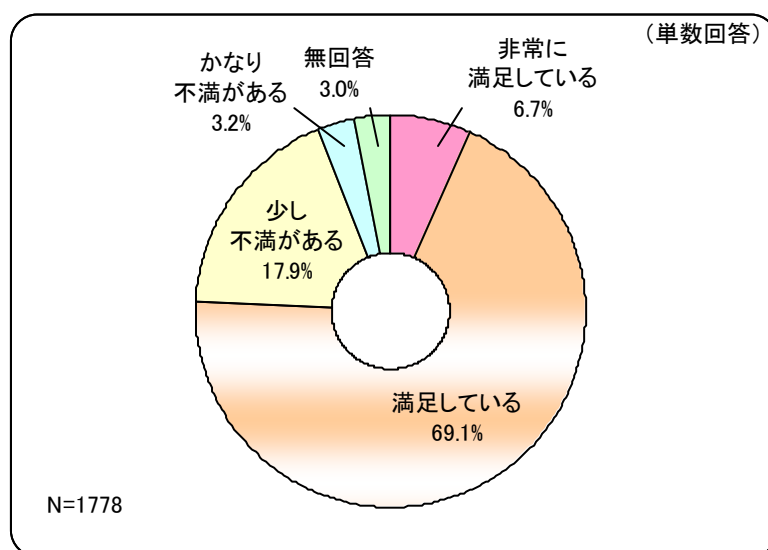
現在、あなたは近隣の人たちとの付き合いや人間関係に満足していますか。

次の中から選んでください。(○は1つだけ)

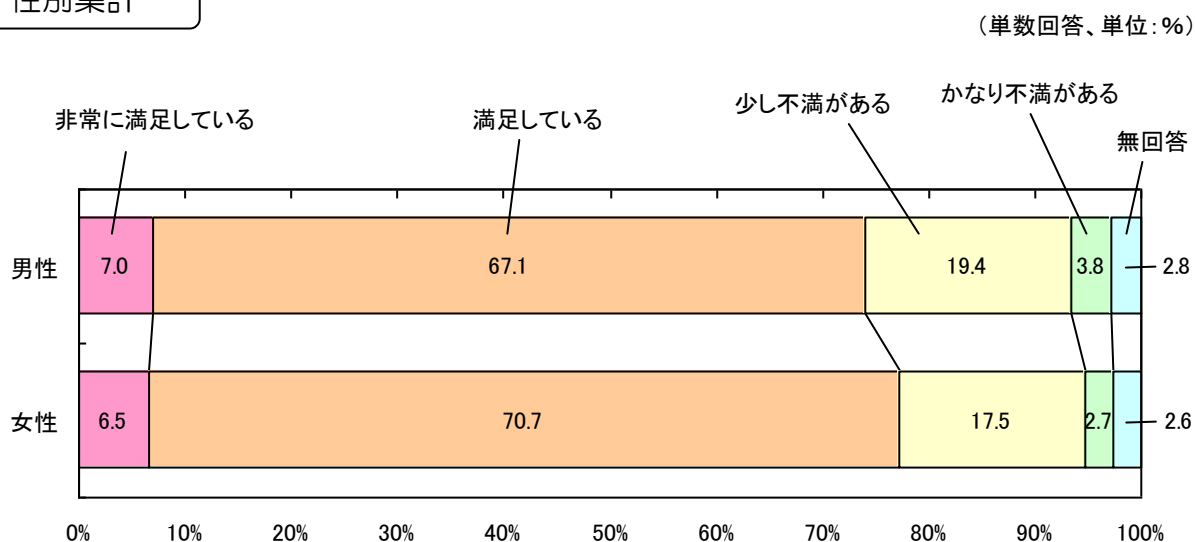
- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 非常に満足している | 2. 満足している |
| 3. 少し不満がある | 4. かなり不満がある |

全体集計

「非常に満足している」と「満足している」を合わせた 75.8%が近隣の人との人間関係に満足していると感じ、「少し不満がある」と「かなり不満がある」を合わせた 21.1%が不満と感じている。

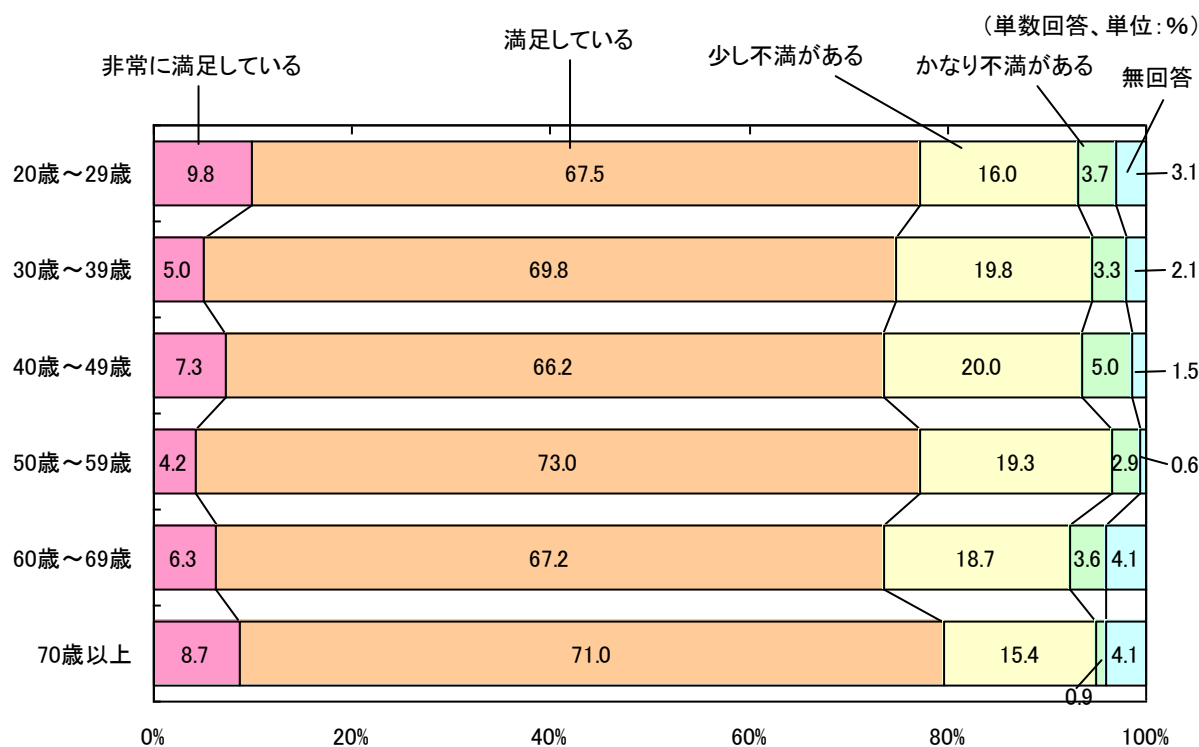


性別集計



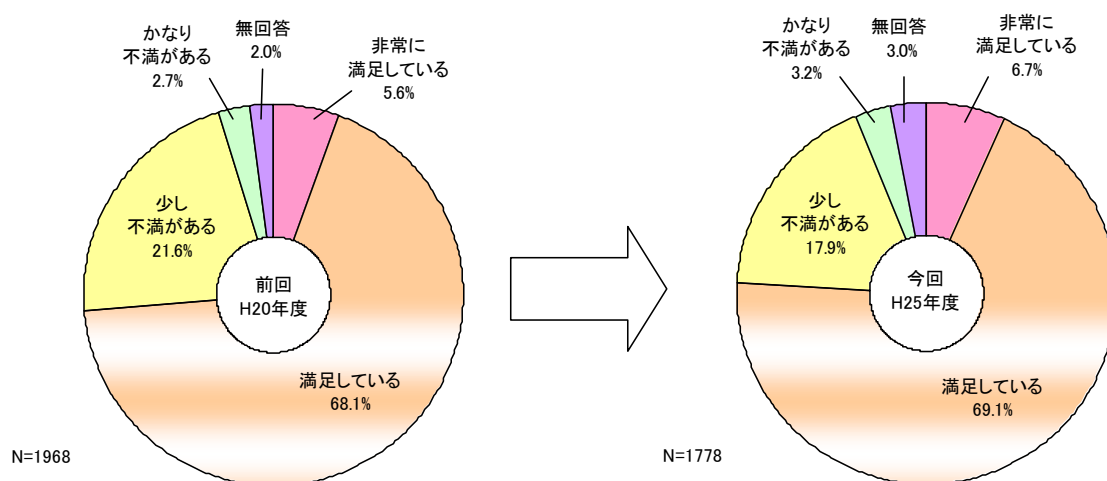
性別みると、満足していると感じている割合は、男性より女性が 3.1 ポイント上回り、不満と感じている割合は、女性より男性が 3.0 ポイント上回っている。

年齢別集計



年齢別にみると、70歳以上は満足と感じている割合が最も高く、不満と感じている割合が最も低くなっている。

過去の調査との比較



前回の調査結果と比較すると、満足していると感じている割合が 2.1 ポイント増加し、不満と感じている割合は 3.2 ポイント減少している。

問28 近隣の人と今以上に親しくしたいかどうか

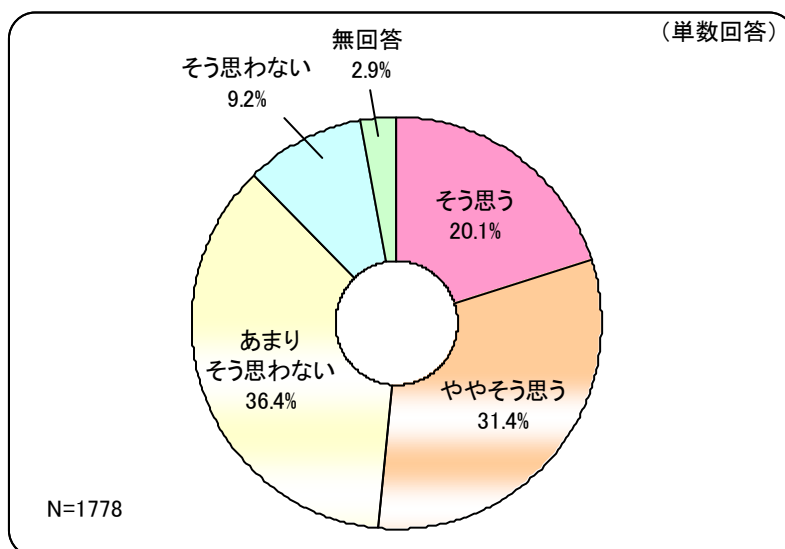
あなたは、近隣の人たちと、今よりもっと親しく付き合いたいと思っていますか。

次の中から選んでください。(○は1つだけ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

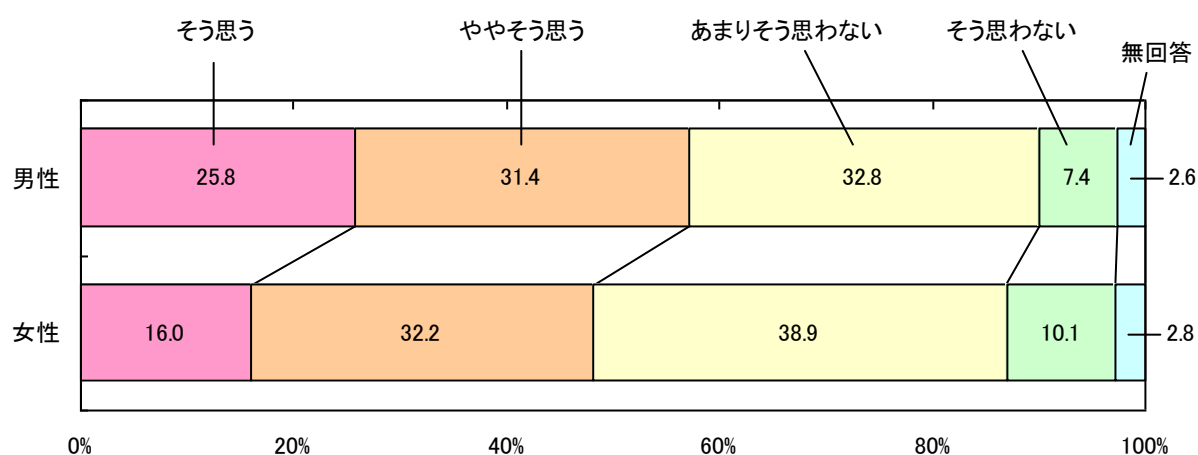
全体集計

もっと親しく付き合うことについて、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた 51.5%が付き合いたいと思っている。「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた 45.6%が付き合いたくないと思っている。



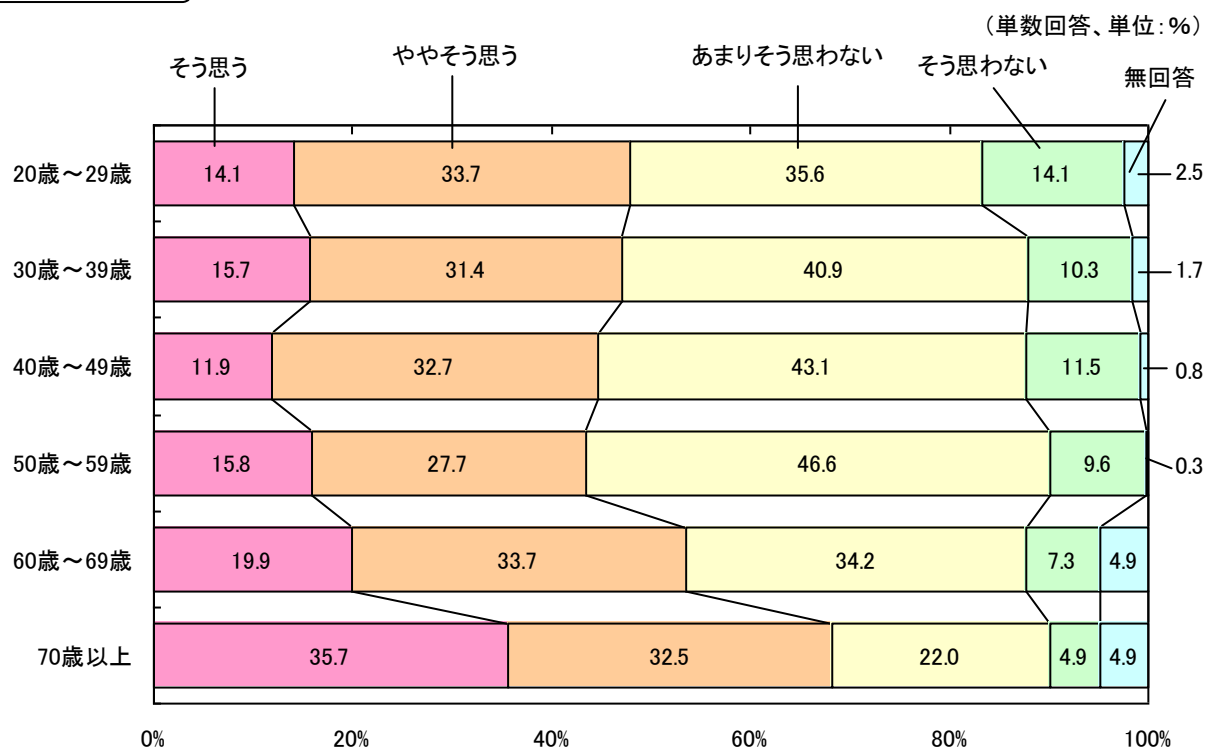
性別集計

(単数回答、単位: %)



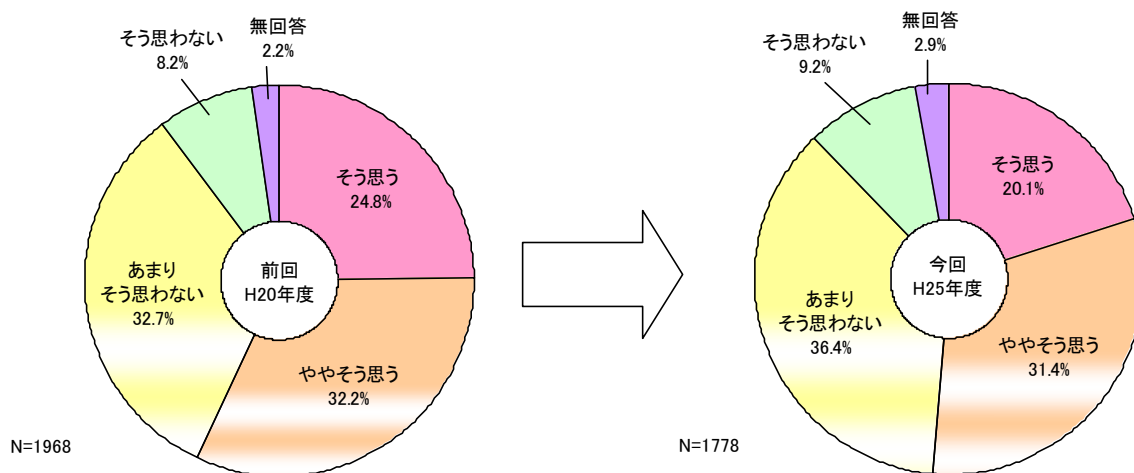
性別にみると、親しく付き合いたいと思う割合は、女性より男性が 9.0 ポイント上回り、親しく付き合いたくない割合は、男性より女性が 8.8 ポイント上回っている。

年齢別集計



年齢別にみると、親しく付き合いたいと思う割合は70歳以上が68.2%と最も高く、親しく付き合いたいと思わない割合は50歳代が56.2%と最も高くなっている。

過去の調査との比較



前回の調査結果と比較すると、親しく付き合いたいと思う割合は5.5ポイント減少し、親しく付き合いたいと思わない割合は4.7ポイント増加している。

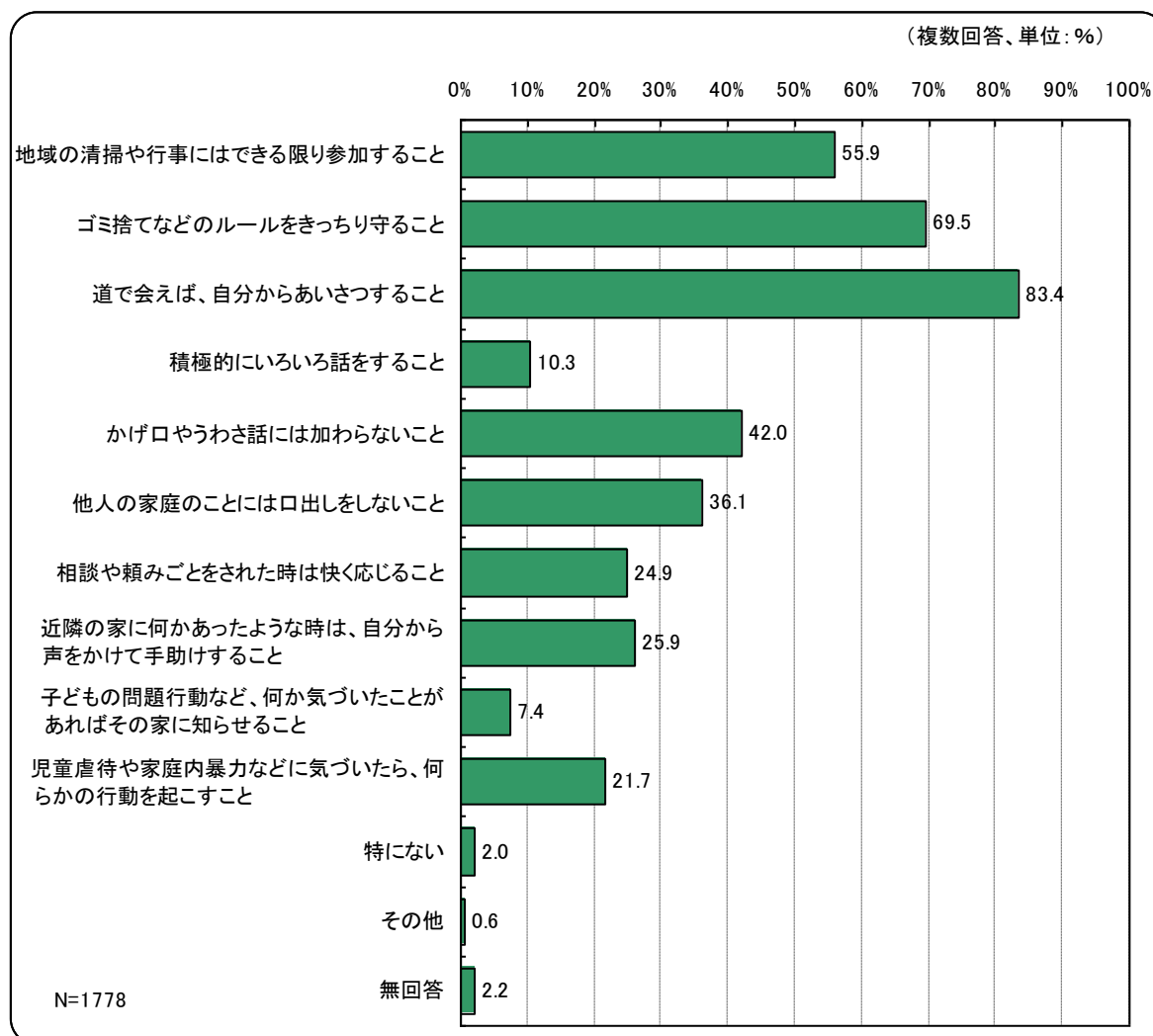
問29 より良い人間関係を築くために必要なこと

近隣の人たちとより良い人間関係をつくっていくために、一人ひとりが日ごろから心がけなければならないことは何だと思いませんか。

次の中から、あなたが大切だと思うことを選んでください。(〇は5つまで)

1. 地域の清掃や行事にはできる限り参加すること
2. ゴミ捨てなどのルールをきっちり守ること
3. 道で会えば、自分からあいさつすること
4. 積極的にいろいろ話をする事
5. かげ口やうわさ話には加わらないこと
6. 他人の家庭のことには口出しをしないこと
7. 相談や頼みごとをされた時は快く応じる事
8. 近隣の家に何かあったような時は、自分から声をかけて手助けすること
9. 子どもの問題行動など、何か気づいたことがあればその家に知らせること
10. 児童虐待や家庭内暴力などに気づいたら、何らかの行動を起こすこと
11. 特にな
12. その他 ()

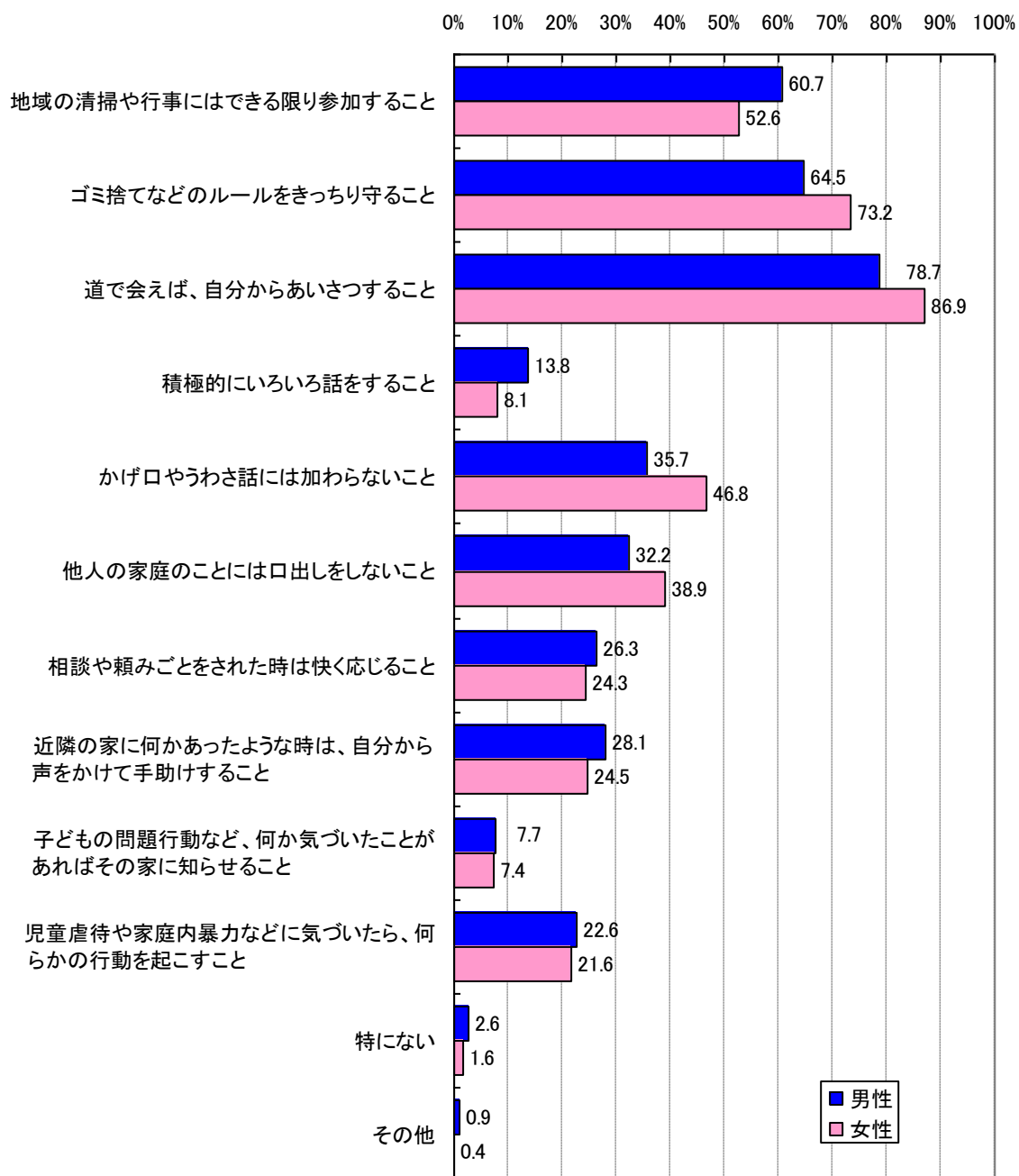
全体集計



「道で会えば、自分からあいさつすること」が 83.4%と最も高く、次いで「ゴミ捨てなどのルールをきっちり守ること」が 69.5%、「地域の清掃や行事にはできる限り参加すること」が 55.9%の順となっている。

性別集計

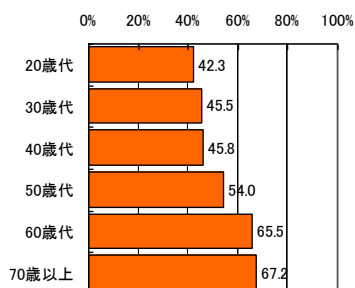
(複数回答、単位：%)



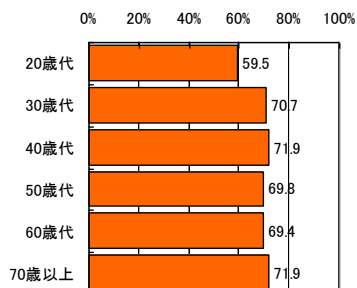
性別にみると、全体集計の順位と大きな差はないが、「地域の清掃や行事にはできる限り参加すること」は女性より男性が 8.1 ポイント上回り、「かげろやうわさ話には加わらないこと」は男性より女性が 11.1 ポイント上回っている。

年齢別集計

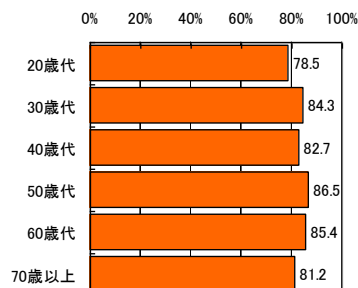
地域の清掃や行事には
できる限り参加すること



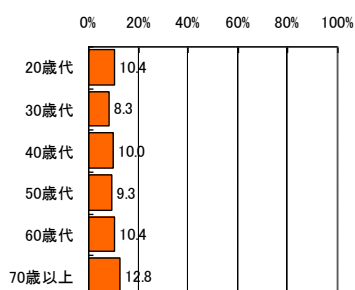
ゴミ捨てなどのルールを
きっちり守ること



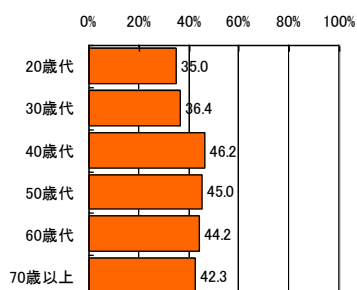
道で会えば、
自分からあいさつすること



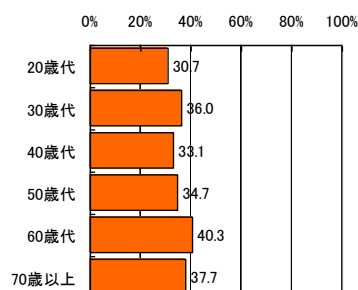
積極的にいろいろ話をする事



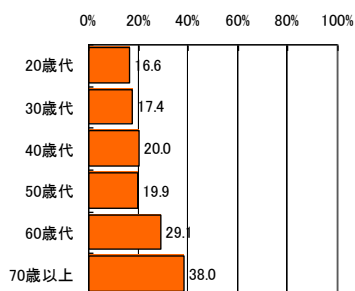
かげろやうわさ話には
加わらないこと



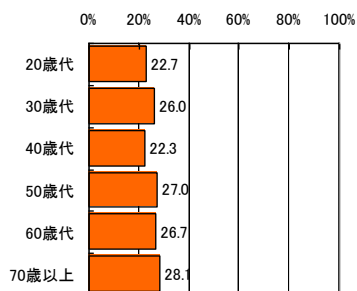
他人の家庭のことには
口出しをしないこと



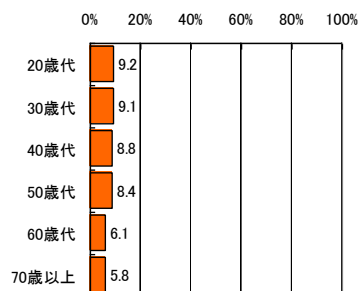
相談や頼みごとをされた時は
快く応じること



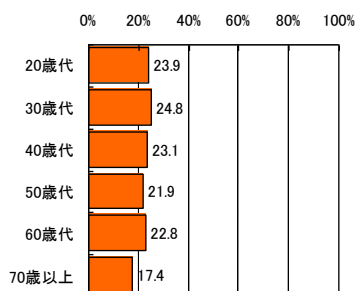
近隣の家に何かあったような時は、
自分から声をかけて手助けすること



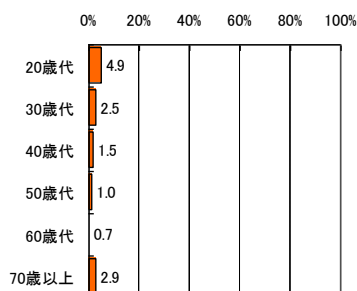
子どもの問題行動など、
何か気づいたことがあれば
その家に知らせること



児童虐待や家庭内暴力などに
気づいたら、何らかの行動を起こすこと



特になし



年齢別にみると、「道で会えば、自分からあいさつすること」が各年齢層ともにもっと高く、「地域の清掃や行事にはできる限り参加すること」は、年齢層が高くなると割合が高くなり、20歳代で42.3%、70歳以上は67.2%となっている。

13. 人権教育・啓発の取組について

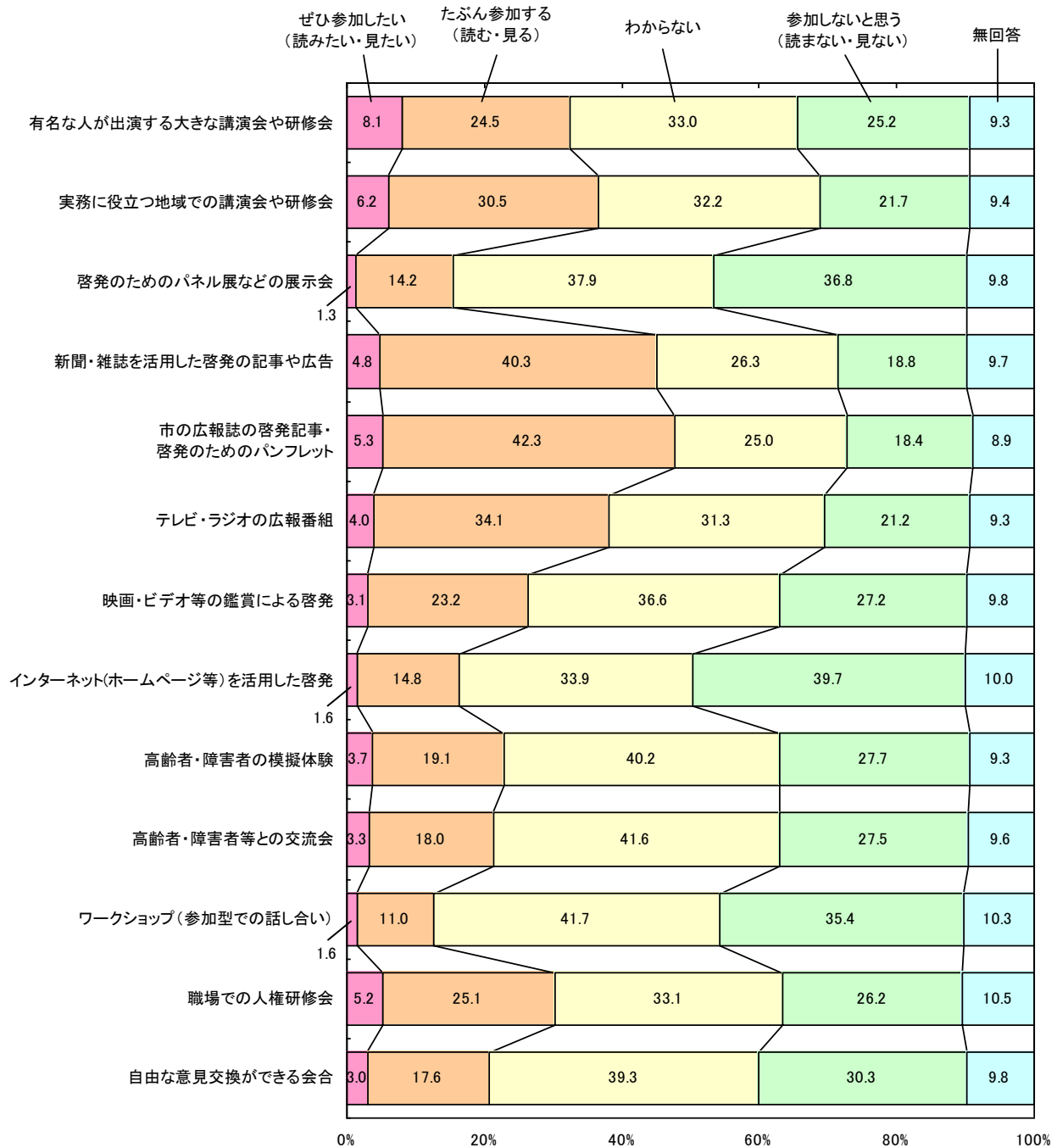
問30 人権に関する効果的な啓発活動

あなたは、人権に関するどのような啓発活動などあれば参加したい（読みたい、見たい）と思いますか。項目ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

	ぜひ参加したい (読みたい、見たい)	たぶん参加する (読む、見る)	わからない	参加しないと思う (読まない、見ない)
記入例 →	①	2	3	4
有名な人が出演する大きな講演会や研修会	1	2	3	4
実務に役立つ地域での講演会や研修会	1	2	3	4
啓発のためのパネル展などの展示会	1	2	3	4
新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告	1	2	3	4
市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット	1	2	3	4
テレビ・ラジオの広報番組	1	2	3	4
映画・ビデオ等の鑑賞による啓発	1	2	3	4
インターネット（ホームページ等）を活用した啓発	1	2	3	4
高齢者・障害者の模擬体験	1	2	3	4
高齢者・障害者等との交流会	1	2	3	4
ワークショップ（参加型での話し合い）	1	2	3	4
職場での人権研修会	1	2	3	4
自由な意見交換ができる会合	1	2	3	4
その他 「ぜひ参加したい」「やって欲しい」と思う啓発活動などあればご自由にお書きください。				

全体集計

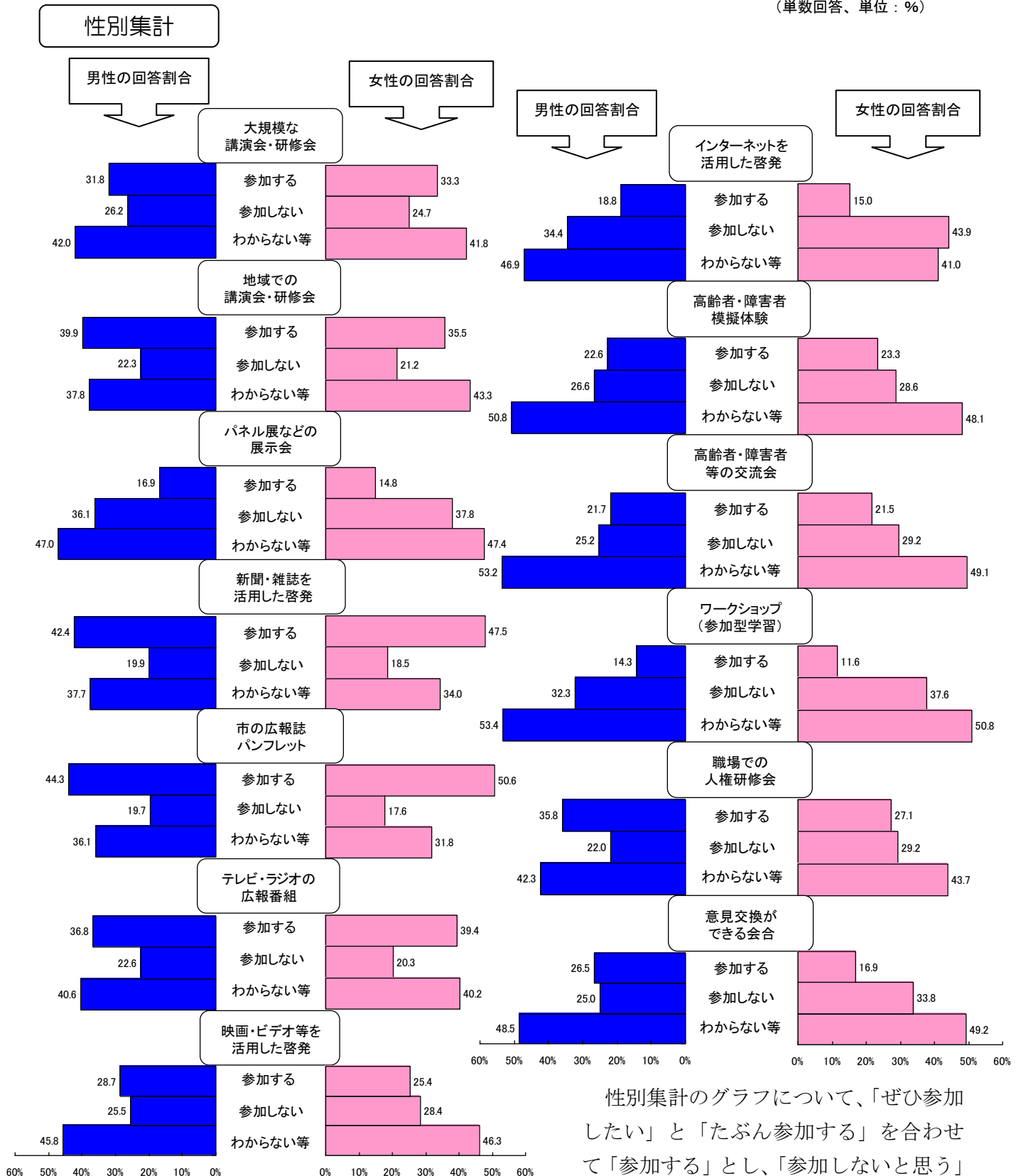
(単数回答、単位：%)



「ぜひ参加したい」と「たぶん参加する」を合わせた参加率をみると、「市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット」が47.6%と最も高く、次いで「新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告」が45.1%、「テレビ・ラジオの広報番組」が38.1%の順となっている。

参加しないと思う割合は、「インターネット(ホームページ等)を活用した啓発」が39.7%と最も高くなっている。

(単数回答、単位：％)



性別集計のグラフについて、「ぜひ参加したい」と「たぶん参加する」を合わせて「参加する」とし、「参加しないと思う」は「参加しない」としている。なお、「わからない等」は「わからない」と「無回答」を合わせた割合としている。

性別にみると、「市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット」で参加するとした人が、男性より女性が 6.3 ポイント上回り、「自由な意見交換ができる会合」で参加するとした人が、女性より男性が 9.6 ポイント上回っている。

年齢別集計

年齢別集計表について、「ぜひ参加したい」と「たぶん参加する」を合わせて「参加する」とし、「参加しないと思う」は「参加しない」としている。なお、「わからない等」は「わからない」と「無回答」を合わせた割合としている。

年齢別にみると、参加するとした人が20歳代は「職場での人権研修会」が46.6%、30歳代は「新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告」が42.5%と最も高く、40歳代以上は「市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット」の割合が最も高くなっている。

▽有名な人が出演する大きな講習会や研修会

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	33.7	32.5	33.7
30歳代	27.3	32.6	40.0
40歳代	39.3	25.0	35.8
50歳代	34.4	22.8	42.8
60歳代	30.4	24.5	45.2
70歳以上	32.2	20.0	47.8

▽実務に役立つ地域での講演会や研修会

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	39.2	25.2	35.6
30歳代	34.7	28.1	37.2
40歳代	41.5	20.8	37.7
50歳代	38.6	20.3	41.1
60歳代	42.2	20.6	37.1
70歳以上	27.5	18.3	54.2

▽啓発のためのパネル展などの展示会

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	17.2	50.9	31.9
30歳代	10.7	48.3	40.9
40歳代	14.2	43.5	42.3
50歳代	14.8	37.3	47.9
60歳代	17.5	32.5	50.0
70歳以上	17.9	22.9	59.1

▽新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	39.9	31.3	28.8
30歳代	42.5	22.7	34.7
40歳代	48.9	18.1	33.0
50歳代	48.5	18.6	32.8
60歳代	50.2	18.2	31.6
70歳以上	38.2	12.8	49.0

▽市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	38.7	31.3	30.0
30歳代	38.0	26.4	35.6
40歳代	52.3	18.1	29.6
50歳代	49.8	17.7	32.5
60歳代	54.8	16.5	28.6
70歳以上	46.1	9.9	44.0

▽テレビ・ラジオの広報番組

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	33.8	30.7	35.6
30歳代	29.7	30.2	40.0
40歳代	36.1	25.4	38.4
50歳代	40.8	20.9	38.3
60歳代	44.1	16.7	39.1
70歳以上	39.1	12.8	48.1

▽映画・ビデオ等の鑑賞による啓発

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	29.5	38.0	32.5
30歳代	26.4	30.6	42.9
40歳代	26.2	32.7	41.1
50歳代	30.9	24.4	44.7
60歳代	27.5	24.3	48.3
70歳以上	21.2	21.4	57.4

▽インターネット(ホームページ等)を活用した啓発

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	32.5	35.6	31.9
30歳代	25.2	33.1	41.7
40歳代	20.0	39.6	40.4
50歳代	17.4	38.3	44.4
60歳代	10.7	47.3	42.0
70歳以上	6.4	40.0	53.7

▽高齢者・障害者の模擬体験

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	23.3	35.6	41.1
30歳代	21.1	26.9	52.0
40歳代	23.8	33.1	43.0
50歳代	23.5	27.7	48.9
60歳代	26.4	26.7	46.9
70歳以上	19.2	22.0	58.9

▽高齢者・障害者等との交流会

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	23.9	36.8	39.2
30歳代	20.6	30.6	48.8
40歳代	20.4	32.3	47.3
50歳代	23.4	24.1	52.4
60歳代	24.0	26.7	49.3
70歳以上	17.7	21.7	60.6

▽ワークショップ(参加型での話し合い)

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	14.1	46.0	39.9
30歳代	11.6	39.7	48.7
40歳代	14.6	40.8	44.6
50歳代	12.6	34.4	53.0
60歳代	14.3	34.7	51.0
70歳以上	9.5	24.9	65.5

▽職場での人権研修

	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	46.6	23.9	29.4
30歳代	40.1	25.6	34.3
40歳代	33.9	26.5	39.6
50歳代	37.9	19.6	42.5
60歳代	25.5	30.3	44.2
70歳以上	12.7	29.0	58.3

▽自由な意見交換ができる会合

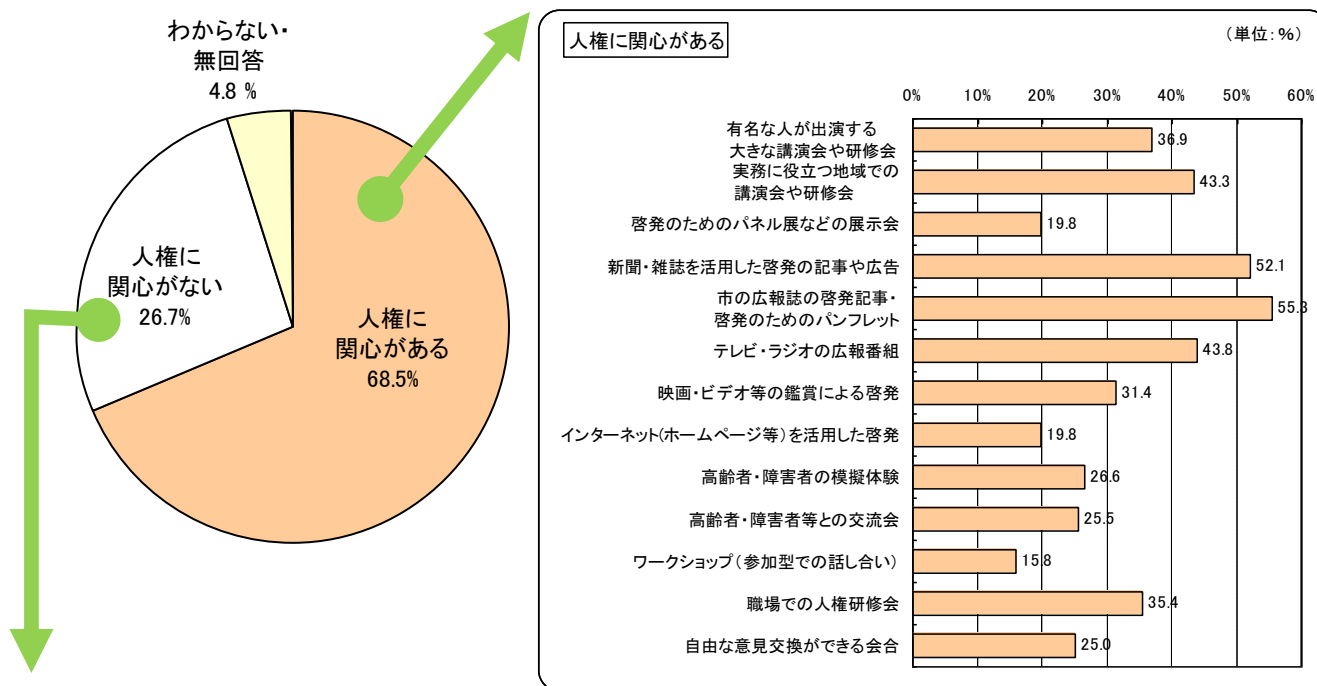
	参加する	参加しない	わからない等
20歳代	20.8	37.4	41.7
30歳代	16.1	40.1	43.8
40歳代	18.0	35.8	46.1
50歳代	20.9	27.0	52.1
60歳代	25.2	28.9	45.9
70歳以上	20.3	20.3	59.5

クロス集計

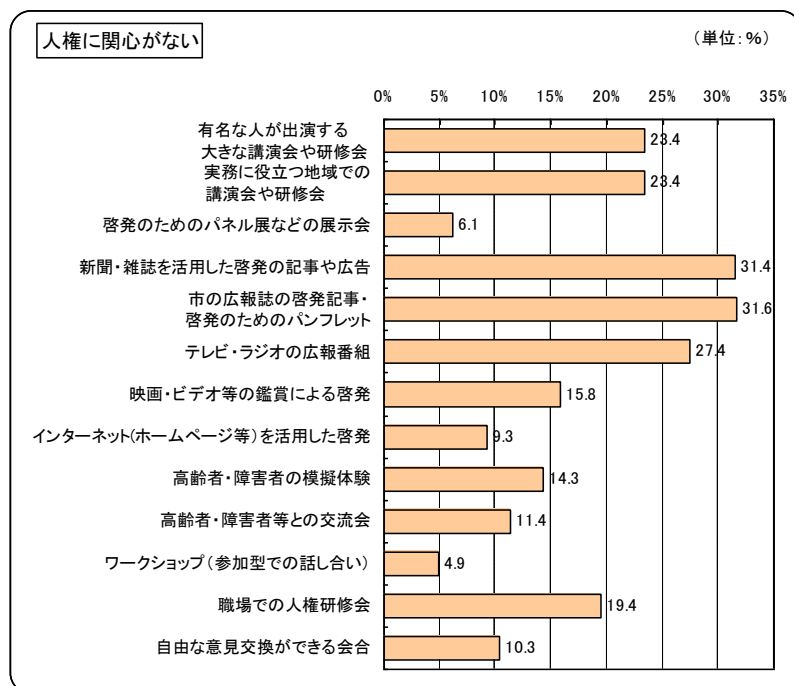
問1で人権に関する関心度の回答者が問30の啓発の取組みについてどのような回答をしているかを分析した。

人権に関心が「ある」の回答者は「ない」の回答者よりも、すべての項目について割合が高く、「市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット」は、23.7ポイント上回っている。

◆人権に関心がある回答者が参加したいと回答した啓発活動等



◆人権に関心がない回答者が参加したいと回答した啓発活動等

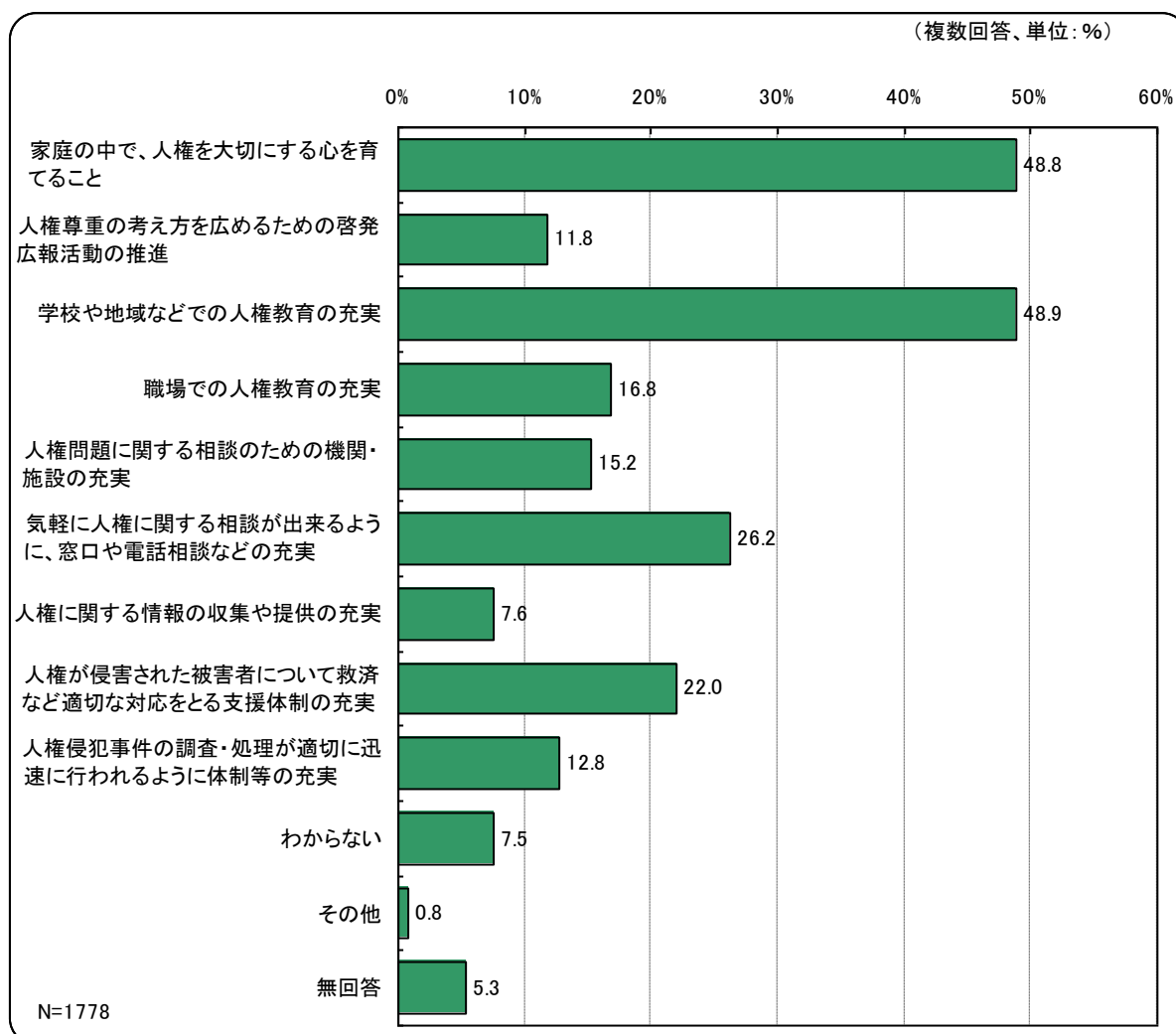


問3 1 人権が尊重される社会を実現するための方策

「人権」が尊重される社会を充実するためには、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から選んでください。（〇は3つまで）

1. 家庭の中で、人権を大切にすることを育てること
2. 人権尊重の考え方を広めるための啓発広報活動の推進
3. 学校や地域などでの人権教育の充実
4. 職場での人権教育の充実
5. 人権問題に関する相談のための機関・施設の充実
6. 気軽に人権に関する相談が出来るように、窓口や電話相談などの充実
7. 人権に関する情報の収集や提供の充実
8. 人権が侵害された被害者について救済など適切な対応をとる支援体制の充実
9. 人権侵犯事件の調査・処理が適切に迅速に行われるように体制等の充実
10. わからない
11. その他（ ）

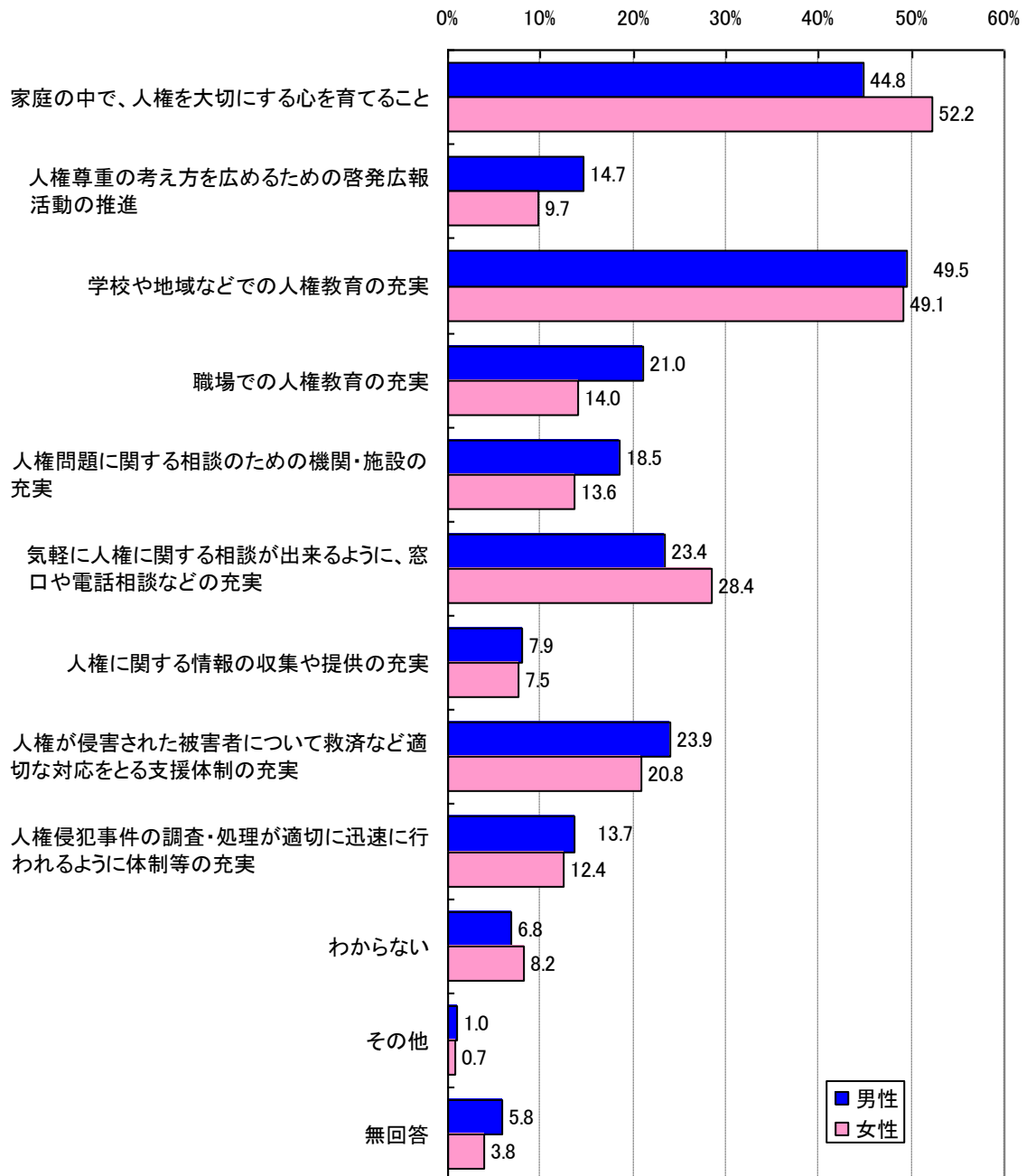
全体集計



「学校や地域などでの人権教育の充実」が 48.9%と最も高く、次いで「家庭の中で、人権を大切にすることを育てること」が 48.8%と約 5 割を占めている。

性別集計

(複数回答、単位：%)

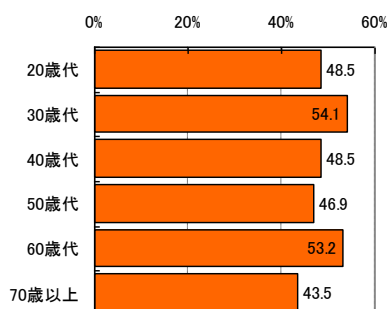


性別にみると、男性は「学校や地域などでの人権教育の充実」が 49.5%と最も高く、女性は「家庭の中で、人権を大切にする心を育てること」が 52.2%と最も高くなっている。

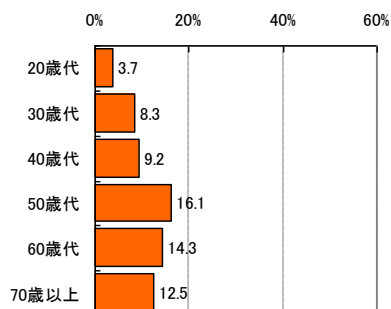
その他の項目に大きな差はみられない。

年齢別集計

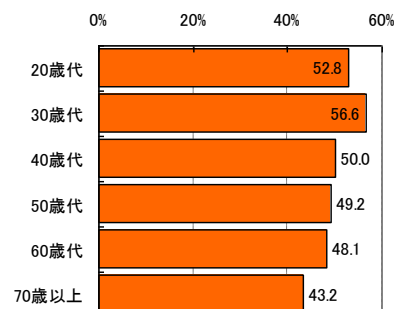
家庭の中で、
人権を大切にする心を育てること



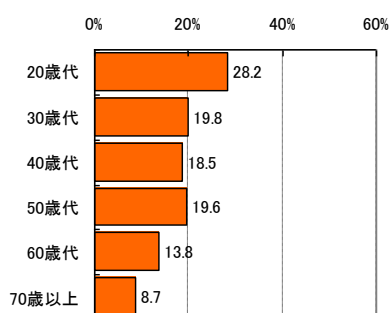
人権尊重の考え方を広めるための
啓発広報活動の推進



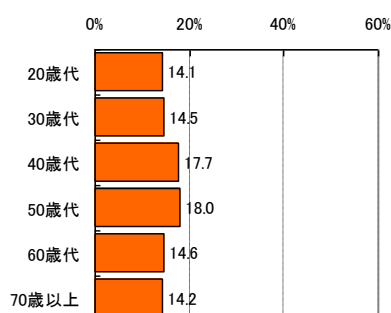
学校や地域などでの
人権教育の充実



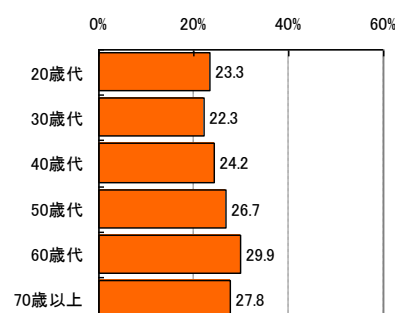
職場での人権教育の充実



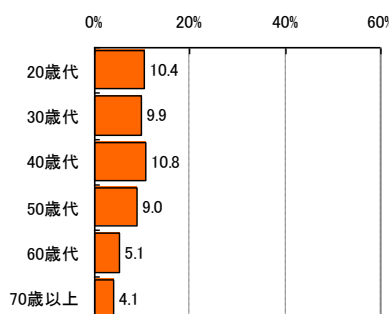
人権問題に関する
相談のための機関・施設の充実



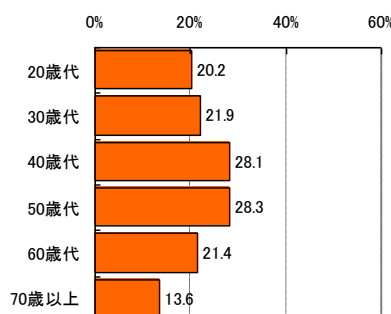
気軽に人権に関する相談が出来るように、
窓口や電話相談などの充実



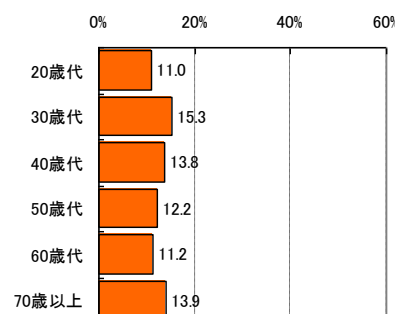
人権に関する情報の収集や提供の充実



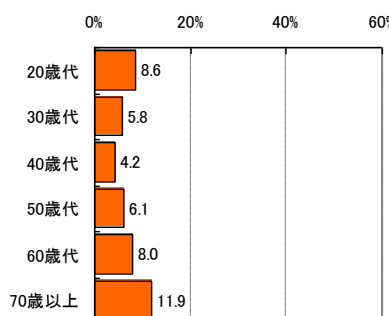
人権が侵害された被害者について救済など
適切な対応をとる支援体制の充実



人権侵犯事件の調査・処理が適切に迅速に
行われるように体制等の充実



わからない



年齢別にみると、60歳代以上は「家庭の中で、人権を大切にする心を育てること」が最も高く、20～50歳代は「学校や地域などでの人権教育の充実」が最も高くなっている。

参考資料 意識調査票

－ あなたの声を市政に －

平成25年度 和歌山市人権問題に関する 意識調査へのご協力をお願い

拝啓、時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

皆様には、日頃から市政にご協力いただきましてありがとうございます。

さて、和歌山市では「人権問題に関する意識調査」を行い、市民の皆様のご意見をお伺いし、人権施策を進めるための基礎資料として活用させていただきたいと考えております。

このアンケートは、住民基本台帳に登録されている20歳以上の市民の中から5,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

ご多忙の折、誠にお手数ではございますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、この調査結果はコンピュータにより統計的に処理を行い、個票を公表したり、調査の目的以外に使用する事はありません。また、市が責任を持って保管しますので、個人の秘密が漏れたり、アンケート回答者にご迷惑をおかけするようなことは一切ございません。率直なご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

敬具

平成25年12月

和歌山市長 大橋 建一

ご記入に当たってのおねがい

- ◆ご回答は、各質問の説明に従って、あてはまる選択肢の番号を○印で囲んでください。
- ◆「その他」を選んだ場合は、できるだけ具体的にその内容をお書きください。
- ◆この調査票は、お手数ですが、**12月20日(金)までに**、返信用封筒に入れて切手を貼らずにお出してください。
- ◆ご回答にあたっては、調査票及び封筒にお名前を書かないように願います。
- ◆調査票への記入が困難な方は、下記までご連絡してください。
- ◆この調査に関するお問い合わせは、
和歌山市役所 人権同和施策課 (Tel 435-1058/FAX 435-1363) までお願いします。

【問1】あなたは、「人権」に関心を持っていますか。次の中から選んでください。
(○は1つだけ)

1. かなり持っている 2. ある程度持っている
3. あまり持っていない 4. まったく持っていない
5. 「人権」がどのようなものかわからない

【問2】あなたは、「人権問題」というと、特にどのような問題に関心がありますか。
次の中から選んでください。（○はいくつでも）

1. 同和問題
2. 女性の人権問題
3. 子どもの人権問題
4. 高齢者の人権問題
5. 障害者の人権問題
6. 外国人の人権問題
7. アイヌの人の人権問題
8. 犯罪被害者及びその家族の人権問題
9. 刑を終えた人及びその家族の人権問題
10. 働く人の人権問題（職場におけるハラスメントの問題や長時間労働など）
11. エイズ患者・HIV感染者等・ハンセン病（元）患者や難病患者の人権問題
12. インターネットへの書き込みによる人権侵害問題
13. 性的指向（異性愛、同性愛、両性愛）の異なる人の人権問題
14. 性同一性障害者（生物学的な性と性の自己意識（こころの性）が一致しない者）の人権問題
15. ホームレスの問題
16. 特になし
17. その他（ ）

【問3】あなたは、過去約4年の間に、自分が差別や人権侵害を受けたと感じたことがありますか。次の中から選んでください。（○は1つだけ）

1. あると思う → 問3-2、問3-3をお答えください
2. ないと思う → 問4にお進みください
3. わからない →

【問3－2】問3で「ある」と答えた方におたずねします。それはどのような場合ですか。
次の中から選んでください。（○はいくつでも）

1. あらぬうわさ、他人からの悪口、かげ口
2. 仲間はずれやいやがらせ、いじめ
3. 暴力や虐待
4. 自分には身に覚えのない理由で不平等または不利益な扱い
5. プライバシーの侵害（個人情報勝手に使われるなど）
6. セクシュアル・ハラスメント（性的いやがらせ）
7. パワー・ハラスメント（権力や地位を利用した職場における言葉による暴力や強要）
8. ストーカー（つきまとい）行為
9. 人種、信条、性別、社会的身分、または、門地による政治的、経済的、社会的における差別
10. 公的機関や企業などによる不当な扱い
11. その他（ ）

【問3－3】問3で「ある」と答えた方におたずねします。その時どうされましたか。次の中から選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 友だち・同僚に相談した | 2. 家族・親戚に相談した |
| 3. 職場の上司に相談した | 4. 弁護士に相談した |
| 5. 警察に相談した | 6. 法務局や人権擁護委員に相談した |
| 7. 公的機関（県や市）に相談した | 8. 民間団体に相談した |
| 9. 自分で解決した | 10. 何もしなかった、我慢した |
| 11. 相談する場所を見つけられなかった | 12. 相手に直接抗議した |
| 13. その他（ | ） |

【問4】あなたは、過去約4年の間に「人権問題」に関する講演会や研修会に参加したことがありますか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|-------|----------------|
| 1. ある | → 問4－2をお答えください |
| 2. ない | → 問4－3をお答えください |

【問4－2】問4で「ある」と答えた方におたずねします。参加された講演会や研修会は、どこが主催しましたか。次の中から選んでください。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---|
| 1. 行政主催 | |
| 2. 学校やPTA主催 | |
| 3. 自治会内の諸団体主催 | |
| 4. 公民館や人権関係諸団体主催 | |
| 5. 職場 | |
| 6. その他（ | ） |

【問4－3】問4で「ない」と答えた方におたずねします。あなたが講演会や研修会に参加しなかった理由を、次の中から選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|---|---|
| 1. 参加する意志はあるが、講演会や研修会の情報が得られないので参加する機会がなかった | |
| 2. 参加したかったが、時間的余裕がなかった | |
| 3. 「人権問題」について理解できているので、参加する必要がなかった | |
| 4. 講演会や研修会は難しそうなので、何となく参加しなかった | |
| 5. 「人権問題」にあまり関心がないので、参加しなかった | |
| 6. 講演会や研修会があったことは知っていたが、参加する意思がなかった | |
| 7. その他（ | ） |

【問5】あなたは、同和問題と自分自身との関わりについてどのような意識を持っていますか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

1. 差別を解消するために、自分もできる限り努力したいと思う
2. 自分は差別をしないでおこうと思う
3. 差別はいけないことだと思うが、できれば関わりあいたくないと思う
4. 自分には関係ないと思う
5. その他 ()

【問6】仮に、あなたのお子さんが恋愛をし、結婚したいといっている相手が同和地区の出身者だとわかった場合についてお答え下さい。※お子さんがいない場合はいと仮定してお答え下さい。

(1) あなたはどんな態度を取ると思いますか。(○は1つだけ)

1. 全く問題にしないと思う
2. 迷いながらも、結局は問題にはしないと思う
3. 迷いながらも、結局は考え直すように言うと思う
4. 考え直すように言うと思う
5. その他 具体的に ()

(2) あなたの親戚はどんな態度を取ると思いますか。(○は1つだけ)

1. 誰もそれを問題にしないと思う
2. 口に出して反対する人はいないが、喜ばない親戚がいると思う
3. とんでもないと反対する親戚がいると思う
4. よくわからない
5. その他 具体的に ()

【問7】あなたが、住宅（家・マンション）の購入又は賃貸を選ぶ際についてお答えください。

(1) 価格や立地条件などが希望にあっている住宅でも、同和地区の地域内であった場合、避けることがあると思いますか。(○は1つだけ)

1. 避けると思う
2. こだわらない
3. よくわからない

(2) 同和地区内の地域内であった場合、住宅の購入や入居を避ける人があるのはなぜだと思いますか。(○は1つだけ)

1. 次の転居の際、転売がしにくかったり、安く処分せざるを得なかったりするから
2. 学力の問題などで、子どもの教育上、問題があると思うから
3. 自分もその地域の住人と同じと思われるのが嫌だから
4. よくわからない
5. その他、具体的に ()

(3) 不動産取引の際に問7-(2)のような理由で避けることをどう思いますか。(○は1つだけ)

1. 差別につながると思う
2. 差別には無関係だと思う
3. 判断できない(一概にはいえない)
4. よくわからない

【問8】あなたは、同和問題に関して、現在、特にどのような問題が起きていると思いますか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 就職・職場で不利な扱いを受けること
2. インターネットを利用して差別的な情報を掲載すること
3. 結婚問題で周囲の人が反対すること
4. 家を購入する時など、“同和地区”あるいは“同じ小学校区”を避けること
5. 差別的な落書をされること
6. 差別的な言動を受けること
7. 身元調査をすること
8. 特に問題は起きていない
9. わからない
10. その他 ()

【問9】あなたは、女性の人権問題について、特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 男女の固定的な役割分担(男は仕事、女は家庭など)
2. 職場における差別的な待遇
3. 職場や学校におけるセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)
4. 夫や恋人からの肉体的・精神的な暴力(DV:ドメスティック・バイオレンス)
5. 議員や会社役員、管理職などに女性が十分参画していないこと
6. 女性に対するストーカー(つきまとい)行為
7. 「婦人」「未亡人」など女性だけに用いられる言葉
8. 女性のヌード写真、水着姿、裸体やこびたポーズなどを掲載した雑誌、新聞、広告
9. 売春・買春(いわゆる「援助交際」を含む)
10. 痴漢行為
11. 特に問題はない
12. わからない
13. その他 ()

【問１０】あなたは、仕事と家庭に関する男女の役割分担についてどう思いますか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。（○は１つだけ）

- １．男性は仕事、女性は家庭にいる方が良い
- ２．男女とも働くが、家事・育児は女性がする方が良い
- ３．男女とも働き、家事・育児もともに分担する方が良い
- ４．女性が働き、男性が家事・育児をする方が良い
- ５．男女の役割を決めずに、その状況に応じて分担する方が良い
- ６．わからない
- ７．その他 具体的に（ ）

**【問１１】あなたは、男女の地位は平等になっていると思いますか。
項目ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。**

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
記入例 →	①	２	３	４	５	６
家庭生活で	１	２	３	４	５	６
職場で	１	２	３	４	５	６
地域活動の場で	１	２	３	４	５	６
社会通念・習慣・しきたりなどで	１	２	３	４	５	６
法律や制度のうえで	１	２	３	４	５	６
政治の場で	１	２	３	４	５	６
学校教育の場で	１	２	３	４	５	６
社会全体で	１	２	３	４	５	６

【問 1 2】あなたは、子どもに関する人権上の問題について、現在、特に問題となっているのはどのようなことだと思いますか。（○は3つまで）

1. 保護者による子どもへの暴力や育児の放棄などの児童虐待
2. 大人が子どもの意見を聞かず、自分の意見を子どもに強制すること
3. 「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーを尊重しないこと
4. 子ども同士による暴力や仲間はずれ、無視などのいじめ
5. いじめをしている人やいじめられている人を見て見ぬふりをすること
6. 教師による言葉の暴力や体罰
7. 不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為
8. 児童売春、児童ポルノ等
9. 暴力や性など、子どもにとって有害な情報のはんらん
10. 特に問題はない
11. わからない
12. その他（

【問 1 3】あなたは、子どもの人権が守られるために、特に必要なことはどのようなこと
だと思えますか。(○は3つまで)

1. 子どもが健やかに育つよう、愛情豊かな家庭をつくるための支援の充実
 2. 自分を大切に、他人を思いやる心を持った子どもを育てる人権教育の充実
 3. 子どもの思いや考えが大切にされるなど、子どもの個性や自主性を尊重
 4. 学校において、いじめ、暴力行為、不登校などに対する取り組みの充実
 5. 学校において、体罰防止の取り組み、教師の研修の充実
 6. 家庭、学校、地域の連携を強め、社会全体で子どもの育成
 7. 児童虐待の予防、早期発見に向けて地域での見守りや専門機関の支援活動の充実
 8. 性犯罪、児童ポルノ、いじめなど子どもの人権侵害の調査、取り締まり、罰則の強化
 9. 子ども自身が安心して話ができる相談体制づくりの充実
 10. 親（保護者）の育児不安などに対する相談・支援の充実
- | | |
|----------|-----------|
| 11. 特になし | 12. わからない |
| 13. その他（ | |

【問 1 4】あなたは、近所の子どもが保護者・同居人から虐待を受けていることを知ったらどうしますか。次の中から選んでください。（○は1つだけ）

1. その保護者・同居人と直接話す
2. その子の祖父母や親戚に連絡する
3. 行政機関や警察に連絡する
4. 自治会長、民生委員（児童委員）などに連絡する
5. 学校の先生に連絡する
6. どこ（だれ）に知らせたらいいのかわからない
7. その他（

【問 15】あなたは、高齢者の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

1. 経済的な自立が困難なこと
2. 道路の段差や建物の階段など、高齢者に配慮したまちづくりが進んでいないこと
3. 高齢者をねらった詐欺や悪徳商法などの被害者が多いこと
4. 情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと
5. 高齢者をじゃまもの扱いにし、つまはじきにすること
6. 家庭内での看護や介護において嫌がらせや虐待をすること
7. 高齢者の意見や行動を尊重しないこと
8. 病院での看護や養護施設において劣悪な処遇や虐待をすること
9. アパート等住宅への入居が困難なこと
10. 働ける能力を発揮する機会が少ないこと
11. 特に問題はない
12. わからない
13. その他（

【問 16】あなたは、高齢者の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 高齢者に対する見守り活動など、地域で高齢者を支えていく仕組みの強化
2. 高齢者の人権を守るための教育・啓発活動の推進
3. 高齢者に対する詐欺や悪徳商法などの未然防止活動や犯罪の取り締まりの強化
4. 保健、医療、福祉、介護などのサービスの強化
5. 高齢者と他の世代との交流の促進
6. 公共建築物等のバリアフリー化など、高齢者に配慮したまちづくりを進めること
7. 高齢者の学習機会の充実
8. 高齢者の働く場所の確保など多様な就業機会の充実
9. ボランティア活動など、高齢者の社会参加の機会の充実
10. 高齢者やその家族が気軽に相談できる体制づくりの充実
11. 虐待などに対して、迅速かつ適切な対応・支援が行えるような体制を強化
12. 特になし
13. わからない
14. その他（ ）

【問 17】 障害のある人についてのことがらで、人権上特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

1. 障害のある人や障害そのものについて、世間の人々の理解が不足していること
2. 働ける場所や機会が少ないこと
3. 就職や仕事の内容、待遇で不利な扱いを受けることがあること
4. 給与や年金など所得保障が十分でないこと
5. 学校の受け入れ体制が十分でないこと
6. 結婚問題で周囲の人が反対すること
7. 交通機関、道路、店舗、公園などの利用が不便なこと
8. アパート等住宅への入居が困難なこと
9. スポーツ活動や文化活動への参加が気軽にできないこと
10. 地域社会から排除されることがあること（差別的な言動やじろじろ見られたり、避けられたりする）
11. 社会や施設内において、いじめや虐待を受けることがあること
12. 身近な地域での福祉サービスが十分でないこと
13. 悪徳商法の被害者が多いこと
14. 特に問題はない
15. わからない
16. その他（ ）

【問 18】 あなたは、障害のある人の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

1. 障害のある人に対する偏見や差別を解消し、障害のある人の自立と社会参加を目指し、啓発を行うこと
2. 障害のある人が人権侵害にあった場合の救済など適切な対応を行うこと
3. 障害のある人が自立して生活しやすいように段差の解消などのバリアの解消など生活環境の整備
4. 自立支援のための在宅サービス、福祉施設や医療機関のサービスの充実
5. 障害のある人となない人との交流の推進
6. 特別支援学校等における教育の充実、及び障害のある人に対する理解を深める教育の推進
7. 発達障害者への支援や、精神障害者に対する偏見・差別をなくすための啓発活動の充実
8. 障害のある人やその家族が相談できる相談体制づくりの充実
9. 障害のある人の就労の場の確保
10. 障害のある人の支援を行うボランティアやNPOなどを増やすこと
11. 特にない
12. わからない
13. その他（ ）

【問 19】あなたは、外国人の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 外国の生活習慣や文化などへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと
2. 就職や仕事の内容、待遇などで、不利な扱いを受けること
3. 店や施設の利用、サービスの提供を拒否されること
4. アパート等住宅への入居が困難なこと
5. じろじろ見られたり、避けられたりすること
6. 国籍を理由に、結婚に周囲が反対すること
7. 本名を使用することにより差別や不利益を受けることがあるため、やむを得ず通称名を使う人が多いこと
8. 特に問題はない
9. わからない
10. その他 ()

【問20】 あなたは、外国人の人権が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。(○は3つまで)

1. 外国人がかかえる問題に対する理解を深めるための啓発・広報活動の推進
2. 日本人と外国人との交流の促進、講演会など学習機会の充実
3. 外国人も地域社会を支えている一員であるという理解を広めること
4. 外国人の雇用を積極的に進めること
5. 外国人のための人権等に関する相談体制の充実
6. 外国人が安心して生活できるように、外国語での情報提供を充実
7. 学校等における国際理解教育の推進や外国人の子どもの教育の支援
8. 特になし
9. わからない
10. その他（

【問 2 1】あなたは、エイズ患者、HIV 感染者やハンセン病（元）患者の方々に対して、人権の尊重という点からみて特に問題があると思われるのはどういうことですか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

1. 地域社会での理解が十分ではないこと
2. 興味本位で報道が行われていること（マスコミによるプライバシーの侵害）
3. 感染しているとわかった人が就職、職場で不利な扱いを受けること
4. 感染していることを本人に無断で他人に伝えられること
5. 病院や施設が患者の治療や入院を拒否すること
6. 患者やその身内が、結婚を断られたり、離婚を迫られたりすること
7. 差別的な言動を受けること
8. アパート等住宅への入居が困難なこと
9. 療養所や病院等の外で自立した生活を営むのが困難なこと
10. 宿泊を拒否すること
11. 本人に無断で感染しているかどうか、検査や調査をされること
12. 特に問題はない
13. わからない
14. その他（)

【問 2 2】あなたは、エイズ患者、HIV 感染者やハンセン病（元）患者の人が守られるために、特に必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

1. エイズ・H I V感染者・ハンセン病の正しい知識や人権について、学校教育の充実
 2. 患者や感染者を支援するため、行政・医療機関・支援N P O等のネットワーク化を進めること
 3. プライバシーに配慮した医療体制やカウンセリング体制の充実
 4. 患者や感染者への偏見や差別をなくすための啓発活動の充実
 5. 患者や感染者の医療支援の充実
 6. 患者や感染者が地域で生活出来るように生活支援の充実
 7. 企業への啓発の充実など、安心して就労できる環境の整備
 8. 患者や感染者とその家族が相談できる相談体制づくりの充実
 9. 特にない
- 1 0. わからない
- 1 1. その他（

【問23】 日ごろから親しくつきあっている職場の人々や、近所の人が刑を終えて出所した人であるとわかったとき、あなたならどのように対応しますか。あなたの考えに近いものを次の中から選んでください。(○は1つだけ)

1. これまでと同じように親しくつきあっていく
2. つきあい是不変変わらないが、いろいろ気を使ってしまう
3. 表面的にはつきあうが、できるだけつきあいを避けていく
4. つきあいをやめてしまう
5. わからない

【問 2 4】あなたは、犯罪被害者とその家族の人権問題について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

1. 犯罪行為によって精神的なショックを受けること
2. 犯罪行為によって経済的な負担をうけること
3. 事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること
4. 警察に相談しても期待どおりの結果が得られないこと
5. 捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること
6. 刑事裁判手続に必ずしも被害者の声が十分に反映されるわけではないこと
7. 報道によってプライバシーに関することが公表されたり、取材によって私生活の平穏が保てなくなる
8. 特に問題はない
9. わからない
10. その他（ ）

【問 2 5】あなたは、現在の情報化社会（インターネット等）で、特にどのような人権侵害の問題が起きていると思いますか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

1. 他人を傷つけたり、差別を助長する表現等が掲載されること
2. 個人情報がもれていること
3. 出会い系サイトなど犯罪を誘発する場となっていること
4. 捜査の対象となっている未成年者の実名や顔写真が掲載されること
5. 同和地区と思われる場所などが記載されていること
6. 子どもたちが他人を傷つけたり、いじめに関する情報を掲載していること
7. 悪質な商法の対象として、個人情報などがネット上で売買されていること
8. わからない
9. その他（ ）

【問 2 6】あなたは、過去約4年の間に、インターネット上の掲示板等へ、特定の人物に関する書き込みをしたことがありますか。次の中から選んでください。（○は1つだけ）

1. ある → 問 2 6－2 をお答えください
2. ない
3. わからない

【問 2 6－2】問 2 6 で「ある」と答えた方におたずねします。

それはどのようなときに、どのような内容の書き込みをされましたか。

【問 2 7】 現在、あなたは近隣の人たちとの付き合いや人間関係に満足していますか。
次の中から選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 非常に満足している | 2. 満足している |
| 3. 少し不満がある | 4. かなり不満がある |

【問 2 8】 あなたは、近隣の人たちと、今よりもっと親しく付き合いたいと思っていますか。次の中から選んでください。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. ややそう思う |
| 3. あまりそう思わない | 4. そう思わない |

【問 2 9】 近隣の人たちとより良い人間関係をつくっていくために、一人ひとりが日ごろから心がけなければならないことは何だと思いますか。
次の中から、あなたが大切だと思うことを選んでください。(○は5つまで)

1. 地域の清掃や行事にはできる限り参加すること
2. ゴミ捨てなどのルールをきっちり守ること
3. 道で会えば、自分からあいさつすること
4. 積極的にいろいろ話をする事
5. かげ口やうわさ話には加わらないこと
6. 他人の家庭のことには口出しをしないこと
7. 相談や頼みごとをされた時は快く応じること
8. 近隣の家に何かあったような時は、自分から声をかけて手助けすること
9. 子どもの問題行動など、何か気づいたことがあればその家に知らせること
10. 児童虐待や家庭内暴力などに気づいたら、何らかの行動を起こすこと
11. 特にない
12. その他 ()

【問30】 あなたは、人権に関するどのような啓発活動などあれば参加したい(読みたい、見たい) と思いますか。項目ごとに、あてはまる番号に○をつけてください。

	ぜひ参加したい (読みたい、見たい)	たぶん参加する (読む、見る)	わからない	参加しないと思う (読まない、見ない)
記入例	①	2	3	4
有名な人が出演する大きな講演会や研修会	1	2	3	4
実務に役立つ地域での講演会や研修会	1	2	3	4
啓発のためのパネル展などの展示会	1	2	3	4
新聞・雑誌を活用した啓発の記事や広告	1	2	3	4
市の広報誌の啓発記事・啓発のためのパンフレット	1	2	3	4
テレビ・ラジオの広報番組 →	1	2	3	4
映画・ビデオ等の鑑賞による啓発	1	2	3	4
インターネット（ホームページ等）を活用した啓発	1	2	3	4
高齢者・障害者の模擬体験	1	2	3	4
高齢者・障害者等との交流会	1	2	3	4
ワークショップ（参加型での話し合い）	1	2	3	4
職場での人権研修会	1	2	3	4
自由な意見交換ができる会合	1	2	3	4
その他 「ぜひ参加したい」「やって欲しい」と思う啓発活動などあればご自由にお書きください。				

【問 3 1】「人権」が尊重される社会を充実するためには、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から選んでください。（○は3つまで）

1. 家庭の中で、人権を大切にする心を育てること
2. 人権尊重の考え方を広めるための啓発広報活動の推進
3. 学校や地域などでの人権教育の充実
4. 職場での人権教育の充実
5. 人権問題に関する相談のための機関・施設の充実
6. 気軽に人権に関する相談が出来るように、窓口や電話相談などの充実
7. 人権に関する情報の収集や提供の充実
8. 人権が侵害された被害者について救済など適切な対応をとる支援体制の充実
9. 人権侵犯事件の調査・処理が適切に迅速に行われるように体制等の充実
10. わからない
11. その他（

【問 3 2】 過去約 4 年の間で、あなたが受けた人権侵害と、あなたがしてしまった人権侵害があれば、具体的にお書きください。

①あなたが受けた人権侵害について	
②あなたがしてしまった人権侵害について	

②あなたがしてしまった人権侵害について

【問３３】人権問題について、ご意見などがございましたら、ご自由にお書きください。

[illegible]

最後にあなたご自身のことをおたずねします。

【問 3 4】 あなたの性別

1. 男性

2. 女性

※性同一性障害などの人達の人権問題があることは認識していますが、この調査では男女の意識や行動の違いを把握する必要があるためにかがっています。

【問 3 5】 あなたの年齢（平成 2 5 年 1 2 月 1 日現在）

1. 2 0 歳～2 9 歳

2. 3 0 歳～3 9 歳

3. 4 0 歳～4 9 歳

4. 5 0 歳～5 9 歳

5. 6 0 歳～6 9 歳

6. 7 0 歳以上

長時間、ご協力いただきありがとうございました。
この調査票は、同封の封筒に入れてご返送してください。
（切手は不要です）

人権問題に関する意識調査
－報告書－

平成 26 年 3 月発行

和歌山市

市民環境局 市民部 人権同和施策課
〒640-8511 和歌山市七番丁 2 3 番地
電話 073-435-1058